夕刊
滿洲日報
十一月二日

皇太后陛下には 青山東御所へ御移轉
秩父宮御殿を改稱せられて 今月中旬宮城から

（東京一日發電）皇太后陛下には今月中旬宮城から青山なる皇子御殿即ち秩父宮御殿に御移轉遊ばさるゝ御豫定であるが、一日の官報にて「皇子御殿は爾今之を青山東御所と改稱す」と公布された、陛下には十有餘年間御住まひあらせられ給ひし宮城を去らせられる事は御名殘り盡きさせられぬ事と拜察さる

高松宮、中尉に御進級

（東京二日發）高松宮は一日附で軍艦比叡から横須賀鎭守府に御轉補一日の海軍定例進級異動に依り中尉に御進級練習艦隊八雲に御乘組遠洋航海南洋濠洲方面に遊ばす事となつた

五鐵道等を議題に 滿蒙交渉準備成る
我政府よりの回訓到着次第 正式に通告して再開される

（北京一日發電通）滿蒙交渉は芳澤公使が本國よりの回訓到着次第直に正式に支那側に通告し同時に再開さるゝ事に全く準備整つてゐるが一日正午まで未だ回訓は齎かない

楊宇霆氏 は日本から通知あり次第再開に應ずると通知を待つてゐる、芳澤公使は第一次交渉にて日本要求の說明をなしたのみで個々の問題に就ては總討議するに至らなかつたので、再開後は之等の全部に亘り一通り討議する筈である、而して、支那側は交渉議事中に商租權居住權問題を拋棄せしめ、其の機會に東三省の治外法權撤廢を討議して不平等條約改正の成功を收めんとする希望であるが、日本としては通商條約改訂交渉に觸るゝものは

切り離し 四國借款團の協定に依り除外された大賚、洮齊、洮索、新林、賓熙の五鐵道（吉會及び商議中の海吉は含まず）懸案中の領事分館問題盛京時報問題及び東三省に於ける課稅問題、森林問題等に議題を限定する方針に決し、此の範圍で交渉再開する事に略諒解が出來たといふ

漢口を經濟封鎖
南京政府に對して 清水領事嚴重抗議

（上海一日發電）南京政府財政部は三十一日附で上海稅務司を通じ一日以後左の諸品の漢口向け輸送を禁止した
一、銀塊、銀貨、馬蹄銀
二、軍器製造用各種金屬品（銅、眞鍮、鉛、錫等）
三、紙、印刷用インク
四、石炭
然るに右輸送禁止令に依る我國の蒙る打擊は甚大なるものがあるので清水領事は嚴重抗議した

横濱沖の大觀艦式の壯觀

三十日横濱沖に擧行された聖上陛下最初の御親閱海軍大觀艦式は我が海軍の精銳全部網羅して壯觀を極めたが、寫眞は配列せる艦艇を縫ふて巡航する御召艦「陸奧」の勇姿

奉軍天鎭占領

（北京一日發電）京綏線に於て高維岳の奉軍騎兵第一旅は三十一日午後天鎭を占領し奉軍第六師は一日朝興和縣を占領した

南京北伐軍 蚌埠を猛擊す
聯合軍徐州に退却中

（上海一日發電）南京側の報道に依れば白崇禧の北伐軍は目下蚌埠を猛烈に攻擊中で李宗仁軍は既に合肥に達し蚌埠方面を衝かんとして居るが二十六軍は二十九日宿遷を占領し北軍は徐州に向つて退却中である

唐軍沙市占領

（東京一日發電）其の筋着電に依れば唐軍第一第二方面より急行した第八軍第一第二旅は入城し沙市は完全に唐生智の手に歸した

藏相の財源計畫に 農相反駁す
閣僚幹部懇談會で

（東京二日發電）閣僚與黨幹部懇談會は一日午後三時より首相官邸に開會、三土藏相は在野時代より力說し來つた重要政策の實現に關する財政計畫の大體を說明した後
明年度は既定經費の節約繰延餘金の充當並に復舊費の公債振替、關稅改正等で相當多額の財源が浮いて來るから明年度限りの新要求ならかなり認める事が出來る、併し四年度からは地租委讓の代り財源を要することになるから、永久的の新規要求を認めることは遺憾ながら財政計畫上困難である
と詳述し、これに對し山本農相は我國將來の國運發展國力增進に伴つて、巨額の自然增收の有ることは
明白で ある、從つて今日よりその豫想し得る自然增收を今直に財政計畫の上に現はすことは、勿論多大の考慮を要するが、當然豫想し得る自然增收を將來の財源中に加へることは出來ると思ふ既に自然增收が明白ならそれを財源として我が黨の重要政策を行ふに最も有力、且つ適切な方法を案出すべきである、斯くして我黨の產業政策を實現すべきである
と强硬反對し次で秦幹事長より幹部と政務調査役員の
聯合會 で豫算に就ての意見の交換をなした結果を報告しこの際閣僚においても出來るだけ重要政策の實現に努められたいと要望し更に鈴木內相、望月遞相を始め各幹部の意見陳述あり六時散會した

消費組合問題 愈市會で討議
注目さる、四日の續會

十月二十七日大連市會議會に緊急動議として滿鐵消費組合、關東廳購買會撤廢案が上程され、果然大波瀾を生じそのまゝとなつてゐたが、愈來る四日午後二時より第三十回市會續會を開催することゝなつた、當日の日程第一號（動議）滿鐵社員消費組合並に關東廳吏員購買會撤廢に關する意見書案は左の如くである

意見書案

大連市は關東州最大商工都市にして滿蒙に於ける貿易並に經濟上の中心地たるのみならず我が滿蒙產業開發の根據地たり從つて大連市商工業の興亡盛衰は滿蒙產業の興亡盛衰に重大なる關係を有す然るに關東廳吏員購買會及滿鐵社員消費組合の二者は我が對滿植民政策を誤ひ直接又は間接に在滿邦商並に一般在住民に不利を與ふ就中大連市民の被る有形無形の損害は極めて重大なり仍て速に撤廢を實現されんことを望む右は大連市の公益に關する事項なるを以て市制第十一條第三項に依り市會の決議を經て意見書提出候也

昭和二年十月二十七日　大連市會議長名
關東長官宛

尙之に引續き、第二號議案大正十五年昭和元年度大連市歲入歲出決算認定の件、第三號名譽職參事會員選擧の件、第四號經常部本員缺員選擧の件につき審議する筈であるが第一號議案は當面の問題として頗る紛糾を見るであらう

自作農創立案
政友代議士會決議

（東京二日發電）政友會は一日午後二時より有志代議士會を開き、長田桃藏氏を座長に推し、自作農創定案に對する決議を爲し散會した

決議

自作農地法案は我黨の重要政策にして各國の實績に徵し、最も適當の法案と思惟す、特に時代の要求は一日も、之を忽にするを許さずと認む、黨幹部は最善の努力を以てこれが實現を期すべし

長田桃藏氏は同四時半右決議を齎し、首相官邸に開會中の與黨幹部と閣僚との懇談會に出席中の秦幹事長を訪ひ手交した

豫約出版物でも 許可なくば罷りならぬ
社會一般の迷惑を心配して 關東廳が嚴重取締る

これまで新聞雜誌以外の出版物、たとへば豫約出版物は從來單に發行前に製本二部を添へて屆出でたのみで發行してゐたが、これでは取締上徹底を缺くと同時に、此處に乘じて出版前豫約しながら途中で製本しなかつたり、或は最初から

不正を 目的として豫約出版を行ふものが往々にある、これはドウしても新聞雜誌同樣に取締らねばならぬとあつて、今回關東廳で新たに營業取締規則を改正し新聞雜誌の發行と同樣に豫約出版物の發行を取締ることになり去る一日から實施することになつたこれが實施によつて今後は新しい豫約出版物の發行は許可を得ねば絕對に出來なくなり、而して豫約前に

發行人 の本籍、住所、氏名、生年月日、題號、發行年月日、著作者氏名、內容、製本紙數の槪要、豫約定價代金前收方法發行所等を具して關東長官の許可を受けることになつた、右に就いて警務當局者は語る

內地においては既に豫約出版の弊害を除去するために明治四十三年頃から豫約出版法が制定されてゐるが關東廳管下においては、內地ほどの弊害がなかつたので法規の

制定を 見ず、唯豫約を募つて發行せない場合等に對しては詐欺罪を構成することもあるので、最近において豫約出版物を發行するのが著しく增加し種々社會一般に迷惑を及ぼすものがあるため今回の如く許可を要することゝなつたのであるが、將來は無許可の出版者に對しては嚴重處分する筈である尙ほ豫約出版とは

別問題 だが、これと同時に內地等において發行する管外發行出版物に對しても輸入禁止が出來るやうになつたので主として當地方に輸入の目的にて內地において發行するもの、如きも出版物同樣取締の徹底を期する筈であると云々

奉天派唯一の 高潔な政客
張氏の武斷政治に愛想を盡し 故山金州に隱遁久し
逝ける王氏の略歷

王永江氏、字は岷源前淸時代の歲貢の出身にして、家は世々藥業を營む、夙に官界に出仕し地方行政官として奧遼、遼陽、康平、奉天等各縣の知事及び稅捐局長に歷任し、相當の治績を擧げた、次で故趙爾巽の東三省總督たるや、民政科參事、學科參事等に任ぜられ、第一革命による

政局の 變動にて趙爾巽が奉天都督となるに及び秘書、な

り、更に奉天民政使に任じた、次で奉天省興鳳道尹に轉じ後牛莊海城の稅捐徵收局長に歷任した、民國五年秋、張作霖は省政の改革を斷行する第一步に際し、王氏を奉天警務處長兼省會警察廳長に拔擢した、當時奉天省城の司法權は湯玉麟一派の綠林派軍官によりて掌握壟斷され、各種の不正行爲あるも警察は之を艘附し得ず腐敗の極點にあつたが、一度氏が其任に就くや毅然として、改革の

大鐵槌 を軍官派に下したために、軍警兩界の抗爭は奉天官場未曾有の激烈さを來した、形勢警察側に非となるや、郷里金州に歸つて[illegible]を眺め事件の一段落を待つて始めて歸奉した、氏は警察廳長として、日本人の警察顧問を招聘して、その意見を聽き、銳意改革に沒頭し略改革の實を擧げ六年五月財政廳長に轉じた、これより得意の財政的手腕をふるひ、多年窮乏の極に在りし奉天省財政に對し、根本的に整理を斷行した結果、奉天軍閥をして財政的に後顧の患ひなきに至らしめ、氏の卓越せる

財政的 手腕は內外人の認むるところとなつた、しかも十年七月、省長代理を兼務して以來內政方面にも大改革を施し、治績大いに見るべきものがあつたが、氏は東三省の保境安民を以て主義とし、張作霖の武力偏重政策並に關內進出に反對し時ある每に苦諫したが容れられなかつたゝめに昨十五年三月、敝屣の如く省長の椅子を捨てゝ故山に歸臥し又出でなかつたのである、由來武人萬能の奉天派は政客に乏しかつた、其間に於て最も傑出したものは氏と于冲漢との二人であつて、氏はいはゆる

金州派 を代表し于氏は遼陽派の頭目として、文治派の双璧であつた、氏は內政戰政を擔當し于氏は外交の折衝を承りつゝあつたのであるが、今は何れも張作霖の武斷政治に愛想をつかし在野の人となつたのである、享年五十七歲、尙幾多春秋に富み中國の將來は氏の如き高潔の士を俟つこと多きものあり、日支兩國の將來にとつても亦、氏の逝去は一大損失であらねばならぬ

撫順炭礦の 人員の淘汰
邦人職員は八十五名 豫備社員に繰入れる

（撫順特電二日發）撫順炭礦職制改革に伴ふ人員淘汰は二日午後各課所長よりそれぞれ內命を傳へる筈であるが右につき山西炭礦長心得は語る
今回の改革について淘汰さるべきものは約一割にてその氏名は未だ發表に至らないが、大體日本人職員八十五名、傭員二百名、支那人四百名で、日本人は豫備社員規程に基きこれを豫備社員とする筈である

双廟子郵便局 加入電話受理

双廟子郵便局の電話交換事務開始に付ては既報の如くであるが、愈十一月十一日より一般電話加入申込受理を開始するに決定し近く告示する筈である、開通工事は結氷期を控へてゐる爲め急速準備中であるが、十二月中旬頃迄には全部の開通を見ると

日支通條 交渉近し
我專門委員任命さる

（北京一日發電通）日支通商條約專門委員は堀參事官、天羽書記官之に當る旨日本より支那側に通告し、近く交渉を繼續進行する

人事

▲中外棉株式會社々長武居綾藏氏　二日入港のアメリカ丸にて來連
▲前下關市長李家隆介氏　同上
▲日本樂器重役林慶吉氏　同上
▲滿鐵中央試驗所員小澤清三氏　同上
▲海軍機關大佐上田宗重氏　同
▲海軍中佐清水美氏　同上
▲大連油脂工業專務野々和一郎氏　同上
▲滿鐵販賣課長小川逸一氏　同
▲福井組福井米治郎氏　同上
▲關東廳衛生課警部石竹次郎氏　同上
▲關東軍司令部電信通信兵十二名　同上
▲柳河日日新聞社長竹治登茂三氏　同上
▲白陽書集社長淵ノ上白陽氏　同
▲大連戲場出演中村要一座　同上
▲櫻井學氏（關東廳遞信局長）城子疃に出張中の處二日夜歸連
▲森田千夫氏（大連民政署地方課長）衆議院議員支那視察團一行出迎のため一日夜奉天へ
▲小森忍氏（陶雅堂主人）二日上海より神丸にて歸連
▲デンリツシ氏（ザリア新聞社長）同上同日哈爾賓へ

大觀小觀

王永江氏遂に逝く。
×東三省の保境安民は、張氏の劍よりも、王氏の治に依ること多し
×此の人今や亡し。秋風方に落寞
×滿鐵の非實務的、非經濟的施設片つぱしより打破さる。
×不景氣の冷風に、滿鐵のみ免れて宜い道理なし。
×滿鐵の專橫を攻擊しながら、此の改革を批難するは矛盾も極まる
×文相の威信中學校に蹂み躙らる
×スポーツの精神を解せぬやうな威信なら、毫も惜からず。

天氣豫報（三日）

晴れ　南西の風　一時曇り
豫想　大陸內部引續き低氣壓となり大體晴天を保ち一時曇
二日　氣溫　最高十五度七　最低四八度
滿潮　前三時四分　後四時二五分
干潮　前十時五五分　後十時四〇分

滿日案內（一行一日 八十五錢）

▲貸家 六疊二、三疊一、二棟 櫻花臺二番地 島田藤吉
▲菓子 店の至急讓りたし御用の方は左記へ 共同新聞店 電六六六七
▲木工 車輛組立工十五名募集 電話六〇一二 田中車輛工場出張所
▲貸家 惠比須町電車通り新築商店事務所向水道瓦斯電氣完備賃四五圓 電五七九〇
▲小店 員入用希望者携帶本人來談 三河町 圓橋電氣合資會社
▲外交 員入用 二葉町八七 近江屋洗布所 電三六七四
▲店員 入用廿七、八歲より廿四、五歲まで 旅順乃木町三 緒方商店 電話四二
▲宿料 食事夜具共月三十圓 大連美濃町九 [illegible]
▲英語 及邦文英文タイピスト短期養成並謄印寫 若狹町通九六北飾裏 英習會
▲尺八 都山流尺八教授（出張教授） 對馬町一丁目 曾根巖水
▲古着 道具其外不用品特別高價買入御報參上 日藤町 まつ屋 電三七四七番
▲貸衣裳 婚禮用 日藤町電三七四七 まつや衣服店
▲貸衣裳 婚禮用 日藤町 さかひや 電五四三七
▲古着 古道具高價買入御報參上 日藤町 たじまや 電六六〇一番
▲牛乳 バター クリーム 大連牛乳株式會社 電四五三七番
▲刀劍 新舊鑑定並委託品販賣特別製錆止打粉有 大連磐城町通り五八 南海堂眉山
▲寫眞 大連寫眞館出張撮影 男女支那服の準備有 日本橋際 電話三三八四番
▲寫眞 機械交換賣出物有現像燒付引伸並材料販賣 山縣通三井裏 福田商會
▲神經 痛脚氣リヨウマチス 書任治療す 美濃町交番所前 小笠原金虎堂
▲家傳 ホネツギ 美濃町交番所前 小笠原金虎堂
▲長崎 料理 實福御料理七人付十圓以上 トキワ橋中央食堂 電八四七三
▲婦人 病胃氣治療如何なる難病でも引受致します 美濃町交番所前 小笠原金虎堂
▲寢小 便で御困りの方來れ必ず治療します 美濃町交番所前 小笠原金虎堂
▲懷中 に三山島紙懷用家庭向改良漉廉紙 發賣元 拓茂洋行紙店
▲海陸 運送荷造引越 東鄉町 丸賀運送店 電三六八二
▲牛乳 バター 滿洲牧場 電六一三四
▲看板 大連伊勢町二 野田看板店 電四五六四番
▲不用 品特別高價買受 日藤町通り四ツ辻 香川商店 電六七五一
▲印判 ゴム印安く致します 大連商品館內前田印舖 電六三一八
▲塵紙 懷中に家庭向用の三山島紙生漉改良の 發賣元 拓茂洋行紙店
▲龜甲 大連市但馬町二一 矢野龜甲專門店 電話八四二二
▲澤庵 金州澤庵では丸金印の岩崎製が一番美味です 山縣通 岩崎商店 電四六四八
▲電氣治療 晝夜自宅出張治療御都合 信濃町鶴ビル 更生堂電氣治療院
▲集金 人募集要保證人 シンガー會社 浪速町支店 電話六四一六
▲洋服 は吉岡は親切 市三河町 電六三三九 吉岡洋服店
▲印刷 は六八四三の 南海堂を
▲封筒 製造卸在庫豐富地方呈見本特價品有 西通二一 北村誠實堂 電七二八一
▲文具 及民政署で御使用になる申告書類は 電六八四三の 南海堂へ

▲不用 品親切本位買受 常盤町 渡邊商店 電六八四一
▲紙函 製造及紙函用原料販賣 西通二一 北村誠實堂 電七二八一
▲睪丸 炎はハリで直くなおります 大連市二葉町四丁目 鈴木丈太郎 電四六九二番
▲公債 勸業債券保管通帳商品券買入 西通三五 電七八五一 大連案內社
▲金融 並に恩給年金立替無手數料 西通三五 電七八五一番 大連案內社
▲帳簿 堅牢で安價な 電六八四三番 南海堂へ
▲肺尖 助膜炎の名灸 大連市二葉町四丁目 鈴木丈太郎 電話四六九二
▲婦人 病と胃腸病のハリとお灸 大連市二葉町四丁目六〇番地 鈴木丈太郎 電話四六九二
▲狀袋 及紙袋製造大量製造による絕對安價 西通の北村誠實堂 電七二八一
▲下宿 大勉強御相談に應ず 大連監部通六敷島廣場派出所西入
▲圍碁 教授研究入會歡迎 民衆娛樂の集會場 三河町大連棋院 電話六六八〇番
▲電話 賣買金融賃貸に月賦販賣 西通三五 電七八五一番
▲金庫 間宮式手提金庫日支英文米事實發賣 浪速町山形洋行 電三〇一五番
▲小島 和洋各種動物鳥の餌飼料集箱籠類販賣 浪速町 戶田洋行 電三九〇三
▲公債 勸業債券保管運帳買受並に金融 日藤町 但馬商店 電六六〇一
▲實印 の御用は 吉野町 [illegible]
▲印刷 の御用は何時も小林又七支店を御利用下さい
▲林檎 金州南山園一手特販 大廣賣開始 西廣場角 丸屋 電八八四〇
▲ロザ シ材料裏付仕立 大連市磐城町 松井商店 電話三五九三番
▲チ、モミ 大連市二葉町四丁目六〇 鈴木丈太郎 電話四六九二番
▲フヨウ品 書畫骨董高價買受 イワキ町 新古齋 電七四三五
▲ゴム 印の御用命は 一萬堂 吉野町二六 電話七八五九
▲ニチ ロパン 電話七六六〇 浪速町二丁目裏通 日露洋行
▲クサ 及皮膚病の特効藥有ます 大連劇場裏根本藥局 電七八六二
▲オゾ 昔は印籠今はオゾ 大連市淡路町七 ヒシカワ藥局 電話七八九三番
▲ホツ トマンヂウ御小賣 若狹町越後町角 昭和堂
▲ホネ ツギ 大連市二葉町四丁目六〇番地 鈴木丈太郎 電話四六九二番
▲ハチ ミツは純良自家謹製蜜蜂も安く御分け致します 越後町四一 高橋養蜂園
▲ガク 椽は伊勢町美風堂 電四五六四番
▲コプ 其他硝子器 大連磐城町山內硝子店 電七八〇六
▲ラヂ オで何でも安心して買へる店 信濃町和登ラヂオ部 電三八一五
▲恩給 極安利長期立替いたします 大連市榮町一二 杉本方
▲紫檀 細工專門店 近江町三三 松浦商店
▲女給 入用素人にても可 電話六〇三九番 吉野町 プラチナ食堂
▲活字 鮮麗な印刷は無疵な活字から 大連市大山通 小林又七支店
▲小兒 胃腸藥小兒の消化不良下痢、食中過食等の消化器障害には伊勢町藥局の
▲安賣 親玉世帶道具進物用品御商 磐城町福田屋金物店 電三七〇四
▲研究 生募集シンガー裁縫女學院 大連浪速町一丁目 電話六四一六
▲酒粕 內地より多數荷着近に付不拘配達します 伊勢町 鈴鹿商店 電四八五八番

▲尺八 琴古流指南 鈴翁會 但馬町二〇 文光堂書店內
▲品質 優良タイプライター販賣活字 大連市大山通 小林又七支店
▲華語 出教授日華譯文 山手町四番地B [illegible]
▲習字 速成教授（晝夜） 磐城町一 池內 電八六七五番
▲制痒 液虫蝕に被害された處に塗れば忽ち痒みの止まる伊勢町藥局の
▲胃の 藥胃病で御困の方は第一第二種の內何れにても御試用を伊勢町藥局の
▲蒸餾 水多少に不拘御用命願上候 電話六八二 大連伊勢町二二 伊勢町藥局
▲美術 コロタイプ寫眞帳繪葉書印刷 大連市大山通 小林又七支店
▲大小 兒風藥大人及小兒の感冒には定評ある伊勢町藥局の
▲商品 券高價買入 信濃町帝國館橫 藤井屋 電四五〇九
▲粘土 版・藝品版 磐城町 武田博文堂 電六六一八
▲賣買 商品切手公債勸業債券 大連市大山通 小林又七支店
▲印章 御用命は期日の正確と絕對責任のある若狹町大連劇場前 知新堂印房
▲新案 ミシン足カバー 西通五四 河島ミシン店 電七二〇〇
▲ミシ ンは河島ミシン店 西通五十四番地 電話七二〇〇番
▲表具 襖 軸 ふすま 鋲一式 イワキ町 大正堂 電話三九一五
▲鹽 壹俵一圓二十錢 大連再製鹽組合事務所 電三三三九、七四六七 榮町一二
▲金融 多少に依らず極秘にて融通します 大連市榮町一二 杉本方
▲整腸 下痢、腹痛下痢、食中下痢に特効の伊勢町藥局の
▲門札 瀨戶物へ彫り込み 磐城町一 池內 電八六七五番
▲昭和 三年カレンダー販賣 大連市大山通 小林又七支店
▲かつ け家傳神藥 磐城町一 池內 電八六七五
▲金融 電話其他日掛に融通致します 市內榮町十一 渡邊方
▲玉、うどんあり信濃町 [illegible]
▲料理 生そば、すきやき和洋御料理、仕出し 二葉町二〇 入舟 電六七八三
▲せい ろ丸食後の二粒は腹中の傳染病の豫防となるは伊勢町藥局の
▲せめ んえんに小兒大人用共信用せらる伊勢町藥局の
▲見よ 電話名義を變更せず金融致します 若狹町六三 電話六九九番 恒盛號
▲英獨 語教授並に質問あり研究者に 薩摩町百三番地 ステガー
▲勉强 一泊一圓以上 寺名物の七味唐辛子 名古屋館 吉野町一の六 電六三一一
▲不用 品特別高價買受 日藤町四ツ辻 吉田商店 電六七五一番
▲セト モノと世帶道具 トキワ橋 電八七三五 牧川洋行支店
▲島田 カンパン店 大連市浪速町一八八 電八二〇七
▲久能木式石油厨爐は 大連磐城町山內硝子店 電六七八〇
▲昭和三年カレンダー 廉價販賣 大連市大山通 小林又七支店
▲邦文タイプライター中 東洋タイプライター最優秀 總代理店 小林又七支店
▲恩給電話 長期立替金融 電話七二六九 春日町三六 向陽社
▲ミシンは河島ミシン店 西通五十四番地電話七二〇〇番
▲名刺 ハガキ 招待狀 電話八五九八番 吉野スタンプ出來マス 大連大山通（日本橋際）

昨夜十一時自邸で王永江氏逝去す
枕頭の夫人令息に護られて 愁色漂ふ金州城内

【金州】東三省隨一の政治家として名聲を謳はれて居た前奉天省長王永江氏は故山金州の邸に於て宿痾募り久しく病臥中であつたが、一日午後十時五十分遂に逝去した、去月二十三日午後五時危篤に陷り、その後奇蹟的に持直した氏の病狀は二十八日夜より再び危殆狀態となり滿鐵醫院長戸谷博士始め阮主治醫、竹森醫師の手厚い看護も効なく戸谷博士が一日午後六時半往診し同八時發急行にて歸連後俄然數回の發作を起し同十時五十分に命したが、枕頭には夫人及び四人の令息を始め岩間王氏顧問、姜安東縣警察署長、姜熱河財政廳長、張煥亭氏、曹金州會長その他家人等が默々として頭を垂れ更けゆく夜に愁雲は濃く邸内に立ちこめて居た

日支官民の見舞客で混雜
けふの王氏邸宅

【金州】王永江氏の逝去により二日の徐家街なる王氏邸は悲愁に鎖され、急報により王東北大學々長は二日午前七時半着列車にて、滿鐵野崎審査役は同八時五十分來金直に王氏邸に入り其他乾金州民政署長・松木同警務部長始め金州在住の主なる日支官民の往訪早朝より引きも切らず正午には大連より田中民政署長・杉野市長・岡滿鐵社長來金懇篤なる見舞をなし岩間顧問・張煥亭氏等は訪客の應接に忙はしい、四書全書を背景に先年兒玉關東長官より贈られた金屏風を廻らした應接間には靜寂の中に人々の話聲もしめやかに金色燦然たる「澹泊寧靜」の扁額も今日はなんとなく曇つて居た

各方面に通知

【金州】一日午後十時過ぎ王永江氏全く望に陷るや直に奉天、東北大學に急電を發し二日早朝には北京なる張大元帥、黑龍江督軍吳俊陞氏、袁金凱氏、闞朝璽氏其他氏の奉天省長當時親交ありし人々に此の旨打電した

日本訪問を果さず逝く
返すぐも遺憾
蔡廷幹氏談

王永江氏逝去の報を聞いて目下市内山城町に閑居中の前外交總長蔡廷幹氏を訪へば憮然として語る

稍小康を得たとの報を聞き喜んで居たところであつたが、實に氣の毒であるとともに我國の一大損失である、氏は奉天派内に重きをなして居つたが、軍閥でなく官僚でなく全くの民人一點張りで始終した人で東三省地方自治のためにつくした功績は萬代不滅である、更に氏は非常に善隣の日本を理解し一中華民國人として日支兩國の間に立つて一つの橋渡しの役目を負つて居り今春來餘生を兩國親善のために捧げる考へから東遊を志して居つたのに遂に果さずして逝つたのは返すぐも遺憾である

◇……在りし日の王永江氏

大局を洞察し滿蒙開發に努む
理解ある友を失ふ
松岡滿鐵副社長談

前奉天省長王永江氏の訃を聞いて滿鐵松岡副社長を訪へばありし日の故人を偲びつゝ誠に殘念な事であつたと冒頭して語る

『王永江氏の死はこれを小にしては滿蒙のため、大にしては全支那の一大損失といはねばならぬ、余は去る大正十一年理事として初めて奉天で氏と相見る機會を得たが、第一印象の後からは益々親交を深ふした、氏は元來非常に深味ある人物で一寸會ふたのみでは到底氏の胸中を解し得ないが、併ししばを經るに從つていよく其の蘊蓄と人格が現はれ、余亦氏と交はるの淺きに及んで益々尊敬の念を深ふしたのである、余の府任當初、在滿邦人の多くは氏を恰も排日の巨魁の如くに評したが、然し氏の眞意を解し得ない說である、氏は支那人および支那を本位とする人物であつた、而してこれは普通の排他的偏狹な觀念から發したものではない、而も淸廉、潔白にして、自己の地位についても何等欲する所もなかつた、氏が中央に於ける國務大臣として膺任し得べき機會を有しながら、超然として終始一貫東三省の施政に專念した一事はこれを證して餘りあるもので、同時に氏は東三省が東洋に如何なる意義を有するやを把握した人であつた、滿蒙に於ける日本の立場、目的をよく了解し、大局を洞察して日支相提携して滿蒙の開發をなすべしといふ牢固たる信念を有する人であつた、氏が時に觸れ「日本人も今少し大きくなつて貰ひたい」と意見を漏らした事があるので或はこれ等が氏を排日家と曲解せしむるに至つた原因をなしたものかも知れぬ、然しながら氏は唐紹儀・熊希齡氏等が曾て考へたやうな第三國を滿蒙に引いて日本を牽制する所謂毒を以て毒を制する如き政策は取らなかつた、飽くまで紳士的態度を把持して來たのである、終りに一言したい事は余が在支二十年の間、各方面の人と會ふたが、氏の如く人格、力量、手腕ある士を知らない、而も余は個人として親交あり、余が再び滿蒙に來た今日、この理解ある友を失ふた事は哀しみに堪へない所である』と心から哀悼の色を浮べて居た

滿鐵の奬學資金に五十萬圓を增額す
百萬圓の財團法人を設ける
向學心に燃える子弟のため

滿鐵では創業二十周年記念事業として學資金財團法人を設け二年度に於いて五十萬圓を支出、續て三年度給費希望者を募集して居る事は既報の通りである、併し滿鐵として在內外の有爲英才の事業に手を染むる以上、五十萬圓の資金を以てしては到底十分の成績を擧げ得ないので最初の計畫では何時かの機會に資金を增額して百萬圓となす方針であつた、これについては過般の重役會議に於て經費豫算の査定同時に審議を重ねた結果、社內の經營は最少限度まで節約して居る折柄であるが、在滿子弟の教育は自らこれと趣を異にするものであり、而も向學心を有しながら學資不足のため空しく自己の希望を放棄せねばならぬ子弟については人材を造る意味からいふも出來るだけの援助を與ふべきであるといふに意見一致し最初の計畫通り早くも來年度から五十萬圓を增額して計百萬圓の財團法人となす事に決定した

寛城子で頓死した華人は肺ペスト
滿鐵の調査で判明すれば 南下旅客を檢疫

寛城子に於て頓死した支那人の死體に肺ペストの疑ひが發見されたため露西亞官憲は該死體を哈爾賓中央醫院に收容し、嚴密なる檢鏡の結果眞性肺ペストと決定(露西亞官憲は祕して公表せない)した旨一日夜滿鐵衛生課に入電があつたため中村防疫主任は長春滿鐵の坂本技術者に右の調査を命ずると共に哈爾賓滿鐵公所に宛更に調査方を依賴するところがあつたこれに就いて滿鐵防疫主任は語る

寛城子における肺ペストの實報を受けつゝと共にその調査方を依賴したから長春に常任中の坂本技術者が二日朝長春警察署に譯し共に現場に急行眞否の調査に當る筈であり、また死者が哈爾賓定住の支那人であるため哈爾賓公所に宛て調査方を依賴したから果して肺ペストであるか、若し肺ペストとしても哈爾賓にその流行を見つゝある模樣があるか判明するであらう、內蒙方面に向け流行を見つゝある際だから該病死者が肺ペストであり得る可能性はあるから勿論警戒の必要はある、眞肺ペストであつた場合は敢て哈爾賓方面からの南下旅客に對し列車內診療を行ひ更に長春に留置診療所を設け一定時間を同所に收容して恐るべき肺ペストの南下を防止せねばなるまい、肺ペストの流行期は十二月から一月頃であるが目下移動苦力の移動を控へた今日に於て流行を見るとすれば防疫上にも少からぬ苦心を要すると思ふ

五萬餘圓の損害
賠償要求を出訴す
大連安田銀行代表から

【東京電話一日發】大連市大山通の安田銀行代表安田善四郎氏は損害賠償請求訴訟を提起した、理由は滿洲町永樂町二の日の出汽船株式會社代表淺野榮次郎氏を相手取り一日東京地方裁判所に五萬一千三百圓にて豆粕二萬一千八百五十枚、白眉豆三百五十二袋を大連から滿州へ輸送することとなり、坂井商會はこの船荷證券を正隆銀行で裏書してもらひ右豆粕の引渡を請求した處、對州丸の船長は右荷物を坂井商會へ引渡して了つたので銀行は前記の樣な損害を蒙つたので取敢ず日の出汽船を相手どり本訴に及んだのである

生花投入會

奧田雅堂社中にては二三兩日間明治節祝賀のため市內磐城町藤田骨董店內に於て池の坊生花投入盛花展を催すと

三千三百圓詐取の虛偽の訴へ
大連浪速町永集源の店員が 旅順で芝居をうつ

【旅順一日電話】一日午後三時ごろ大連浪速町五六雜貨商永集源店員林世洪(二二)は午前十時半頃旅順特江町鮮銀行支店に赴き…前の路上ですでに住居住吉町の支那人三名に拉去され東洋橋と滿鐵貯炭場の中間で馬車に乘せられ日本橋を渡り桃源町附近山林に連れゆかれ散々毆打された上、所持の二千三百圓及び旅順泰興茂振出朝鮮銀行旅順出張所支拂額面一千圓の小切手一枚を強奪されたと屆出たので旅順警察署では桑村司法主任出張取調べた處言語曖昧にして不審の點ありなほ追及した結果、右は横領の目的で大連町雜貨商應順和から反物を買つてその中に隱匿してあつて虛偽の訴へをなしたものであると判明、目下嚴重取調中である

藝術寫眞の白陽氏來連

藝術寫眞の大家として斯界に知られてゐる白陽畫集社長淵上白陽氏は藝術寫眞展覽會審査員として二日入港のアメリカ丸で來連したが氏は來滿を機會に奉天、長春、ハルピン、天津等を巡遊する筈であるまた希望者があれば講習會を開催すること

日蒙親善に
飽くまで初志貫徹の覺悟だ
騎馬旅行團の神崎君來連

産聲をあげた日蒙親善協會の壯擧として日數四ケ月、行程三千餘哩にも亘る日蒙人の騎馬旅行團の先發隊が既に來滿してゐることは既報の如くであるが、二日入港のアメリカ丸で同協會委員神崎蓮君が一行と行を共にすべく來滿した

今日直に旅順の肅親王家を訪問し敬意を表した後、長春に行き同志と落合つて暫く滯在し準備を了へて滿洲里にいたり、乘馬の調製なし日本人三名、蒙古人三名とともに十二月一日を期し入蒙三月十二日東京着三千哩餘りの突破を試みる豫定である、嚴寒に向ふことゝて相當の困難もあらうが、日蒙親善の大目的のためあくまで初志を貫徹する覺悟である云々

貔子窩荒し 馬賊に判決
頭目は死刑

貔子窩管内を荒した馬賊の頭目孫廷賓の部下となり、賊名代子兒と號して貔に頭目陳が射殺されて以來自から頭目となつて貔子窩を根城に馬賊を働いてゐた頭目孫成(一七)同副頭目楊當君(二二)並に部下溫湖昌(三一)の三名は本年八月關東大連醫院に送られ審理中であつたが、つきてわが官憲に逮捕され二日頭目孫に對し死刑、副頭目楊に對して無期懲役、溫に對しては懲役二年を一れぐ言渡された

沙河口道場
開場式擧行

滿鐵運動會沙河口支部にては三日同支部道場開場式を兼ね武道大會を擧行する劍道部は午前九時より正午柔道部は午後一時より六時迄であると

奉天兇賊の身元判明
二人とも恐ろしい強盜犯

【奉天電話】朝刊既報——一日夜奉天警察署非常警戒の際太田警部補の一隊と交戰し遂に射殺された兇賊二名の身元は其の所持品と首實檢との結果二名とも去る二十七日瀋陽生町二番地米屋陳□勤方に押入り高粱と金四百圓を強奪し又三十一日夜琴平町牧野吳服店方を襲ふた犯人であること判明した

藝妓二十名をよんだ宴會
待てど暮せどお客は來ぬ
電話の間違ひか一杯喰ふたか 星の家の損害正に二百七十圓

電話の聞き違ひか、それとも何者かの惡戲か料理や別嬪を沢山に用意して待つてゐたところ、待てど暮せどお客が見えずこの不景氣時に大損害を蒙つた料理屋の話……

去る三十一日のことであつた、大連における一流の料理店、星ヶ浦尾の家へ「私は三井の山崎といふものだが東京の重役が來て支店長を始め四十名の宴會を催したい、ついては山海の珍味は勿論藝者二十名ばかり呼を掛けて置いてくれ」との注文に料理店側では轉手古舞ひで準備を整へ藝妓もより拔きを揃へさて約束の一日午後六時になつた、然るに待てども待てどもお客の影さへ見えないのに不審を抱き「サテは一杯喰はされたか」と始めて氣がついたがおそかつた馳せ參じた別嬪連「ほんとにばかにしてゐやはる」と自動車の中でつぶやきながら歸つたが、お蔭で星の家は損害、料理、線香代合せて二百七十圓也はちつと痛かつた

◇

恰度々の晩潮月で三井の申込みで數名のさゝやかな宴會があつたが、潮月側では「星の家さんが電話の聞き違ひではなからうか、四十名からのお客をするのに「はア承知いたしました」で請負ふのはあま、輕々しい、惡戲としては少し念がへりすぎてゐる」と語つた

中野電信隊 交代兵來る
歸還兵は五日に離連

東京中野電信隊通信兵十二名は工兵曹長小林義吉氏引率の下に關東軍司令部附信通信兵の交代兵として二日入港のハルビン丸で來連したが直に關東軍司令部に到着の上旅順及び奉天の通信兵と交代する筈である、尚交代歸還兵は五日出帆のハルビン丸で各所屬隊に歸還する由

入露文士通哈
(哈爾賓) 露國革命十周年記念祭に招待された文士米川正夫、尾瀬敬止の兩氏は三十日夜入露の途次來哈し北滿ホテルに少憩の上同夜北行した

明治節の遙拜式
三日午前十時から 電園下空地で擧行

大連市主催明治節遙拜式は既報の如く三日午前十時より市內電氣遊園下空地に於て擧行されるが、參列者は主催者側・官公署代表者を始め青年團・青年訓練所・修養團・各婦人會・在鄉軍人・市內各學校・一般市民で開式の都合上午前十時十分前までに所定の整列場に參集し一發の煙火を合圖に正十時より開式する筈である、尙遙拜式次第は左の如くである

修祓
次、齋主遙拜詞を奏す
次、齋主玉串奉奠、神職一同列拜
次、大連市長玉串奉奠(煙火一發)參列員一同拜禮
次、參列者順次、玉串奉奠
次、一同退場

横斷飛行士は四氏に決定
霞ヶ浦航空隊で練習 愈よ明夏七月に出發

【東京二日發電】太平洋横斷飛行壯圖に一番機を操縱する飛行士の最後の決定をなすべく帝國飛行協會では一日午後四時から九時まで慎重協議を遂げたが帝國日本航空會社より推薦した五名中乾將雄氏は父病氣のため取消を申出たので結局左の四氏に決定した

監督 一等操縱士一等飛行士 後藤勇吉
一番機 操縱者 藤本照男
同 海江田信武
豫備機 搭乘者 諏訪宇一

右飛行士は十一月中旬航空局の體格檢査を受けた上、直に霞ヶ浦航空隊に配屬六月間同隊本間少佐主任・航空法の訓練を受け明夏七月壯擧に就く筈である

入江木村山崎 三氏旅順訪問
新任挨拶

入江東京支社長、木村人事課長、山崎文書課長は二日午前旅順に赴き關東廳軍司令部を訪問新任の挨拶をなした

地方色

◇旅順——旅大八景の一であり旅大道路の關門である白銀山隧道に一日から夜間照明を採ることになつた、今まで物騷であつたトンネルも愈名所らしい明るい氣分に輝いて來た

◇哈爾賓——東支鐵道沿線は何處も彼處も長う冬籠りの仕度に忙しい避暑客を相手の各旅館は冬期間の籠城費として從來東鐵から休業費といふ妙な名目で相當な補助を貰つてゐたが之までの補助では遣り切れないとあつて更に一萬四千六百圓を增して呉れと泣きを入れた

◇濟南——昨さにかけては天下無二人だと誇つてゐる張宗昌將軍もこの秋收の時期になつても山東に喰ふものが無く四千萬の省民が飢餓に泣いて居るのを見てはジツとして居れず到頭張作霖に泣き込んで滿洲から三千萬斤の高粱の援助を仰ぐことになつた

純金ものと時計 購買會開始 御申込 電{七四二八/三七〇九}番へ 伊勢町 宮崎商店

溫雅・堅牢 支那天津緞通 各種 太き圖案は御好みに應じます 大連 品川洋行 敷島町三番地 電話六四五〇番

かもじ 製造 販賣 並に人造たぼ 大連近江町七 石井商店 電話四二一〇六

毛皮ナメシ 毛皮の美と持命はナメシに依ります弊店は技術本意にして實費にて調製致します御遠方の各位には送料半額弊店にて負擔致します最新クローム鞣に二割增 各種鞣革專門 普蘭店平安街 本間洋行

開業披露 妾事永年菊水に勤め皆樣の御引立に預つて居りましたが今度御暇を頂き左記の通り小料理專門の食道樂を明三十日から開業致しました何卒今日迄の御馴染を以て一層相變らず御引立の程御願ひ申上ます
一品料理十五錢 一菊正一本二十錢
一ちり、牛鳥よせ鍋、すき燒 大勉强
一親子丼 三十五錢 一內かけ飯 二十五錢 出前致します
尙御宴會の設備も致して居ります
大連市監部通六十番地 食道樂 いろは 電話七七九六番

金州新澤庵賣出し 甘口で至極美味なもの…… 辛口で經濟なもの…… 御手輕に小樽に漬けたもの…… 目方賣共御用命次第急ぐ配達致します 山縣通一六二 電話四六四八番 岩崎商店

和蘭產最大優秀球 ヒヤシンス 着荷 大連市浪速町 花と志 電話四九三七番

神經痛 リウマチス 其他一般慢性疾患 一回特に「六〇六號」注射の需に應ず 大連 沃度實費診療所 大連市八幡町二番地ノ七(人力車夫收容所正門傍)

看護婦及附添婦募集 大連市千歲町二十六番地 東洋看護婦會 電話八五三九番

花環 花籠 ばら屋花環店 大連市西廣場近江町 電話三九一〇番

二女千鶴子儀 滿鐵大連醫院入院加療中の處療養不相叶今朝死去致候間此段御通知申上候 追而葬儀は三日午後三時三十分途中葬列を廢し天神町常安寺に於て執行仕候尚乍勝手本廣告を以て御通知に代へ申候 昭和二年十一月二日 大連市敷島町五番地 父 佐志駿次郎

長女嘉代子儀 病氣の處療養相叶はず昨一日死去致候に付此段御通知に代へ謹告仕候 追て來る四日午後四時途中葬列を廢し明照寺に於て葬儀相營み申候 昭和二年十一月二日 松山町九番地 父 中島章 親戚 矢野隆一郎 友人總代 米澤喜久松

電話六五五八番 花環造花 籠花生花類 大連市伊勢町西廣場角 雨蓮社 支店旅順乃木町三丁目 瓦房店舊市街・沿線より御注文は特に御便宜相計可申候

生花 花環 葬儀取扱 大連市三河町近藤病院前 白蓮社 電話三五二九番 御返禮の品取揃へ御指圖の處に配達可仕候

生花 花環 葬儀取扱 大連市若狹町三丁目 明圓社 電話四九一〇番

生花 花環 葬儀取扱 大連西通大連商業銀行跡 八弘社 電話七六四四番 器具材料全部新調

戰國秘談

(二〇八) 高橋掬太郎作 高畑春潮畫

二人の武士

早間重太夫は少時の間考へ込んでゐたがやがてぽんと膝を叩いて面をあげた。

「主君！」と彼は呼んだその聲も元氣がよかつた。

「何とか妙計を考へたか？」

「考へましてござりまする」

「さらかどんな妙計ぢや、早う話してみい」

「お話致しまする、彼の怪人を討ち取るには矢張り鐵砲組の力を借るより他はありませぬ」

「うむ、鐵砲組の力を借るか、それで如何に致すのぢや」

昌康は重ねて問ふ。

「それは月あかりの夜に例の松並木のあたりへ誘ひの者を出して往復させまする」

「うむ」

「怪人が現はれて誘ひの者に斬つて掛つた時用意の鐵砲組で取圍んで討ち取りまする」

「成程それは妙計ぢや、早速やるがよからう」

と昌康は喜んで贊成した。

「いやまだ闇夜でござりまするので、もう少し待たねばなりませぬ闇の夜の鐵砲は利きませぬ」

「はゝゝゝいかさま喃」

と昌康は笑つた。

「如何でござりまする、妙計ではありませぬか？」

と重太夫は得意げにお照の方に云つた。

「ほんに、それならば間違ひなしに怪人を討ち取る事が出來ませう」

とお照の方は喜んだ。

「して誘ひの者には誰を使ふのぢや、少し腕のある者でなうてはなるまい」

と昌康がいつた。

「仰せの通り、少しは腕の出來る者でなうては、いきなり一刀の下に斬り捨てられるやうな者ではいけませぬ」

「誰がよいのぢや」

「左樣——」

と重太夫は考へ乍ら

「横山大吉郎がよいと存じまする」

「うむ、昌友か」

「はツ、彼なら大丈夫と存じまする」

「併し彼は兄成昌の供をして斬死した横山大造行友の子であるがよいか？」

昌康は氣づかうやうに重太夫の顏を見て云つた。

「いや、その點は大丈夫でござりまする。横山大吉は成昌公に忠義の武士のやうでありましたが大吉郎昌友は主君に仕へて決して二心のない者でござりまする」

重太夫が保證した。

「然らばその時まで秘密に致しおくがよいぞ」

「はツ！」

と重太夫はにつこり笑つた。

「主君、萬事は拙者の胸中にござりまする。何卒、御安心遊ばされますよう」

と胸を叩いて

「うむ、しかと頼むぞ」

昌康の面上、今迄の憂雲が晴れて見えた。

「早間殿何卒兄の敵をお討ち下さるやうお願ひ致しまする」

とお照の方もおとなしくなつて頼んだ。

「如何にも承知致しました、きつと、近日中に怪人を打ち取り、川勝氏の怨みを晴らして御覽に入れまする」

と重太夫は誓つた。

「如何に怪人が神出鬼沒鬼神魔鬼の勇ありとも飛道具には敵ふまい、今にみろ、彼度討取つてくれる」

と昌康の御前を退つてから重太夫は獨り言を云つて自分の考へた妙計を喜んだ、怪人を討つといふことは主君のためやお家のためばかりでない、我身が枕を高く寢たい爲であつた、彼は早く月夜になるを待つた、その折柄或日のことであつた、早間重太夫の邸へ二人の武士が訪れた、その一人は身の丈六尺以上と思はれる程の大男で頭は剃り落して坊主になつてゐた、そして片手に太い鐵棒を杖に突いてゐた。

「頼もう」

とその坊主の武士が割れ鐘のやうな聲を出した。

映畫と演藝

人氣俳優と米國映畫界 映畫價値の支持に苦心

映畫俳優の人氣はその生命最も短いものとされてゐるが、米國の如き競爭激甚なところではこの傾向は一層著しいものがある。昨日のスターは必ずしも今日のスターでないかも知れず、一映畫に依つて一躍人氣スターとなつた例も多いだけに、また或映畫で俄然人氣が失墜することも豫想せねばならない、從つて各大會社は今日比較的最高の人氣を有すると云はれる程の男女優を自社の專屬とし或は或期間を契約して自社映畫に獨占せんことを計り、斯くして自社映畫の價値の低下を防ぐことに腐心してゐるが、近年相當人氣實力ある俳優は、一會社に隷屬することを心よしとせず、獨立プロダクシヨンを起すものが多く、中にはその爲め失敗してゐるものも日本と同樣少くないが、然し米國映畫界に輝やへるダグラス・フェヤバンクスやチャーレス・チャツプリンを初め、メエリー・ピツクフオード孃、ジョン・バーモア或はコーリン・グリフイス孃、ノーマ・タルマツヂなど、云ふ錚々たる連中は勿論、その他に所謂フリーブツキングに依つて隨時各社に所屬してゐるもの、外獨立者は少くないが、此の傾向は一層大會社の俳優獨占を困難ならしめ、名優を主役に招聘せんとすれば勢ひ多額の報酬を出さねばならないと云ふことになつて來たので、これから點から假令ばパラマウント社から自ら俳優學校を經營して、將來のスターを養成し、一定の契約の元に自社映畫に出演せしめると云ふ方法などが行はれてゐるが、斯かる方法は大會社にしてよく爲し得るところであるから規模の小さい會社は俳優の招聘には餘程苦心してゐる樣で、從つて無名新進俳優の中から逸物を探し出して一儲けしやうと云ふやり方は、餘程危險が伴ふけれども、一寸當れば相當の效果を擧げられるだけに新進養成に對しては非常に注目してゐる。

映畫みたまゝ ギツシユ姉妹の共演映畫ロモラ

「ロモラ」を見る。曾て若く且つ華やかなりし所のギツシユ姉妹の面影にあこがれて、取材が既に多岐多端なる色彩に彩どられたる十五世紀の物語りである、當時南歐イタリヤの空は暗澹としてゐたい專政の橫暴、惡臣の隱謀企、パイレートの横行、條件は世紀末の有らゆる過渡期的經條件の配列である、ジヨージエリオツト女史の傑作として普く知られた作品でメデレスはウイルリツチエイ氏、それにデレクターがヘンリーキング氏これだけの土臺で築き上げられた作品「ロモラ」の惡からう筈はない、それにキヤストはリリアンのロモラ、ドロシーのテツサ、ロナルドコールマンのカーロブチエリ、おまけにロケーシヨンハンテングが伊太利と來ては殆え撮影が贅過ぎるとは云へ二十五年度作品とは云へ「好きな映畫」の一つとして威張れる作品の一つであると思ふ。

ドロシー、リリアンのアクテングは殆ど完璧に近いまでの眞實性を有つてゐる「嵐の孤兒」「世界の心」當時の二人を好い感激で見たのと同じ感激は再び觀客の胸に喚くであらう、コールマンはむしろ押され氣味だ、でもそいつは仕方ない相手がリリアンだから、殊に前々週「世界の心」で多くのフアンを喜ばしたギツシユ姉妹物であるだけに恐らくは受ける事であらう。だが難を云へばツイリアム・ボウエルの敵役である今少し惡辣味があつても惡くない。

帝キネの撮影所新設 大軌長瀨に

帝國キネマが大連市外大阪沿線長瀨に一萬有餘の地を卜して建築に着手した理想的な大スタヂオは着々進捗し去月末に上棟式を擧げたが全部の竣工は來年一月下旬で二月には小阪からこの新撮影所に移轉する筈である

東京少女歌劇 二の替り上演

初日以來連日滿員の好評を博しゐる東京少女歌劇は二日より二の替りを上演する事となつた、曲目は何れも近藤十九二氏、井上起久子氏一行の舞臺監督鈴木康義氏等の逸作ものばかりであると

一、歌劇ピンポーの漂流(一幕)
二、喜劇月の夜話(一幕)
三、史劇製裟と盛遠(二幕)
四、喜歌劇ヘソ(一幕)
五、歌舞劇浮れ大名(一幕)

筑波異聞護國の鬼

撮影費十萬圓と稱する阪妻プロダクシヨンの本年度最終の特作品で福英之介氏原作、村正義郎監督、阪東妻三郎主演、森静子、泉春十助で多數のエキストラを使用して奈良の三笠山で筑波山の反軍討伐の大衆撮影をなし素晴らしいチャンバラを觀せると云ふ騷動に取材した時代劇である、寫眞は阪妻の結城正之介と泉春子の藝妓露香

中村かなめ 愈々明日開演

新派劇界の人氣王中村かなめ一行は豫定より門司由ハルビン迄で二日來連同日乘込初日を大連劇場に開ける事と決定した因に今回は當地一流商店が聯合して同一行を後援し大劇の階上特等一等全部を買切り是を一般得意客に常て慰安デーを催す由因に初日狂言は一番目片瀨の秋、二番目愛の地獄の前篇七幕を通劇として上演すると

廣治名披露會

二、三、四の三日間に亘り午後六時より竹本廣治名披露會が遊樂館に於て同樂會主催豐竹呂鶴、豐竹東馬鶴、豐澤友代、豐澤仕次、竹本佐太夫後援の下に開催される。

映畫界東西

◇F・N社西部活劇ケン・メイナード主演の「戀地の義人」は目下海軍大演習中に畏くも陛下の天覽の榮を賜つた。

◇マキノの城戸監督原作脚色の「運命の裁き」に松本一郎といふ未知の俳優が拔擢されて主演する

◇右太プロダクシヨンの次回作品「高瀨常盤」の監督は新人社の多々羅三平監督と決定。

◇エフ、ビー、オー特作映畫「ゴリラ大陸」は今回學術參考映畫として文部省から推薦さる。

◇天下公認のモガ、クララ、ボウ孃が「亂暴ロジー」で縱橫暴れ踊ると云ふ珍騷で暴廻つてゐる。

◇日活の中野英治が正宗劇「喧嘩」に主演する。

恩給年金立替 御引は即時致します 大連奧町八の十(小學校隣) 各公社債 賣買 勸業債券 江州屋商店

犬猫往診 五十錢 滿洲畜犬協會附屬診療所 北崗子海岸二ノ一屠獸場構內 豐田洋行內 電話六九七三番

滿洲日報の申込は トキワ橋停留所前 毎日舍新聞舖 電話七四八五番

家傳 名灸 とほねつぎ 婦人病、淋病、神經痛、腦、胃腸、肋氣、痔疾其他一般 大連市浪速町五丁目二百一番地 家傳 鍼灸ほねつぎ療院 大連檢番前 來連當所營業十八年

特製ハム ソーセージ 內地御土產品として最も適當な品で有ります 大連市伊勢町 井町商店 電話四〇二三

調劑 處方 衞生試驗 局藥橋本日 電二八三六二

藥 小寺藥局 大連伊勢町十八 電話六六〇六

大連埠頭待合所の 支那料理 味は一番……名は日新 電3571

大連大山通正隆銀行前 大阪 硝子器 日陶 東陶 洋風陶器 金屬漆器 電話三八八八番 共和貿易商會

煖房不用品 高價にて買入れます 電話五四八二番へ 高橋商會 大連加賀町二十八

慶吊 花環 □新しい店の新しい花環 □驚くべき廉價！製造販賣元 □當分實費にて御求めに應じます 大連市西廣場近江町角 花環籠花 造花裝飾 ばら屋花環店 電話三九一〇番

眞正 獺(カワウソ)の膽(キモ) ◎肺病 ◎ろくまく 靈藥 五日分金二圓五十錢 說明書御申越次第送呈 分讓所 佐々木洋行 大連市大黑町一四二

二日より毎日晝夜 晝十二時 夜六時 開館 名畫の價値は不朽 機會は今！再上映 修羅王 尾上多見太郎 大河內傳次郎 可酒井米子 五郎

高木永二自作自演 稻妻 主演鶴花久子、高木永二 破格入場料 特等大五十錢 小三十錢 並等大四十錢 小二十錢 浪速館

十一月一日替り 帝キネ特作品 現代喜劇 やきもち神樂 全 里見明、歌川八重子共演 今秋の我が映畫界の混沌戰は此の一篇の出現に依つてその女王の座を我がリ、アン・ギツシユに委ねんとしつゝあり……

ロモラ 全十一卷 メトロ・ゴールドウイン社超特作映畫 十九世紀英國閨秀作家ジョヂエリオツト女史原作…… 帝キネ會社超特作映畫 時代劇 平手造酒 全 尾上紋十郎主演 演藝館

三日より特別番組 現代劇 阪東妻三郎プロダクシヨン傑作 太秦撮影所作 英百合子主演 美しき奇術師 十卷 京都衣笠貞之助監督 大傑作映畫 林長二郎、千早晶子主演 女夫星 十卷 二大映畫愈々三日より公開 帝國館

十一月三日より 謝恩特別大興行 嵐寬壽郎第三回 第二 三巨篇 劍戟と戀の物語 青春 岡島艶子復歸ヤツ子助演 片岡千惠藏入社第一回主演映畫 雜誌キング所載の名篇 萬花地獄 第壹篇 鈴木澄子・河上君江・市川小文治・大谷鬼若助演 現代活劇 隼 後篇 皆樣とんなスバ拔けた番組ではありませんか天下無敵です 人氣の焦點 寶館

十一月三日より謝恩興行 マキノプロダクシヨン超特作 雜誌「キング」所載の雄篇 銘劍綺譚大劍俠篇

萬花地獄

片岡千惠藏主演映畫 第壹篇拾卷

鈴木澄子、河上君江、市川小文治、大谷鬼若 助演

嵐長三郎 第貳回 主演 時代映畫 劍戟篇 青春 岡島艶子復歸第一回助演

現代活劇 隼 後篇

料金最低

寶館

櫻印 月印 安全唯一ノ優秀品 印バルブコツク 代理發賣元 大連 鳥羽洋行

一九二七年式 米國ソノラ蓄音機 月賦販賣 米國ソノラ會社製 ソノラ蓄音機 多數着荷 ソノラは近時優秀とされて居る蓄音器中最も肉聲に近く音樂的と云ふ點に於て一般に賞用されて居ります

大連市伊勢町一〇六 直輸入商 田中商店 電話七八四二番

商標 G.Y. 車軸油 大連市紀伊町五五番地 矢野元商店 電話 長八三五八番 七四一三番 營業品目 揮發油 石油 機械油 重油 車軸油 植物油 魚油 サラダ油 油類一切 代理店 米國テキサス石油會社 米國ユニオン石油會社 日清製油株式會社 神戶瓦斯株式會社

文化の家庭に必要食料品 米國アルバース會社製品 オートミール (各地有名食料品店にあります) ○オートミールは燕麥の小粒を精選した細片にして鑛物性に富みカルシユーム錯燐などの要素十六種を含んで居まするを滋養力は三倍で遙に完全な食料品であります ○オーツは卵と同じ重量と較 ○オーツは老幼を問はず喰べなければなりません他の食物には無い滋養があつて大人は强壯になり小兒は發育が好くなります

料理法 少々の鹽を入れたる熱湯二とアルバースひき麥一との割合にて混合し時々攪拌しつゝ二十分間沸騰したる後砂糖とクリーム或はミルクフルーツベーレーと共に食用すべし

輸入組合問題 小委員會設立
關東廳滿鐵及商議等より委員を選んで
兒玉長官の意嚮

大連商議佐藤、高田正副會頭及竹崎書記長は二日午前八時旅順關東廳長官と會し兒玉長官を訪ひ全滿輸入組合問題に就いて陳情及種々協議するところあつたが其結果長官の意見として「關東廳滿鐵及商議側より少數の委員を選定して小委員會を設け細目に亘る協議を進めては如何」とのことあり商議側もこれに賛して辭去しそれより關東廳各關係課と打合すところあり正午歸連したるが長官の意見に從つて滿鐵とも交渉し直に小委員會の設置を見るべく斯していよ／＼輸入組合問題も實際的に又急速なる進展を見るに至るであらう

奉票上跳ね
金票賣出說に

【奉天】官銀號の金票賣出說に一日の奉票は千十四元から九百八十八元まで上騰し三百九十六萬二千圓の出來高があつたが一時的現象と觀られてゐる

精鹽會社簇出

【營口】支那人間に於ても漸次生活程度が向上したため精製鹽の需要が多く特に近來奧地への需要增加して來たこれが爲精製鹽業の會社續出の狀態であるが今回新に精鹽業公司なるもの設立され營口西門外元海昌油坊の家屋を借受け工場とする豫定で目下同油坊の手入中である

休銀の未解決で 財界混沌
内外棉社長 武居氏談

二日入港のハルピン丸にて來連した内外棉社長武居綾藏氏は語る

今度も例年通り各地工場の巡視で他に特別な用務はない、大連には數日滯在、金州の工場を視る時間があれば二、三個所旅行するかも知れぬがそれより青島、上海に廻つて歸國の豫定である自分は支那の現狀を悲觀してはゐるが當分はかゝる狀態が繼續するものとして事業を維持經營して行きつゝある、日本の財界は休銀救濟が解決せぬのでまだ暗澹たる狀態にあるが金は澤山あるところには塊まつてあり金を必要とするところに供給する道が塞がれてゐる有樣で誠に情ない次第だこれは現内閣の積極政策の實現により一日も速かに新しい道を開くことが何よりの急務であらう

銀相場の前途は（下）
當分は持合ふならん

將來大連より南支向け輸出旺盛となるか或は南支方面よりの輸入減退し且つ奉天軍閥のオペレーシヨンが中止せらるゝに至る迄大連の

◇―滬申相場 の回復困難なるべく、滬申相場より見たる大連の銀相場は目下難關を許さざるもの如く將來この大連に於ける變調的銀資金の偏在か上海市場に如何に影響するや或は又上海金融關係如何なる程度に大連の銀市を左右するや極めて興味ある問題なるべし

六、日米クロスの騰落如何

最近の日米クロスは騰落極めて端倪すべからず強き如く見えて強からず弱き如く思はれて落さず全く氣迷ひと觀測せらる其理由は(イ)最近米印棉の相場反落せるをを待つて日本紡績筋は原棉の手當をなす爲に高値に常に輸入ビル出廻りて抑へらるゝ點(ロ)日本に於ける金利低落せる爲に先般外國銀行筋が日本に蓄積し置きたる資金を漸次

◇―海外市場 に還元せんとする傾向ある爲高値には圓の賣物多し

(ハ)政府の在外資金は既に一億以上二個の圓弱材料に對して九千萬圓臺に減少したる爲に政府は在外資金充實の要に迫られて民間外債を許さしめつゝある模樣ある爲に安値に外債成立の風說たち圓の賣方を脅威するの(ニ)爲替安と物價低落の影響を受けて日本の對外貿易が意外に順調に進み圓の安値には輸出ビルの出廻りある點

大體以上四個の原因は左に相錯雜し從つて圓の騰落は全く豫想を裏切る狀況にあり併し大體に於て圓クロスは目先大たる變化なく此邊の持合と見て大差なき樣思はるゝ

七、上海における投機筋の態度

最近上海よりの報告によれば支那人投機筋の

◇―爲替賣持 は約三千萬圓乃至四千萬圓見當（圓及磅共加算して）の如く將來彼等は今一度賣り敲きて後に利喰に出で來るか或は此邊相に厭氣をさして崩れ來るか頗る興味ある問題たるべし、近來上海において人攫團なる匪賊の横行甚だしく殆ど無警察の狀態なるをもつて一流紳士の大部分は殆ど海外に避難旅行して不在なるを以て從つて金塊爲替等の投機も以前の如く旺盛ならず小資本の連中多きを以て利喰ひも逃げも極めて早速き故に從來の如き彈力を缺ぐものと思はるゝ夫故日米クロスも

◇―思ふ程に 低落せず銀塊も豫期する如く昂騰せざれば厭氣さして崩れ來るに非ざるかと判斷せらるゝを以て現在の如く無材料閑散に推移せば先づ一時銀の弱き市場を出現するやも知れずと思はる但し現在の銀塊及日米クロスの相場に重大なる變動なき限りは大なる銀の安値は期待し難く或は反對に上海方の金融が年關接近と共に一層引きしまり來らば大連も勿論其影響を受く可く其内大連方面より南支向輸出成立せば滬申相場も立ち直りて上海に鞘寄せすべき時期もあるべし

以上の諸點より觀察して余は大連銀相場は猶當分氣迷ひ持合を繼續するものと判斷しつゝあり、上海に於て

◇―投機筋が 賣崩れ來らば逆に銀買ひに妙味あるべく又今一度安値に賣込み來らば夫は彼等の利喰ひ場所に違ひざるべし斯くして將來此等が手持ち銀塊を賣り放つて市場に直接脅威を與へざる限りは貿易及奧地金融逼迫の影響を受けて上海金融市況は年末接近と共に漸次引しまり來るものと觀はる。上海に於ける外國銀行は依然巨額の資金を擁して其利用に窮しつゝあると支那側一般は漸次信用の減退と共に時局の影響を受けて將來上海金融界に革命的一大變動の來る時期は遠き將來に非ざるべしと觀せらる

種籾代貸付金
豐作で回收樂觀

【奉天】奉天居留民會斡旋により勸業公司の種籾代一萬一千九百圓を農五十餘戶に貸付けてゐたが本年は稀有の豐作のため回收高既に二千圓に達し回收樂觀されてゐる

まつたく心許なき 奉天票の釣上策
金票を一方で賣つて他方で買ふ

【奉天】劉省長の奉天票維持策について原田奉天取引所信託專務は語る

劉省長は奉天票維持策として如何なる方針を採るか自分は未だ省長に面談した事がないのでその眞意は判らない、しかしこれまで省長が實行せる結果によると金票を賣り出して奉票の價格を引上んとするらしいが一方に於て金票を賣りに出せば他方に之れを買入れる模樣があるので奉票價格の平均はとれても一向回復する樣子もない一時は支那側錢鈔業者の壓迫說さへ傳はつたが壓迫した處で永く其效果があるものではない、支那側當局が特產物を買占め之を軍費に充當する事を止めるか又は軍費を東三省財政から絕つて金融維持に努めなければ到底奉票の維持は望まれぬ

盤山縣防穀令
去月限り撤廢

【營口】盤山縣では凶作の爲穀類の境外搬出を防ぐ爲本年五月防穀令を布き今日に及んだが本年は殊の外豐作なので去月三十一日限り之を撤廢したので當地支那商も同地に買付に赴くものがぼつ／＼あると

陸地棉買入期
來年の一月迄

昭和二年度に於ける陸地棉買入日並に買入期間は來年一月迄と決定せるにつき右期間中に全部賣却をする樣各耕作者に洩れなく通知方を民政署殖產課長より各會長宛通知を發した、尚從來の販賣狀況に徵するに會長の督勵如何により販賣數量の多寡を生ずるので此の際農家をして棉花販賣の有利なることを諒解せしむる樣附言したと

官營存續
政府要路に陳情

大連特產取引人組合にては取引所民營存續に關し平田組合長の名を以て去る一日田中總理、成毛拓殖局長官、田中外務大臣、中橋商工大臣、三土大藏大臣等に宛て左記の陳情電報を發したと

陳情電文

去九月二十六日付電報及文書を以て大連取引所官營制度存續の儀に付陳情致したるがその後頻々たる情報は

中央政府 の御方針吾々取引人の意思に反するものゝあるやに傳へられ吾々一同驚愕痛心に堪へず官營を廢し民營とし三社を合併することは單に大連株式商品取引所の株價を一時的に釣上げ一部株主に利益を獲得せしむるの外何等の利益なし若し萬一此の際的重要經濟機關に對する政府の方針が右情報の如くんば其機關の主體にして利害の直接當事者たる吾々取引人の利益を無視破壞し無關係なる第三者の利得を計るが如き結果を招來するものなるを以て其重大なる事態に鑑み當局に於て最も愼重なる考慮を拂はるべきものと信ず然らざれば

日支經濟 關係の錯綜せる當地の如き場所柄に於ては意外の混亂を發生することなきを保せず殷鑑既に先年の建値問題にあり又支那各地に於ける民營取引所の實績に見るも官營制度は寧ろ取引所として理想的制度にして株式組織及會員組織に比し幾多の長所を有し最も當地の實情に適當せるものにして吾等の信頼する所なり依て現制度を存續せらるゝは當地に波瀾を起さず吾々は永く平和に安心して取引する事を得喜悅に堪へず旣に去る十月二十六日には臨時總會を開き全員一致重ねて

官營制度 存續の決議をなし關東長官に陳情したり長官は當時の事情を諒解し居らるゝも信ずるも關詮情報に見れば中央要路の方々に未だ當地の實情に吾々の願意十分徹底し居らざる樣考へらる依て茲に更に陳報を以て事情を具陳し官營を存續せられんことを切望す茲に取引人百七名即ち日本人二十八名支那人七十五名歐洲人四名に代り謹みて閣下の御清鑑を悃願す

移入炭制限は 需給平調のため
內地炭況は好調 先年の悲境に逆戻りすまい
◇……小川滿鐵販賣課長談

滿鐵販賣課長小川逸郞氏は二日午前十時入港のハルピン丸にて歸社したが船中往訪の記者に語る

毎年石炭需用期に入るに先だち炭礦主、炭業者相寄りて相談會を開くので、自分はこれに列席顔つなぎをする外、八幡製鐵所への

用件を 兼て東上した次第である、內地炭礦聯合會では來年度も本年同樣炭業制限を續行することゝなつた、それは一面から見ると昨年の需要期より尻上りに値上りし、昨今は供給不足で內地の大手筋は契約ものなく買ひ急ぎ兩々相俟つて炭界前途が好勢を續せる際、寧ろ無用の制限の如く思へるが、各炭業者としては今以て積年の痛手癒えず苦んでゐる際故、當分の間ボロイことをする意味からではなく

需給の 平調を得させるといふ意味から炭業制限をやらうとなつた迄である、又實際問題からすれば北海道を除く外、九州の有數炭礦は殆ど大部分老境にあり、遂に制限に依る大なる影響はなく寧ろ制限に達すればよい狀態に過ぎない、兎に角現在內地の炭界は供給逼迫しつゝあれば、需用期に入らば炭價は益々上ることだらう各炭種を通じ目下この春よりは平均一圓廿―卅錢方の

騰貴て ある、しかしただ一般の景氣が炭況の好調に必ずしも伴はないから、果して現在の好況が永續性のものか否かは少疑はしきも、こゝ二、三年前に見たる如き悲境に逆戻りすることだけは絕對にないと確信してゐる、特に面白い點は、この秋までは粉炭が不足してゐたが、最近では塊炭の供給が不足し、現に値上りしつゝある現象である、又製鐵所の方の關係は、來年度も

奉天票陸揚說

【營口】一日當地入港の勝浦丸は硝酸七十五箱銅塊七千餘箱を陸揚したが右は奉天兵工廠行のもので別に奉天官銀號宛の印刷物百二十箱も同じく陸揚したるが之は米國で印刷の奉天票なるべしと

蠶業助成
滿鐵に陳情

【鞍山】鞍山蠶業組合では卅一日午後二時より臨時總會を開き出席者十九名地方事務所より照會の一、組合員數、桑園面積（本年新植の分、在來の分を區別の事）二、蠶業事業のため投下せし資金（各目出金及借金區別の事）三、組合の收入現況（會社の補助金をも加ふること）四、借入金の投資及償還計畫五、今後組合の經濟が獨立するに至る迄の收支豫想につき協議したが委員を選定四日までに回答書類を作成提出することに決定し、次いで一、組合規約一部の改正二、救處分の方法三、肥料に關する件四、其の他の諸件を附議し夫々決定を見た尙蠶業助成に關しては滿鐵に從來通り地方產業啓發の方針を以て助長せられんことを陳情することになり之れが委員として岡部直三郎、菊地龜助、盧佐太郞、田中末松の五氏が當選したと

本年度

同銑七萬噸の鞍山銑鐵賣渡契約が成立したいそして銑鐵の價値も追々認められてきたので、假りに他銑が下つてもその値に下るものでないとの強い確信を持つてゐる云々

貨物取扱增加
西部線の狀況

【哈爾賓】西部線出廻り狀況視察に赴いたエムシヤーノフ管理局長は廿九日歸哈したが氏は語る本年過去八ケ月の西部線各驛出發貨物は百萬八千餘噸で昨年同期の七十四萬七千噸に比し約二十六萬噸の增加を示した到着貨物は昨年の十八萬噸に比し二十四萬噸でこれも亦六萬噸の增加である西部線は山東直隸難民の渡來に伴ひ開發目覺しきものがあらうと

錢信整理說記

昨記錢信の整理問題記述中九十萬圓の拂込資本に減資し後四千百四十萬圓とあるは四百四十萬圓又公稱資本金を五百萬圓となし六百萬圓を增加したとあるは六十萬圓の誤植である

和算洋算

今日は取引所經營の過渡時代だ▲官營だから間違ひがない會員組織だからどう民營組織だから斯うだといふやうなことは些しく考へさせられる▲民營にも官營にも缺陷があり又種々な事件を惹起し、苦い經驗があつてその可否の斷定に尠からず苦まざるを得ぬ▲經濟問題には理外の理を存することであるから斯の種の論議に當つては感情に墮すなかれ▲官營存續運動も株券の錢鈔側が變に警戒し見送つてゐるので鼓舞熱る氣乘りうすの態▲關東州の棉作獎勵に關東廳は大童である▲その努力は空しからず着々といくられてゐる▲尤も此の棉作獎勵に種々意見もあるが棉作の地と稱せられるは何れの國でもそれ／＼苦心が伴ふもの、積極的に助成すべしだ▲關東州の棉作獎勵の當初は亞米利加の棉作獎勵にエピソートがある▲今こそウガンダやスウダン地方は棉產地として著名であるが▲同地の棉作獎勵當初は並大抵の苦心ではなかつたらしく、いつそのことバナナの樹を一本殘らず伐り仆そうとしたが終に小屋稅を賦課することになり▲怠納者はどし／＼留置場に送るといふ非常手段に訴へたもの荒療治に土人も耐堪たまらずいや應なしに棉を作るやうになつたとのことだ▲錢信整理はいまだに目鼻が附かない、今度も獨整理に傾いて來た▲どうなることやら日に暮れて道遠しの感がある。

特產

定期前場（銀建）

大豆（軟調）

限月	寄付	高值	安值	引值
十一月末	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇
十二月末	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇
一月末	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇
二月末	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇
出來高	百十一車			

豆粕（軟調）

限月	寄付	高值	安值	引值
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

豆油（保合）

限月	寄付	高值	安值	引值
十一月限	一九二〇	一九二〇	一九二〇	一九二〇
十二月限	一九二〇	一九三〇	一九二〇	一九三〇
出來高	五千箱			

高粱（暴騰）

限月	寄付	高值	安值	引值
十一月末	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
十二月末	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
一月末	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
二月末	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
出來高	百五十一車			

豆油（保合） 出來高 三萬九千枚

現物前場（銀建）

品名	寄付	引值
大豆 袋込品	六二六〇	六二二〇
裸物	五九三〇	五九二〇
出來高	三十車	
豆粕	一九一〇	一九〇五
出來高	二萬四十枚	
豆油	一九五	一九四五
出來高	三千箱	
高粱	三六五	三六五〇
出來高	七車	
包米（出來不申）		

大連特產到着貨物

品名	一日午後	二日午前
大豆	三〇車	四二車
高粱	—	一車
小豆	—	一車
合計	三〇車	四四車

高粱は煎上げ

品薄懸念のため氣配に推移せる高粱は本朝も依然賣屋の狼狽崩れ昂げに續伸商狀々辿り商內又大いに彈み殊に期近は受渡不安構へに一般の上振を示して一氣又復八錢方躍進した他の三品は依然頭重く銀市の堅調と明日の休會を控へて人氣引立ず軟調に終始した

客月中出廻高

十月中に於ける特產到着車數は大豆を始め新穀出廻り豐富の爲前年同月に比して四百三十車の增加を示してゐるが之れを各品別に前月と對照すれば左の如くである

品名	本年十月	昨年十月
大豆	二六五三車	一三三七車
新大豆	一七九三車	二九八車
豆粕	一五二車	一六二車
高粱	一三三一車	一一一車
粟	一一一車	四〇一車
米	七車	二一車
豆	九三車	二〇車
小子	二七車	一七二車
包米	一二車	一〇車
吉子	四一車	
瓜子	二〇八車	六五車
合計	二五三六車	二一〇六車

錢鈔

定期前場

期	寄付	引值
期近	九六一五	九六四〇
期近 高值	九六五五	安值 九六一〇
出來高	二百七十九萬圓	

現物前場

時間	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	九六三〇	一三六三	一三三〇
十時	九六三〇	一三六三	一三三〇
十一時	九六三〇	一三六三	一三三〇
十二時	九六三〇	一三六三	一三三〇
出來高	銀對金 八萬六千五百圓	銀對洋 一萬二千圓	

材料高に上向

昨場手堅く示せる氣先本朝外電は倫敦銀塊現先とも一高紐育銀塊は四高と銀高材料を報じて地場は依然買人氣強く九十六圓十五錢と十丁高に寄り更に標金の不味を入れてヂリ高を辿つて九十六圓五十五錢と上伸して強調裡に引けた

株式

前場（保合）

定期・出來值

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三三〇〇	三三四〇	三三八〇
商信	寄	—	三三一〇	—
	引	—	—	三三一〇
新豆	寄	—	—	三三四〇
	引	—	—	—
新鈔	寄	—	—	—
	引	—	三三〇〇	—
製氷	寄	—	—	三一一〇
	引	—	—	—
五品	中	三三四〇	三三四〇	[illegible]
	引	三三四〇	三三四〇	[illegible]

延べ（出來不申）

直キ出來值（甲部）

銘柄	寄付	高值	安值	大引
五品	三三一〇	三三一〇	三三一〇	三三〇〇
新豆	三三四〇	三三四〇	三三四〇	三三六〇

直キ出來值（乙部）

銘柄	寄	引
正隆	[illegible]	
二新	—	—
新銀	—	[illegible]
株信	[illegible]	—
星土地	—	[illegible]
水產	[illegible]	—
日特	—	[illegible]

爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	三三〇〇	[illegible]	一〇〇		五
商信	三三〇〇	—	一五〇		五
新豆	三三四〇	五〇	一三〇		五
新鈔	三一〇〇	七〇	一〇〇		五
製氷	一〇〇〇	—	一五〇		五
滿銀新	—	—	一〇〇		四

後場（軟調）

爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	三三〇〇	[illegible]	一五〇		五
商信	三三〇〇	—	一五〇		五
新豆	三三四〇	五〇	一三〇		五
新鈔	三一〇〇	七〇	一〇〇		五
製氷	一〇〇〇	—	一五〇		四
滿銀新	—	—	一〇〇		五
星土地	—	—	三〇		五
郊外	—	—	三〇〇		五
大新	八八四〇	—	一〇		四
東新	一六一〇〇	—	一〇		四
鐘新	一三九〇〇	—	—		—
株信	—	三〇	一〇〇		四

定期・出來值

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三三〇〇	—	三三四〇
商信	寄	—	—	三三一〇
	引	三三一〇	三三一〇	三三四〇
新豆	寄	—	—	三三一〇
	引	—	三一〇〇	三一一〇
新鈔	寄	—	—	—
	引	—	—	—
製氷	寄	—	—	一〇〇〇
五品	中	三三九〇	三三一〇	三三一〇
	引	三三八〇	三三〇〇	三三一〇

延べ（出來不申）

直キ出來值（甲部）

銘柄	寄付	高值	安值	大引
五品	三三八〇	三三八〇	三三三〇	三三七〇
商信	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
新豆	三三一〇	三三一〇	三三一〇	三三一〇
新鈔	三〇九〇	三〇九〇	三〇九〇	三〇九〇

直キ出來值（乙部）

銘柄	寄	引
正隆	五〇〇	五〇〇
新銀		
株信	三〇	三〇〇
周水		
火災	八〇	八〇
日特		

出來高（二日） 定期 一八二〇枚 直キ 不申

直キ 一一一〇枚
合計 二九三〇枚

市場電報

鮮銀帳尻（九日）

項目	圓
發行總額	一八九、四一七、九八四
正貨準備	三九、四二七、二四一
保證準備	四九、九九〇、七四二
限外發行	—

手形交換（二日）

	枚數	金額 圓
金	八七四	三、〇二三、八四一
銀	二七二	二、一八九、八七三

棉花（二日着）

▲米棉（電通）

限月	
十二月	二〇仙三五
一月	二〇仙四二
三月	二〇仙五六
五月	二〇仙六八
七月	二〇仙五六
現物	二〇仙七五

▲印棉（電通二日） ブローチ 三九四留比

紐育株式（二日着）

銘柄	
スチール株	一三一弗二分一
アナコンダ株	四五弗二分一
諸株出來高	一八〇萬株
コールマネー	四步

銀塊及爲替（二日着）

項目	
倫敦銀塊	二六片八分一
同先物	二六片八分一
紐育銀塊	五六仙八分七
英米電信	四弗八六仙八分七
米日電信（百圓）	四六弗八分七
米支電信（百兩）	六三弗八分七

▲上海外國爲替相場（二日着）電信爲替出來值表

項目	
倫敦（兩）	二志六片一六分三
日本（百圓）	七三兩八分七

▲上海金票交易所（寄付） 標金 三六二兩二

▲倫敦向爲替相場 電信爲替銀行賣（二日着）

項目	
[illegible]	三六二留比
[illegible]	三二六留比
伯林	二〇金馬克三八分七
巴里	—
ブラッセル	—
ミラン	—

上海標金下押

標金は先安見込みに昨場裕興、永等賣大手に賣らるとあつて不勢にあつたが本日も引續き無氣力にて三百六十二兩二の寄りよりアト三百六十一兩五と入れて居る

大阪株式（電通二日）

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇二二〇	一〇二三〇
同新	八八二〇	八八三〇
鐘紡	二六四一〇	二六四一〇
同新	一三九九〇	一四〇五〇
日糖	八〇三〇	—
郵船	六八〇〇	—
東新	一六一六〇	一六一七〇

大阪綿糸（電通二日）

限月	前場寄	前場引
十一月	二三五七〇	二三五四〇
十二月	二三八五〇	二三七八〇
一月	二四二三〇	二四一九〇
二月	二四四六〇	二四四三〇
三月	二四六六〇	二四五九〇
四月	二四七〇〇	二四六四〇
五月	二四七三〇	二四七一〇

大阪期米（電通二日）

限月	前場寄	前場引
十一月	三〇六九	三〇六一
十二月	三〇七四	三〇七二
一月	三一三六	三一二一

東京株式

銘柄	一日後場引	二日前場寄
東株	一七二三〇	一七〇三〇
同新	一六三〇〇	一六一四〇
東棉	二四六〇〇	二四六五〇
五品（當）	二四〇〇	二三九〇
新豆（先）	二三八〇	二三六〇

横濱生糸（電通二日）

限月	前場一節	前場二節
十一月	一三一九〇	—
十二月	一三三一〇	—
一月	一三四一〇	—
二月	一三四三〇	—
三月	一三四二〇	—

產地麻袋相場（一日着）

鐵筋直積	四八留比四分三
爲替相場	一二八留比二分一

茲許保合相場

相場は寄付から全く伸力がない處に定期の引際に東京五品株の二十三圓六十錢と二三十錢方安を入れてボンヤリを呈するに至つてゐるし喰合も當市は大分今日に於ては減少してゐる惡材料が突發したわけではない從つて相場自體からいへばこの邊突込んで賣るべき手掛りがない肝腎の內地も一寸目先一と相場を出しさうに思へぬ殊に內地においては市新をはじめとして取引所株に對して喰合が集中されてゐるし當分は保合圈內の往來と見ておけばよいかと思ふ

年末相場期待

取引所株に對する喰合の集中は投機が依然として繁昌してゐる證據であつて此の喰合が他の事業株に移動するやうにならなければ取引所株の伸力は一寸困難である而し乍ら一般商、業界の不振と共に事業株が直に活躍しやうとは思へぬ從つて集中された喰合の自然分解を待つて安値を彷徨し徐ろに年末相場を期待される氣分は濃厚とな

市場片々錄

◇ 優勝劣敗、弱肉强食、自然に淘汰せられて大分數が減つたといふても日本人の豆屋サンは八十名ある。ところで此の八十名の內で銀行に尻を持つてゆかぬものは僅に三軒だとの話である。僅その三軒は、どこと、どこと、どこのことだらう。」

◇ 油房は茲處數年來に四十軒からブツ潰れてゐる、現在は八十二軒の油房がある。然うすれば夫だけ殖えた勘定にならねばならぬなどと早合點すべからず。支那側油房は申す迄もなく匿名の聯合組織であつて稱號はそのまゝ繼承し單に經營者の代はつたものを潰れたものと看做してのことだそうだ。」

◇ 大正六七年頃に日本人銀屋は僅々四五軒に過ぎぬ。然るに最近殖へるワ殖へるワ十數軒に上る然も從前は所謂ブロカーなるものを置かなかつたが此頃では大概の店で四五人のブロカーが居る。而して得意漁り客漁りに一生懸命。並大抵ぢや注文も取れない自然無理な競爭も遣らうといふもの。」

◇ 麻袋屋サンは特產物の出廻り遲延で支那人が一向買つて來てくれぬと零してゐる、買つてくれないばつかりか昨今では實需筋が現物を弗々賣り出すといふ有樣で全く變挺な現象だ。此の變態現象は誰だつて想像の外であらう。」

爲替相場（二日）

●朝鮮銀行外國爲替相場（二日）

種別	相場
倫敦向電信賣（圓）	一志十片八分一
同 參着賣	一志十片四分一
同 三十日目買	一志十一片十六分三
同 六十日目買	一志十一片八分一
紐育向電信賣（金弗）	四十六弗八分七
同 參着賣	四十六弗八分一
同 三十日目買	四十七弗八分三
同 六十日目買	四十七弗八分五
同 九十日目買	四十七弗八分七
上海向電信賣（兩）	七十四兩四分三
同 買（同）	七十四兩八分七
日本向電信賣（銀留）	九十六圓二十五
同 十五日拂買（同）	九十六圓七十五

●銀塊及換算相場

種別	相場
倫敦銀塊	二六片八分一
紐育銀塊	五六仙八分七
英米爲替	四弗八十六仙八分七

●正金銀行爲替相場（銀建）

種別	相場
日本向參着賣（銀留）	九十六圓二十五
同 十五日買（同）	九十七圓二十五
上海向參着賣（銀兩）	七十三兩二十五
同 買（同）	七十四兩二十五
香港向參着賣（港弗）	百三十五圓五十
同 十日拂買（同）	百三十六圓七十五
天津向參着賣（銀兩）	七十五兩二十五
同 十日拂買（同）	七十六兩五十
北洋參着賣（元）	[illegible]
同 十日拂買（同）	[illegible]
倫敦向電信賣（銀）	二志十片八分一
同 三十日拂買（同）	二志十一片
同 信用付二ヶ月拂買（同）	二志十一片八分三
米國向電信賣（百圓）	五十七弗八分三
同 信用付二ヶ月買（同）	五十九弗八分一
同 三十日拂買（同）	五十八弗八分七
佛國向參着賣（百圓）	二法七十
同 九十日拂買（同）	三法七十
獨逸向參着賣（百）	一三七留比二分一
同 三十日拂買（同）	一三九留比二分一

商品

つてゐるやうである

前場 麻袋低落

銘柄	受渡日	値段	枚數
鐵筋	延十二月末	四三四	二〇〇
同	延一月末	四二九	三〇〇
同	同	四二八	一〇〇
同	延二月末	四二六	二〇〇
出來高	八萬枚		

麻袋相場低落

產地印度の相場は直積四十八留比二分の一と四分の一安を傳へて當市は折柄の實需不振と共に買方の嫌氣投げも加はつて銀票の聯りも刺戟を受けず三四厘方低落を示すに至つてゐる引際の氣配としては現物四十三錢三厘十一、十二月四十三錢四厘一月四十二錢九厘二月四十二錢六厘三月四十二錢三厘處の唱へと示してゐた

綿糸依然見送

米棉約十五ポイント高にて大阪三品聯りを示し地場又銀票聯りに氣配良好であつたが商內出合はず氣配は扇面現物二百十一圓五十錢處の唱へと示してゐた

綿布の內氣配

綿布の內氣配は軍人九月頭標六圓白羊美人二圓八十錢處の唱へと示してゐた

奉票相場（二日）

	寄付	引值
先物	九五三元	九九〇元
現物	九八八元	

頭取 安田善四郎
顧問 安田善次郎
正隆銀行

上棟式 家族會 折詰大勉强
御辨當 上 一圓二十錢 中 五十錢 並 二十錢
トキワ壽司
洋食 當銘 桜町 トキワ食堂 電五五一一

銘茶 ㋜ 大連浪速町三 電話 四四四五番
秋氣爽かにして茶に親む季節となりました
茶道具 花道具 三式
弊店に取揃て有りますから多少共御用命を願ます
袋布向春園 ㋜

勞力供給請負業
會場及運動會其他設備一切
會場及運動會用諸品完備
大崎組 西公園町一四七 電話八九五六番

鐵道用品及附屬品 製作
車軸が折れず 空廻せず ドルチ完全なる
車輪
製作迅速 在庫品有 御入用の際は是非御照會被成下度候
大連市近江町 鳥羽洋行鐵工部 電話 五一一六八

滿洲日報

各種印刷製本の御注文に應ず
大連市東公園町
滿日印刷所
電話（四〇四八番 四〇四九番）

明治節を壽ぐ

千紀に景仰すべき大帝の御名を記念し奉り、振古未曾有の鴻業を達成せる聖代を永劫に追憶する爲に、明治節を設定することは、七千萬國民の久しき宿望であつた。今、昭和新政の頭初に於いて、而も我國民の腦裡に最も深く刻まれたる十一月三日を以て、此の佳節と制定せられ茲に其の第一回の嘉辰を迎ふるに至つたことは國民の齊しく慶祝する所である。

惟ふに明治大帝四十有五年の御治世ほど燦爛たる光輝を放てるものは、東西の歷史に全く比儔を見ずと斷言して宜からう。單に之を戰捷と領土の擴張といふ點だけより見れば、古來幾多の事績が、列國史上華かに展開して居るが、此等は畢竟一炊の夢に了つて居るのである。蓋し王道と覇道とは似て而も全く非なるものであつて嚴に區別されねばならぬ。我明治大帝の丕業は所謂覇道にあらずして王道である。卽ち國民が永き鎖國の迷夢より目覺め、廣く知識を世界に求めて制度萬物の上に一大更新を加へ政治の改革文化の興隆產業の發展駸々乎たるものあつて、國力忽ち充實を見るに至るこの間の進展は實に海外諸國の驚歎せる處、是れ全く大帝の御盛德の下に國民一致協力の結果に他ならぬ。換言すれば明治聖代の誇りは、實に文化の進步其のものであつて、日淸日露爭の戰捷の如きは、我王道的國力發展に伴ふ自然の歸趨であるといはねばならぬ。

列國の中には、我明治時代の國力伸張を以て、帝國主義と曲解するものがある。若し當年我國にして淸國又は露國の侵略主義の前に屈服して、委縮退嬰を事として居たならば、東亞の天地は如何になつたであらうか、少くも滿蒙地方は今日の安泰と開發とを見るに至らなかつた事は瞭かである。斯く觀じ來れば我國運の發展は、所謂覇道的帝國主義の結果にあらずして外國の帝國主義を擊碎せる王道主義の勝利に因ると斷ずべきである。

往年英紙タイムスが其の論說に於て「日本の發展は明治の御宇を頂上として降り坂となるであらう」と評したことは、我一部國民の腦裡に尙ほ鮮かな記憶が印せられて居る。爾來十六年間の我國步を顧みて英紙の此の言が果して讖を爲して居らぬであらうか。國民の協心と戮力が著しく弛緩して來ては居らぬか如何に自ら善意に解せんとしても、如上の疑問に對して「ノー」と斷じ得る者はあるまい。殊に歐洲大戰後、世界的思潮動搖の餘波を受けて、我國民思想も頓に錯雜し來り、延いて政治、經濟、社會、總て一定を缺き、明治時代に其の根柢を築きたる筈なりし我國策が、動もすれば曖昧模糊の裡に彷徨して居る觀がある。特に我等は明治大帝の宏謨に基き、同胞廿萬の碧血を犧牲として固めたる滿蒙經營に對し國民が比較的冷淡なる事實を看て痛恨禁じ得ざるものがある。

我等は此に第一回の明治節に際して國民が今更に雄大なる大帝の鴻謨を讚仰し、先人の經圖を追慕し、深遠なる明治聖代の理想を胸に喚起するであらうことを確信し、克く戮力して國運の恢興と、東亞民族の福祉增進の爲に一致邁進し、滿蒙開發の大業を達成せんことを切望して已まない。

祝滿洲日報發刊

國際新聞の使命重大

大連民政署長 田中千吉

新聞紙は社會の木鐸風敎の指導者にして、人類共同生活上一日たりとも缺ぐべからざる社會的機關たり、社會各般の狀況益々煩瑣の度を增すに從ひ一層其の必要の切なるものあるを覺ゆ、新聞紙の使命斯くの如くにして時運の進展文明の興隆に伴ひ之に適合する施設經營を計らざるべからざるは多言を要せざる所なり

此の秋に當り我が滿洲に於ける大新聞社たる遼東新報並滿洲日日新聞が相合併して新に滿洲日報を發行し、更に同紙を擴充して紙面を刷新し言論の公正と緊調に努力し以て重大なる使命の遂行を期せられむとす、洵に時宜を得たるの企圖にして慶賀に堪へざるなり、之れ實に滿洲操觚界における一大革新にして今後の滿洲日報は茲に陣容を新にしてその健實なる經營と卓越せる記者諸氏の筆硯とにより、益々社業の隆盛を招來し報道の迅速正確と論評の中正とを保持し同紙の聲價を昂げられむことを信じて疑はざるなり、特に東亞交通の樞軸にして國際都市たる大連における新聞は其の及ぼす所の影響、入りては滿蒙支那及露西亞等東洋の狀態を內地に紹介し、出でては我が海外發展の第一線に在る同胞に內地其の他海外の情勢を傳へて其の趨く所を知らしむるに在りて、國際新聞として將又植民地新聞として其の使命の重大なる內地地方新聞の比に非ざるなり、社員各位宜しく思を茲に致し發奮努力以て世道を稗補し人心の匡正に盡されむことを希望して止まざるなり、滿洲日報の發刊に際し茲に卑辭を列ねて祝意を表す

慶賀の至極

大連市長 杉野耕三郎

滿洲言論界の双璧滿日遼東兩社が合併して今日滿洲日報が創刊されたことは我國の對滿蒙大經綸の上より觀て慶賀に堪へないものがある、卽ち日と遼東とは從來各々別個の特色を有したものであるがこの兩者が合併して讀者に見ゆることゝなつた以上直に我國の滿蒙に於ける代表的言論としての使命を完うし得るものがあることを期待し且確信するからである、此意味に於て余は謹んで滿洲日報の創刊を祝し併せて健全なる發達を祈るものである。

同慶に堪へぬ

旅順市長 平石氏人

滿洲日日新聞と遼東新報が合同して、新に滿洲日報と改題し滿蒙啓發の爲めに努力しやうといふ事に就ては私は同慶の至りに堪へない、元來、滿洲には新聞の數が多いやうに思ふ、數の多い關係からこの群小新聞は經濟的に苦しい立場にあるので、從つてその記事にも公平を缺く場合も偶々あるやうに思はれる、この際に當つて滿洲の二大新聞が合同して一大新聞となり、大いに滿蒙經營の先驅たる大使命を遂行すべく而して種々な事情に超越して合同を斷行した事は特に敬意を表したい、それで此上は輿論を公平に品位ある新聞を作つて貰ひたいと希望して居る、茲に聊か合同に對する祝意を表すると共に、希望の一端を述べた次第である

日支融和の指導者

貴族院議員男爵 阪谷芳朗

滿洲日報の隆盛を祝す、滿蒙における指導新聞社の地位はよく日支兩國民の融和親善の指導機關たる事を確信す、今後益々その機能を發揮し貴社存立の意義を達成せられん事を祈る

對支言論の代表機關

大連商業會議所會頭 佐藤至誠

今や列國の注視一つに東亞に聚るの時、支那本部の形勢は紛糾混沌、收拾すべからず、茲に於て我滿洲は日本の對支經營の樞紐となり。我朝野は一致して力を此一地に集注すること〻なつた。爲之日露戰後滿洲に屹立して言論の木鐸、輿紙の權威となりし、滿洲日日新聞社、及び遼東新報社が合併して、新に滿洲日報社を興せしことは新聞界の一革命たるのみならず洵に時代の要求に適せるものである。易に曰く、二人同心、其利斷金、同心之言、其臭如蘭と新社の益發展して上海におけるノースチヤイナ、デイリーニユース紙が過去數十年間英國の對支言論の代表機關たりし如く滿洲を第一步として支那を開發する日本の對支經營を代表する重要言論機關となるは瞭である。謹で慶祝の意を表するものである。

祝滿洲日報創刊詞

李文權

余至大連以來、卽聞有三新聞之稱、始而驚喜、繼而不能無疑、而喜者何、喜區區彈丸之大連、而居然有三新聞、多、夫以上海之大、只有申新二報（申報與新聞報）近年新申報出版、新申與申報、其音相近、似其欲利用兩報之名、而以爲新申兩報之長耶、卽或以爲兼有新申兩報合併耶、不然、新申與申新二報、立可以鼎足而立、今新申雖存、然殆不敵申報與新聞報也、再言大阪、大阪雖一報、五六家、然朝日每日代表大阪之輿論、其他有不能相提並論之勢、雖以東京之首都報紙十五六家、然亦不能敵大阪之二報、且東京朝日與東京日日爲大阪朝日每日之分身、而東京朝日及東京日日、立與東京報界之年耳、然則日本全國、立不過朝日每日二家而已、又遠而言美國、如舊金山、如紐約、亦不過每處二大報而已、大連爲新開之埠、不滿三十年、所謂三新聞之外、漢文報紙、立有三新聞、他如非日刊者、週報旬報月報、更復不少、大連社會、凡有集會演說以及運動遊藝演戲電影、無一而非三新聞社後援者（指日本文三新聞）然以南滿全線之日本人不滿廿萬人、況奉天開原鐵嶺營口長春、更有日刊之日文報紙、余每謂北京城內有一百家日報三十家通信社、報界之人、多於閱報之人、今之南滿洲、得毋亦有是感乎、滿洲日日新聞、與遼東新報合而爲一、更名滿洲日報、余知滿洲日報之誕生、其必能操全滿洲之輿論、又豈限於大連一隅而已哉、余不禁又有感焉、滿洲之地、屬於古肅愼國者甚多、其後立有入於高麗而又取諸者、余非考古家、亦非地學家、姑不必多言、聊爲藏拙計、惟是滿洲人者、多數入關、滿洲之滿洲人、亦殊寥寥今之在滿洲者、大抵皆漢族、漢族之移住者年々增加、於是滿洲者、漢人之滿洲也、非特滿洲而然也、卽以蒙地言、亦爲所侵之漢人、移住殆遍、至於今日、漢人之中有以旅大南滿沿線爲樂土者、亦有抱鵲巢鳩占之感者、從之往行上言之、雖曰法良意美、究有不合於多數人（卽華人）心理之處、報紙爲輿論代表、而又有監督行政之天職、他日滿洲日報誕生後、自呱々以至成立、其必能全體多數人之心理、以輔助當局者之行政、而使中日親善、實現於滿洲日報之手中、此非但余一人之私祝、吾知士農商旅、亦必能歌滿洲日報之功而頌滿洲日報之德也、茲余對於滿洲日報、非徒欲其出版、且尤希望其盡力中日兩國間也、滿洲日報幸甚、輿論界幸甚、中日兩國幸甚

長所を發揮せよ

奉天商業會議所會頭 庵谷忱

今回滿洲日日新聞と遼東新報と合併して滿洲日報が生る、兩紙とも二十年の光輝ある歷史を有する滿洲新聞界の双璧で吾等は昔つて其の持てる長所に據つて啓發さるゝ處蓋し鮮少でなかつた、今日聞けば滿洲日報は兩紙の長所を合せたるものだと言ふ。されば新生の同紙が世道人心を誘導啓發し東亞の平和に貢獻するもの倍加すべきを信じて疑はず、茲に滿洲日報創刊に當り蕪辭を呈して將來の益々發展をいのる。

天津居留民會長 加藤外松

合併を祝し將來の發展を祈る

祝合併改題

大連市山縣通
東亞土木企業株式會社
代表電話八五七六番

祝合併改題

大連市埠頭構內
福昌華工株式會社
電話代表長四五一〇番

祝合併改題

百貨商店
三越呉服店大連出張所

本店 東京市日本橋區駿河町
分店 東京市新宿追分
支店 大阪市東區高麗橋
支店 京都市室町二條上ル
出張所 桐生市本町二丁目
出張所 朝鮮京城本町

新興國民精神の映發せる第一回の佳辰

至誠奉祝の意を捧げねばならぬ

○……田中內閣總理大臣謹話

【東京特電二日發】十一月三日、何といふ親みの深い思ひ出のこまやかな佳き日であらう、偉大なる大帝の御聖德を追憶し奉れば日夕讃頌の詞を獻じても足れりとしない今年の明治節は御諒闇中とは申しながら新興國民精神の映發せる第一回佳辰なれば最も嚴肅に最も純眞に至誠奉祝の意を捧げなければならぬ謹みて惟ふに明治大帝は古今に秀させ給ふ英邁文武の聖主に在しまし、天業を恢宏させ給ひ內は庶政を伸張して千載不磨の憲章を制定し、外は國威を輝して東洋の平和を確保し給ひ、國運まさに旺にして今日の隆運を見るに至れるは實に大帝御聖德の賜ものであるが、神去りましてのちは御遺訓ながく後世の仰ぐところとなつて感化指導のお力は宏大無邊である不肖義一、偶大政輔弼の重責を負ひ七千萬同胞と共に謹みて第一回明治節の佳辰を奉祝することは眞に無上の光榮である

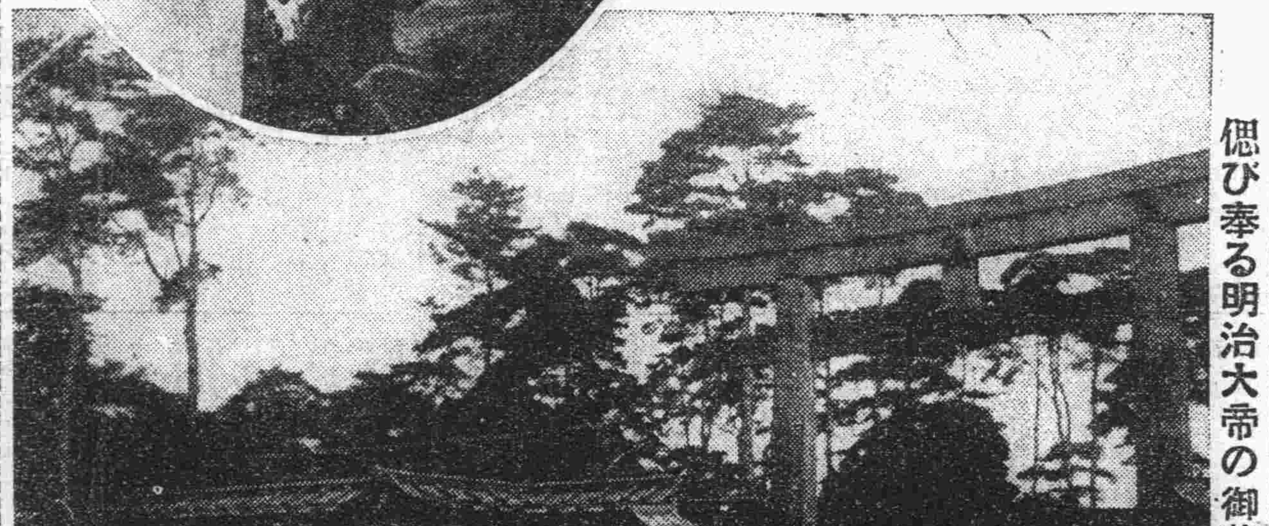
忠孝の精神に生き聖旨に副ひ奉れ

一木宮內大臣謹話

【東京特電】一木宮內大臣は本日最初の明治節を迎へ奉るに際し左の如く謹話した

明治天皇御誕辰日たる十一月三日を以て永世に亘り國家的一大祝日として明治節を制定あらせられ、國民と共に永く明治の昭代を御追憶あらせらるゝ思召にて去る三月三日畏くも詔書を下し給ひたる次第であります

抑明治大帝の御聖德御偉業は皇祖神武天皇の御即位後二千五百年にして、明治の聖代てふ曠古の隆運を溯かせられ、此の中興の偉蹟は直に踵を皇祖建國の大業に接し給ひしものと申上ぐべく、此の明治節の御制定は實に深甚の意義あるものと拜察し奉る次第にて、我國民は紀元節によつて建國の精神に鑑みる如く、明治節によりて永く忠孝の精神に生き以て聖旨に副ひ奉らざる可からずと思惟する次第であります



偲び奉る明治大帝の御英姿と明治神宮

滿蒙研究會理事會

滿蒙研究會は二日午後四時事務所に於て第二回理事會開會理事十名中横田多喜助、高塚源一、津上善七、福田顯四郎、內海安吉、…崎…郎の各氏で福田氏座長となり開會當選役理事互選を行ひたる結果左記三氏當選し五時閉會

福田顯四郎、實性確成・横田多喜助

戰線の長さ

二千五百支里に及ぶ 大勢は北軍に有利

【奉天特電二日發】目下關內に於ける奉軍は山西省境を包圍し京綏線方面は既に一日天鎮を占領して山西省境に入り中路の一隊は將に蔚邑に入らんとしつゝある、又南方面は直魯聯軍が中牟を中心に鄭州に迫りつゝあるが、此處に又安徽では孫傳芳軍は定遠を中心として東西に戰線を張り南徐州に在る南軍と對峙中で北は大同から南は定遠に到る北軍の戰線の長さ二千五百里に亘る未曾有の一大南北戰を展開しつゝある、而して奉天側觀測によれば大勢既に北軍の勝利に決したので張作霖將軍の中央に於ける勢力は今後三年間は先づ大丈夫となつたと見做してゐる

直魯聯軍開封占領

【濟南卅一日發電通】直魯聯軍は二十九日開封を占領した

突如支那側が漁航稅賦課

青島港出入の船舶に 榊丸難を遁れてきのふ入港

二日青島より入港の榊丸が齎せる報道に依ると、青島支那官憲は同港出入の全國船舶に對し漁航稅なる名目の下に、一噸二仙の課稅をなす計畫を樹て來る一日出帆の榊丸よりこれを實行せんとしつゝあることが判かつたので、同地の日本總領事館は二十數名の警官を派し保護したので無事出帆することを得たが、總領事館は更にこの不當な稅計畫の有無を支那側に質すと共に右し事實とせば極力抗議する筈だと

奉天に又も排日ビラ

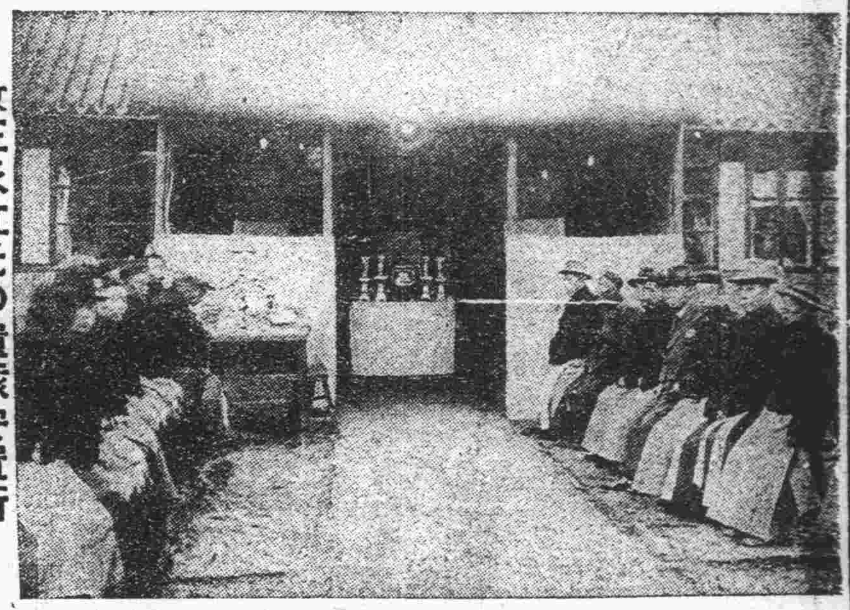
滿蒙交涉牽制か

【奉天特電二日發】暫く鳴を鎭めてゐた奉天總商會は又もや排日的宣傳ビラを去る卅一日夜から一日朝に掛けて撒布した其文句は日本の民衆に愬える形式で書かれ「眞に中日親善を望む日本の民衆は日本の一部野心家及び侵略主義的武人に對し新たなる覺悟を要す」と言ひ又「田中內閣は東方會議大連會議にて決定せる滿蒙積極政策の如きは東亞の平和を破壞する事にして中日兩國の民衆を犧牲とするものである」と軍閥打破田中內閣打破を叫んでゐる一部では又滿蒙交涉近く開かれんとするに先だち牽制運動でないかと見做してゐる向もある

上海領事團兩軍へ抗議せん

長江貿易確保のため

【上海二日發電通】揚子江流域武漢、南京兩軍戰鬪のため無秩序となり、航行汽船に對し屢々射擊事件起り、これ等暴行兵が武漢、南京何れの兵か不明なる、斯く外國汽船に對し危險を加へるは長江貿易を杜絕せしむる結果となるので目下上海各國領事團では兩軍首腦部に嚴重抗議を發すべく協議中である



故王永江氏の遺骸安置所

愁雲に鎖された故王氏の邸

弔客引きも切らず

【金州】故王永江氏の逝去と共に徐家屯なる王氏邸は愁雲に深くとざされ嘆きに沈む王氏夫人並に四人の令息を繞つて

近親や

來弔せる人々その面上には濃い悲愁の色が漲れてゐた、王氏の亡きがらは奥まつた一室の床上に安置され赤布を上に覆ひ香煙は裊々と立ち昇つて室內にこめ、前庭には祭壇が設けられ十數名の支那僧侶のしめやかなる讀經の聲に交つて鉦の響きが悲しみを傳へてゐた、急報を聞いて來り弔する人々の群は午後に至るも引切らず張東三省鹽運使、佟濟陽道尹、天野普蘭店民政署長等の顔も見えた、午後九時より第一夜の儀式たる「小廟詣り」をなしたが、これは土地廟にある故人の靈魂に面會するので夫人はじめ

四人の

令息に岩間顧問、…顧問氏其他來弔者及び近親と共に白張提灯の行列悲しく西門の土地廟に到り紙を燒き、新たなる死者の中に參拜して午後六時半歸邸した、夜に入つて廟內に移され、燈火の光りも淋しく一同紙を燒き故人の靈を弔つた

葬儀は金州の風習で行はる

【金州】故王永江氏の葬儀は北京滿史館々長袁金鎧氏の來金を待ち氏を喪主として金州地方の風習で執行される、第一夜は魂に面會する小廟詣り、第二夜は魂を送る「送盤川」で城隍廟に詣で、それより數週間を置いて葬式の日取を定め、死後約一ヶ月餘を經て或は三日間僧侶を招いて讀經その翌日葬式を執行する事となつて居る、因に氏の遺骸を納むる棺は柏松の名木を用ゐその價格は約三千元位であると

遺產は三十萬元

【金州】故王永江氏の財產は或は五千萬元又は二千萬元と稱せられて居たが今回氏の遺言に依て息に與へた全財產は僅かに三十萬元也、而もその多くは奉天票であつたと

我政府から勳一等を贈る

【金州】確なる消息によれば王永江氏逝去の報により我政府は氏の生前の功勞に酬ゆるため勳一等を贈るべく二日附關東廳に打電した

大藏省が明年度の查定豫算を內示

各省會計課長を招集

【東京二日發電】大藏省は二日午後一時三十分より各省會計課長を招集し大藏省の查定したる明年度豫算をそれぞれ內示する處あり、各省は引續き省議を開き審議中決定の上は來る四日の閣議にて復活要求する筈である

公債增發には絕對に應ぜぬ

○……三土藏相の方針

【東京特電二日發】豫算閣議は四日から開く事に決定したが、三土藏相は各省からの復活要求を目下剩餘金中から保留せる約四千五百萬圓の範圍內に於て承認する意向であつて、夫以上は各省の新規要求承認額を振替へるか或は既定經費の節約を求め是を復活要求財源に充てる方針である、從つて政府部內に於て政友會多年の主張たる產業立國、農村振興等の重要政策を實施するためには新規發行公債を增發すべしと主張し、四日の閣議に於て當然是に觸れる事となるであらうが、明年度に振替へを要する公債總額は三億五千萬圓の巨額に上る事とて、一般借替條件を有利とし公債市場の狀況から見ても明年度の新規公債發行額は二億圓以下に止むる必要ありとの見地から、あくまで大藏案を以て進む意嚮で增發には絕對に應ぜぬ方針である

議會開會の劈頭政府不信任案提出か

三項目の現閣失政を數へて 民政黨の大勢略定

【東京二日發電】來議會の劈頭に就き民政黨少壯議員その他、黨內の大勢は既に

一、府縣會議員選擧、各府縣會に對する政府の不當なる態度

二、對支外交の失敗

三、財界救濟處置錯誤

の三項を以て議會開會劈頭、不信任案提出の論濃厚となりつゝあり、目下黨部間に硬軟二樣の潮流あるも、結局不信任案の提出を決意することとなる模樣にて、これが前ヶ關茶寮に於ける院外團幹部懇談會でも提とされ、政府倒壞運動を起すべくその時機對策協議のため、五日懇親會を開くと

吉長四洮兩線の列車運轉時間改まる

滿鐵の列車運行時間が十一月一日から改正實施されたと同時に四洮、吉長兩線とも左の如く改正した

△四洮鐵路 從來の列車運行は多く晝間に限られてゐたが今度の改正によつて夜間の運轉を主とされる事になつた、尙同線は旅客三往復、貨物八往復であつたのを開通洮南に貨車一往復增配された旅客列車は

四平街發	洮南着
午前七時	後三時卅分
午後七時	前六時四十分
午後二時五十分	後六時六分（鄭
洮南發	四平街着
前八時五十分	後九時卅分
後六時	前五時十分
（鄭 前七時四十分	前十一時六分
鄭家屯發	通遼着
前九時四十分	後二時
後三時二十分	後七時廿五分
通遼發	鄭家屯着
前九時十五分	後一時十六分
後五時廿八分	後九時卅一分

四洮線の運行改正は主として特產輸送の關係上貨物列車に力を入れてゐる

△吉長鐵路 吉長線も貨物車のみに改正を行はれてゐるが從來九本の運轉を頭道溝、下九臺間に一本增加し四洮線同樣豐作による輸送狀態から割出されてゐるやうである

村上大將危篤

【鎌倉二日發電】逗子別邸に心臟を病む村上格一大將は危篤に陷つた

代議士連の支那視察團

四日朝來連

北京方面を視察中であつた支那視察團富田幸平、永鐵與一、權藤震德の三代議士および大池書記官、井上…の一行五名は三日京奉線にて奉天着、一日同地を視察し同夜午後十時四十五分發列車にて南下四日午前八時二十分大連着の筈

滿鐵は今後鐵道敷設に努力

會社主腦者を東京に集め 松岡副社長は北京へ赴いて折衝せん

【東京特電二日發】山本滿鐵社長は上京以來政府に對して今後の會社經營方針に就て詳細陳述して諒解を求めて居るが、要するに附屬事業を中止若くは改善して一ヶ年間に二千萬圓の財源を捻出し滿鐵本來の使命たる鐵道敷設に力を注ぐといふにあつて、此等の折衝の爲め山本氏は從來の社長に比して稍長期に亘つて東京に滯在すべく更に會社首腦部を一時東京に集めることゝなるやも知れず、尙松岡副社長も近く北京に赴いて折衝することになろう

消費組合の存廢討議（三）

撤廢の必要はない

滿鐵消費組合大連本部 元木主事談

從來消費組合の撤廢は何等かの機會があるたびに或一部者によつて擔ぎ出されるが吾々は何のために撤廢の必要があるか、撤廢後現行組合配給價よりより以上の

安價な

供給を得られるか（これは組員、一般市民同樣であるが）商の救濟を理由に撤廢することは一を知つて二を知らぬ愚者で、組合に對する理解のない甚だしい、自分の云はんとするところは貴紙二日附の滿鐵某職員の謂つたところと同樣で恐らく滿鐵全社員の意であろうと思ふ

戰爭成り金の續出した當時の好況時代には滿鐵社員は人の暴虐から免れるため組合を組織して自衞の途を講ずるはかなかつた不景氣になつて購買力が弱くなるや組合を撤廢せよとは何といふ意氣地のない事であらう、消費組合制度は

時代の

要求である、然るに今日その撤廢などは時代錯誤もまた甚だしい、現在の組合員およびその家族は七萬人で、商人は二千五百名この家族を合し一萬五千餘名と見ても、七萬人の家族經濟を一萬五千餘名の利益のため犧牲とすることは到底忍びない、否七萬の組合員のみでなく十萬以上の一般同胞の家庭經濟にも至大の影響を與へるのだ、今日組合が一年間に仕入れる商品は八百萬圓で內四百萬圓は滿洲の製造工業者および商人より買入れてある、この四百萬圓は組合組織がなかつた場合は當然支那商人の

手に移

るので商業者の四百萬圓中からも百萬圓は前同樣と見ねばならない、組合の撤廢を要求する暇があれば先づ對支貿易に一步を進めまた新次の商人から奪はれる地步を回收することに努力したらどうであるか、他力本願を捨て眞に商人の立場を拓して行かなければ將來の商權は恐らく自滅のほかあるまい、組合撤廢論者中には家庭必需品のほか除去せよとの聲もあるが今日の家庭必需品は單に米、味噌、醤油といふ簡單なものでない、組合は

奢侈品

は勿論取扱つてゐない重ねて申上ぐるが消費組合は組合員自衞のみでなく物價調節の使命を有し、一般同胞のための制度で撤廢などとは絕對不可能なものである

消費組合位廢止せよ

眼を大きく見開いて

信濃町市場三鳳洋行主 成川初太郎氏談

理窟は皆んなが云つて終つたから私は外の話しをしよう、今の偉い人は法律や政治の理窟は得意なんだらうがどうも利に主義だ、利だの癖だのと小さな貝殼ばかりかぶつて其の外で大勢の

身內が

泣いてゐることがわからぬ、日露役前には露西亞人は自分達の都合の好い樣に支那人になど決して商賣をさせなかつたもんだ、つまり自國民保護とか云つて商賣すれば目から火の出るやうな稅金を取つたんですよ、日本の民政になつてからも少し商人を保護して日本の商人を保護して頂いたのですが、それが消費組合などが出來て今度は日本の商人が賣場を制限され、競爭手からアベコベに支那の行商人に追廻されるなんて世の中も逆もんです

關東廳

や滿鐵の方は云ひますが共食ひなどはつまらんと云ひますが日露戰爭の終つた時小賣商人は事實は引上げたらどうなるかと恐くなつたもんです、丁度軍政が民政に變つて今まで營口や安東でやつて來た人が一船毎に二百人三百人と雪崩込んで來て共食ひが始まり町は見る〳〵立派になつた、今も昔もほんとに商賣をやつてゐるのは三井三菱鈴木と云つた樣な大きな資本ばかりで、此の共喰ひをやつてゐる連中が國のためにその土地へある勢力を植ゑつけることは大變なもんだ、人が殖へると自然兵隊もいらなくなる、これを露西亞人は知つてたんですね、ところが

日本の

役人は無資本の日本人には住めない滿洲にして仕舞つた、話のわかる役人のゐた頃には日本人も相當に儲けたものです、料理屋の帳場からでも立派な實業家が出たものです、アノ好景氣や前も相當發展して儲けてゐたんですが、上海でも香港でも實に支那人の行商人を禁じて支那商人の御先棒となる役人なぞ居りません、支那人が江町に小盛子に奧町に浪速町に發展した樣子を見ると、その努力どんなに偉いものか、日本人の發展など

遲れて

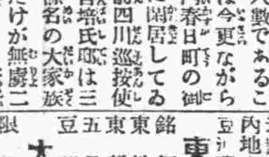
ゐるか、只恐ろしいことだと思ふ許りです、今更此の勤勉な支那人の行商に反對も出來ますまいが、もつと大きな眼を開けて、日本の發展のために消費組合の撤廢位出來さうなもんではありませんか。

兵事事務打合

【旅順】關東廳では既報の通り客月卅一日から齋藤參謀長、久保警務局長を始め民政署、警察署、領事館の兵事係および憲兵隊より出席、會議室において兵事々務打合せ會を開催中であつたが、二日勤員實施、業務說明および勤員演習を最後として正午閉會した

竹下中將逝く

【東京二日發電】曾て步兵第一旅團長たりし後備陸軍中將竹下平作氏は三十一日逝去した享年六十五歲



▲支那上流家庭の大人數であることは今更ながら市內春日町の御殿に閑居してゐる前四川巡按使周善培氏は三十餘名の大家族▲坊ちやん孃ちやんだけが無慮二十人、周氏自ら校長格となり日英の兩教師を聘し朝の九時から邸內は全く學校化する盛況を呈してゐる▲子澤山と言へば越後出身の司法官吏で悠々自適の前國務總理孫寶琦氏も其分に漏れず六十三歲の老公に十月末に玉のやうなお孃さんが出來た、しかもそれが十六番目のお孃さんであるとは老て益々盛んと云ふべく目出度き限りではある▲山東難民救濟について孫寶琦氏の一寄稿は「贈孝士、孫慄慄、謹々已往擔助、更來務、擔助、孫慄慄指羅民書」と血書しこれを發表し其の檄文の體には軍閥の專橫と官僚の汚濁を痛罵したもので「娼妓の身を贖ふに數千元を費し一場の竹戲（麻雀のこと）に千百元を拋つものはあるが自ら苦めた難民を救ふものはない」と言つたやうなことが書いてあつた

本日朝刊十二頁

大連商品市場

後場不申

綿糸綿布は商內見送り麻袋も實需不振と相俟つて氣配全くらず內氣配は狂物四十三錢二厘處の唱へと示してゐた

大連特產市場

定期後場（銀建）

大豆（混合）

限月	寄付	高値	安値	引値
十一月末	四〇五	四〇五	四〇〇	四〇〇

出來高 六車

豆粕（歡調）

限月	寄付	高値	安値	引値
十一月限	一八五五	一八九〇	一八五五	一八六〇
十二月限	一八七〇	一八七〇	一八五五	一八五五
一月限	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇

出來高 一萬四千枚

豆油（出來不申）

高粱（低落）

限月	寄付	高値	安値	引値
十一月末	三六三〇	三六八〇	三六三〇	三六三〇
十二月中	三六一〇	三六二〇	三五八〇	三五八〇
一月末	三六一〇	三六一〇	三五九〇	三五九〇
二月上	三六三〇	三六七〇	三六三〇	三六五〇

出來高 五十八車

包米（出來不申）

現物後場（銀建）

	寄付	引値
大豆	六二二〇	六二二〇
袋區品	五八九〇	五八九〇
裸物出來高	二十車	
豆粕	一八九五	一八九五
出來高	三千枚	
豆油	一九四五	一九四五
出來高	一千二百函	
高粱	三六五〇	三六五〇
出來高	二車	
包米	出來不申	

大連錢鈔市場

定期後場

	寄付	引値
期近	九六四五	九六三〇

	高値	安値
期近	九六五〇	九六三〇

出來高 九十七萬圓

現物後場

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九六三五	一二六九〇	一三三〇
二時半	九六四〇	一二六九〇	一三三五
三時半	九六五〇	一二六九〇	一三三五

出來高（銀對金）三萬三千五百圓 （銀對洋）四千圓

神戶特產物（一日發 電通東京）

大豆現物	七四〇
先物	七四〇
豆粕現物	二〇〇
近物	四〇八
先物	四二二
米國小麥	八四〇
內地小麥	七七五
豆油現物	二三〇

東京株式

銘柄	後場寄	後場引
東株	一七一〇〇	一七一二〇
東新	一六一〇〇	一六一二〇
五品	二三六〇	二三六〇
豆新	不申	二三六〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十一月	二三五四〇	二三五四〇
十二月	二三七五〇	二三七八〇
一月	二四一六〇	二四一七〇
二月	二四四一〇	二四四二〇
三月	二四六〇〇	二四六八〇
四月	二四六六〇	二四七〇〇
五月	二四七二〇	二四七九〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	三〇六〇	三〇六〇
十二月上	三〇七〇	三〇七二
一月	三一二一	三一二〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
十一月	三一〇三	三一〇五
十二月	三〇八四	三〇八一
一月	三一二四	三一二三

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	一〇一七〇	一〇一八〇
大新	八七九〇	八八一〇
鐘紡	二六四〇〇	二六三七〇
鐘新	一三九九〇	一四〇三〇
日魯	七九七〇	七九七〇
郵船	不申	不申
東新	一六一二〇	一六一五〇

橫濱生糸

限月	後場一節
十一月	一三一八〇
十二月	一三二九〇
一月	一三四〇〇
二月	一三四二〇
三月	一三四二〇

明治節を迎へて

山田芙峰

十一月三日は明治の天長節であつたが、それが昭和の本年から明治節となり、元始祭、紀元節、天長節と共に國民の誠意奉祝すべき大祭祝日となつた。此の明治節制定の御趣旨は、本年三月三日公布の詔書に示されてある通り、曠古の隆運を啓かせられた明治天皇の盛德大業を仰ぎ、併せて明治の昭代を追憶せんが爲であるから、此の十一月三日には、奉祝の至忱を致すと共に我々國民の責務として、國運隆々たりし明治の昭代を深く回顧せねばならぬ。

王政復古の丕業を就された明治天皇の御偉績は今更申す迄もない事として、王政復古の偉業と共に開國進取の國是を定られ、內、相俟つて目覺しき大新、大躍進、大發展を遂げたのは、全く前古未曾有で、斯くして曠古の隆運を啓かれたのである。明治元年正月の外交の詔、同年三月の億兆安撫國威宣布の御宸翰並びに五箇條の御誓文は實に王政復古の維新と開國進取の國是を決定された根幹であつて、それが着々遂行されたのは要するに聖明なる明治天皇の御稜威御盛德の然らしむる所に外ならぬ。王政を古へに復された卅の明治の丕業は、天智天皇に依つて行はれた大化の革新、後醍醐天皇によつて企てられた建武の中興に比し、優ること數等なるは言ふ迄もない事である。

明治天皇が高天原高く神去り給ひし明治四十五年の七月中、予は滿洲日報の前身滿洲日日新聞紙上に「王政復古の五大綱目」と題して明治天皇の盛德大業について評述する所あり、後之を一冊子として發行した。之れは奈良朝、平安朝時代の皇政と明治維新後の皇政とを相對照して論じたもので、その五大綱目とは上古の皇政においては異種族の討平綏撫、三韓との交通、歸化人の同化、支那及び印度の文化攝收、內政の改革といふ事になり、明治維新後の皇政においては內政の整理刷新、世界文化の攝收、海外異民族の包容、韓國の併合及び植民地の統治、導といふ事になると言つたのであるが、明治卅七八年の日露戰役とは、明治廿七八年の日清戰役とは、我が對外的發展の根本動機であるから、特に此事を力說して置いた。

實に明治天皇在位四十五年間の御治績は曠古未聞であり、その結果、東洋の島帝國は一躍して世界の大帝國となつた。憲法の發布、議會開設、軍制、學制、幣制、法制その他の整備に革によつて內政の充實と相俟つて、東洋の平和のために二大戰役を敢行し、以て我が國力を洋の南北に伸ぶるに至つたのは、國民と文武臣僚の奉公的努力にも因れど、要するに明治天皇の盛德大業であると言はねばならぬ。殊に注意すべきは二大戰役に伴ふ對外發展が明治天皇の雄大なる皇謨に基づいて居り、進取的國是の發揮であり、大義を四海に布くといふ我が皇道に依據してゐる事である。臺灣及び朝鮮の新領土統治も、關東州、滿鐵沿線附屬地、これに連なる南北滿洲並びに東部內蒙古への發展も、皆等しく明治天皇の雄大なる皇謨に基づく事を知らねばならぬ。

朝鮮を經て滿蒙へと云ふ我が北進の勢力は、斯くの如き雄大なる皇謨と遠大なる理想に基づいて居るのであるから、彼の侵略的、征服的、覇道的イムペリアリズムによる外的發展と同一視すべからざるは勿論である。滿蒙政策更新の時期となつた今日、我が國民は之を深思して萬事に當り、我が北進の勢力をこの方に築くと共に併せて滿蒙に民共存の新大地を開拓せねばならぬ。人口及食糧問題に惱める現在の我國として、滿蒙を中心とした東亞一亞方面の拓殖的開發を圖るの急務なるは論を待たないが、それは利己的のもので無く、併せて利他的であり、佛教でいふ四枚の般若を實現せねばならぬのである。

明治節を迎へて明治天皇の盛德大業を仰ぎ、同時に明治の昭代を追憶すればする程、我等の感慨は無量にして極まりがない。現在は過去の累積から成り、現在の累積は更に未來へと續いて行く、それが因果の理法である以上、能く現在に處し、兼ねて未來に貢獻する所あらんと欲せば、昭和より大正へ、大正より明治へと溯り、我が帝國を世界的雄邦たらしめた明治の盛世を思ひ、その由つて來るところを考へ、將來のため現在に善處しなければならぬ。

最初の明治節をけふ迎へ奉りて

大帝の御遺蹟は愈よ燦然たり

滿鐵社長　山本条太郎

謹んで顧みるに明治大帝の神去り給ひしより既に十六年、今や我帝國の國威は益々四海に宣揚せられ、國運は日に伸張しつゝある昭和聖代の御恩澤に浴するにつけても、大帝の偉大なる御遺蹟は燦然たる光輝を放ち、國民の仰ぎ指く能はざる所であつて、萬世不易の國體と共に永へに

帝國の　誇りである。新に明治節を制定して三大節に並び稱揚するに至つたことは、畏くも上御一人始め、下萬民至情の發露として誠に慶賀に堪へざる所であるが、此の聖典を迎ふるに當つても想起せらるゝは大帝が、滿蒙の地に就て幾度か御宸襟を惱ませられたことである。殊に三國干涉問題及び日露戰爭等の勃發は、我國にとりては文字通り國運を賭しての大問題であつて、大帝が日夜軫念あらせられた當時の御消息を回顧申上げる時、誰か感激の涙を禁じ得やう、然も此の大國難に當つて能く所期の成果を收め得たのも、一に東洋の和平に對する大帝の偉大なる御抱負に萬民悉く感泣し、上下心を一にして事に當つた結果に外ならない、今日帝國が

東洋の　平和確保の爲め、鋭意其の經營に努めてゐるのも、亦大帝の御盛德の餘澤に外ならぬのと言ふべきであつて、茲に明治節を迎ふるに當つて滿蒙に活しつゝある我々同胞は大帝御軫念の跡を追憶し奉ると同時に、愈々偉大なる大帝の大御心を體し一意東洋の平和發展に努力する覺悟を新にせねばならないと思ふのである。」

われ等の國民的一大自覺を喚起

關東軍司令官　村岡長太郎

昭和新政の勝門に於て、吾々帝國臣民の腦裏に最も深き印象を刻み來れる十一月三日を明治節として御制定になつたことは洵に慶賀に堪へない。大帝登遐し給ひしより茲に十有六年、吾等は本月本日を迎へる每に、個人としては別問題だが、公に國的の景仰の

至誠を　捧げることの出來ないのを非常に遺憾に思つてゐた、然るに本年は國祭日として此日を迎へることになつたのは、正に七千萬同胞の至情が酬ひられたので歡喜感激せずには居られない。然しながら此の明治節の御制定の御趣旨は、詔書に御示しになつた如く、明治天皇の御遺德を永く仰ぎ、率る事と明治の昭代を追懷するにあるが、此二事の中には無窮の國民的一大教訓が含まれて、懼れ多いことながら、今上陛下の

大御心　の程を拜察し奉るときに、吾等の心頭には油然として國民的一大信念の湧き返るのを覺える。特に國家國上に立てる吾々滿蒙居住者は一段感慨深きものがある。國史を按ずるに、我國は自衞上、大に國防的立脚を保有することが必要であつて、昔も今も少しも變らない。上古崇仁天皇の御代以降、我西陲の地は斷へず豌亂、外寇に苦みたるが、多くは大陸方面に於ける治亂興亡の波動に基因するものであつて

神功の　三韓征討も亦國防的必要に由つたのである、其の後、天智天皇の御宇、我外征の舟師、錦江河口白村江に於て唐軍と戰ひ大敗せし以來、一千二百餘年島國內に退嬰せる日本民族は終始大陸方面よりの脅威を受け、國防の不安を禍嘆した、寬仁年間刀伊の寇筑前を侵しゝをはじめとし、弘安四年蒙古の襲來せしは著明なる事蹟である。遠き昔は兎も角とし

幕末に　至り、國內動搖の折柄恰も西力東漸の波濤、東洋に殺到し來り、露艦對馬を占領し米艦琉球を窺ひ、內憂外患交々起り、國步艱難、眞に國家的危機を釀し、此の難局に際し叡明無比なる明治天皇大統を嗣がせ給ひ、維新の大業を成就し、內國力の充實を圖り外、日清日露の兩役を經て、帝國の國防圏を大陸に進め東洋の平和と國家興隆の基礎とを啓かせ給ふたのである、爾來大正の御代となり、有史以來の大戰亂勃發し

宇內の　形勢一變、幾多の國家が潰滅しも帝國の國運は隆々として伸展し、世界三大強國の一に進み、名實ともに東洋の覇たるに至つた、斯くして昭和の大御代となつたのであるが、顧みれば帝國の過去は徹く安泰でなかつたばかりでなく、現狀に於ても決して吾々は安心すべきでない、明治大帝の常に軫念し給ひたる東洋の平和と、大陸に於ける帝國の地位とは、果して安固と言ひ得るであらうか、滿蒙の現狀は如何に、念ふて此に至れば、吾人は國民的一大自覺を喚起し明治大帝の

御遺業　を完成することに精進し、以て、今上陛下の大御心に副ひ奉ることを期せねばならない、爰に明治節を迎へて衷懷を披瀝し以て祝辭に代へる

御鴻業を追慕し神靈を祀り奉る

滿鐵副社長　松岡洋右

十一月三日は明治大帝の御出現遊ばされたのである、回顧すれば嘉永の昔、平安なりし鎖國の夢破れ先進國文化は潮の如く流れ入り、國を擧げて混沌の境地に彷徨せし時、天資英邁なる大帝は御出現遊ばされたのである。大帝の御出現は我等にとり天祐であつたのである。御幼少にして皇位に登られ、維新の大業を成就せられたると共に新興日本の柱石として、國運の發展に

御心を　注がれた、以來明治の御治世四十有五年の間、民安かれ、國安かれと叡慮を惱まされるは感激に堪へない次第である。想へば明治の御代は帝國建設の歷史であつた。憲法を制定して國會を開き、國防を充實し、法制を整備し、教育を勵まし、產業の振興に努むる等各方面に亙り英邁なる大帝を中心とする國一致の努力の時代であつた。此の力此の魂は其の間幾度か遭遇した國難を切拔け、遂に曠古の大業を完成せしめたのである。明治の聖代は去り大正過ぎて今や

昭和の　御代である。此の間、宇內の形勢は一變又二變し對外的に將た內的に總ての方面が複雜微妙となつて來た、國民風化の上にも幾多の錯雜せる現象あらはれ來た。然も此の秋、明治節制定せられ今日我等は最初の意義ある祝典を迎へるに當り明治大帝の御鴻業を追慕し人民の殘したる努力の偉跡を顧み以て神靈を祀り奉ると共に我等が先人の榮光を永遠に祖國の上に輝かし度いと思ふのである。

光輝ある皇威の發揚に努力せよ

大連民政署長　田中千吉

明治節制定さて本日茲に其の第一回の佳辰を迎へ、本日は、吾等臣民の齊しく感激措く能はざる所である。伏て惟ふに明治天皇叡聖文武、夙に不出世の英資を以て一系の皇統を承けさせ給ひて、幾多の內憂外患を排除して、維新中興の大業を收め給ふた、即ち御即位の初め、五ケ條の御誓文をひて以來、世界の文明を鋪め立憲の宏圖を樹て、內政を顧革し、外交を鞏ふして、國威民力の興隆を圖り給ひ、以て僅に四十年の間に於

日東の　一島國より世界文明の一等國に迄、進展し其の國威を世界に光被せしめ給ふたのである。天皇の御治績御偉業御盛德に就ては今日辭を新にする必要はない、聊ち明治天皇は新日本の創建者にして、大和民族六千萬朝仰の神たるばかりでなく、既に世界的に人類救濟の主として「大帝」の尊稱を享けさせ給へることによつて明かである、之れ帝國に、日本歷史の上にのみでなく、廣く世界歷史の存する限り、國體の如何と人種の異同とを問はず、その天壤無窮の皇基と、萬世不易の帝業とは、長へに吾人人類の光榮として誇りとする所である。抑、明治の聖代に生を享けたるものには「十一月三日」の五字は天長節と聯句的になつて、吾人の腦裏に深き

印象を　留め消さんとしても消し能はざる憬がれを持つて居る、今上陛下の御聖慮によつて今日を國家の祭祝日と定めさせ給ふた事は、洵に感激に堪へない、國民は宜しく詔書の御趣旨を奉體して、永く大皇の御遺德を仰ぎ、明治の昭代を追憶すると共に、益々奉公の念をからしめ光輝ある皇威の發揚に獻身努力せねばならぬ。

噫、王永江氏

ありし日を偲びて

大谷守一記

頭を傾け沈思すれば萬智生じ、一城の紛擾爲めに顏色無からしめた前奉天省長眼濺、王永江氏は、奉郭戰後、張大帥にその言を用ゐられず、また奉天省城の紛擾並ぶものなき主戰論派の領袖楊宇霆氏にも相容れず遂に職官を弊履の如く擲つて草深き金州に歸り老虎山上を出づる懷しき故山の月を眺め乍ら悠々閑日月を送つて居た。

◇

昨年關內出兵と共に家に破綻を生ずるに至つた、氏の財政手腕を信頼する奉天總商會、その他財界有力者は頻りに氏の再起を慫慂し張作霖氏も吳俊陞、張作相の諸大官を矢繼早に金州に送り復職を促したが、氏の辭意は鐵石の如く動かなかつた。

◇

かくて故山に隱棲りたる政局の渦を脫れて閑居二星霜に及び遂ての宿痾は茲に昂じて重態を續けること十餘日にして遂に奉天文治派の才傑王永江氏は一日夜永眠したのである。

◇

省みれば大正十五年の晩夏、張大元帥が「護國愛民」の大額を揭て關內に兵を進めた時である、余は金州城內徐家街に王氏の私邸を訪ふた、瀟洒な和洋折衷の應接間において、背に萬卷の書架を負ひ關東長官より贈られた一雙の金屛風の裡に余に對した王氏の清楚な便服姿、高雅な風采と溫和な面持とは全く高潔な氏の性格を偲ばしめた「張氏此度の聲明と關內出兵を貴下は如何に思はれますか」余が斯う質問を發した時の王氏の答へは今尙余の腦裡に深く刻まれて居る。

◇

「今判斷するのは少し尙早である」と、前置して氏は憂愁の色を浮べ乍らも、流石に愛鄉ちな語調で語り出した。

◇

張氏今回の關內出兵は氏が支那全國に號令すべき基礎を造るところの第一步と思はれる、そして氏の望みは譬へ夫が一時的であるにしても多分達せられるであらう、然しそれが果して永く續くであらうか、張大帥にしても吳佩孚、馮玉祥、孫傳芳の諸氏でも何れも天下に號令せんとする野望を持ち表面は頗る勢力強大と見えるが、內實は皆それぞれ荊棘を負ふた樣な苦みがある。しかもいま支那全國には未だ表面に出ない新進の野心家もあるやうに見受けられ、大帥今回の關內進出もやがて同氏の不運を招くやうになりはせぬか、現今の我國の狀態は昨日は知れても明日は誰知するを許さないから結局どうなるかは斷言の限りではないが、大帥は矢張り民富み土地豐かなる東三省王國の主として、保境安民を第一とする方が得策と思ふ…此の一言一句眞に覇主張大帥を思ふの情切なるものがあり、全く余を感動せしめた。

◇

大帥の關內出兵も私の德が足らないからである、食祿を食む身として主を諫める事が出來ず、拱手して故山に歸るべく餘儀なくされた私は、自分の無能を恥しむ、古の忠臣烈士の傳を讀むにつけ、不甲斐ない我身を痛切に喞つのである……と。

◇

この言葉全部に氏の高傑な全人格が躍如として表はれるではないか、余は王氏を想ふにつけその純眞玉の如きに切々の情また新なるものがある。

奉天省議會長後任者

張輔廷氏か

(奉天)問題の省議會長范先炬氏は張學良氏より張家口の市政公所長に任命されたがその後任として商會方面には張輔廷氏を擧げてゐる、張氏はわが日本大學出身で、鴨綠江採木公司の參事同長に歷任し四洲の選舉において始めて省議員に當選し今回またも重任を見た人材であると

山西人には一視同仁であれ……と

張大元帥の訓令

(奉天)廿九日張作霖氏から總留守司令に對し赤討のため山西軍を徹底的に討伐する、しかし東三省にある山西人に對しては一視同仁で決して敵視するなきやう所屬官民に訓令せよと訓電があつたと

不正商人を嚴罰す

奉天兵工廠の新規則

(奉天)奉天兵工廠では曩に入札資格を有する日支商人にして自ら直接物品の納入に干與せず一種の權利として他人に之が賣買する者あるを探知し此程これが淘汰を行ふ一方最近兵工廠商人取締規則を公布して出入商人の素質の改善に力めてゐるが該規則中には賂を授受する者に對しては納入商品價格の十倍の罰金を課するか營業停止を行ふといふ嚴重な罰則あり兵工廠員に之を適用するとあるが商品買込周旋料と賄賂の區別をどうつけるかが甚だ興味ある問題とされてゐる

咸鏡線の小荷物聯絡

自動車を配して取扱ふ

(京城二日發特電)今春來計畫されてゐた國鐵全線に亙る列車改正時刻は愈十一月一日より施行さるゝ事になつた京釜線を始めとして京元線、咸鏡線に夫々一列車を增發され同時に施設の改善は全線に面目を一新すると共に朝鮮の運輸狀態も漸次複雜を來して一轉期を劃した譯であるが殊に咸鏡線に在りては南北未成線の工事進捗と共に殘るは群山、鏡城間のみとなり從來に比し十二時間を短縮して僅々二十四時間で清津に到着る事になつた、之れが爲め鐵道局では從來最も不便とされた託送荷物の聯絡を旅客同樣に取扱ふ

成案　の下に考慮されてゐるが、未開通區間群山鏡城間の自動車の聯絡には一時間三十分で事足りるのでこの間に貨物自動車を配して一般既設線同樣小荷物を運送せしめんとするにあるが、此實現と共に從來滿鐵にのみ任せられてゐた不便は全く一掃さる事になるであらう

奉天軍の電信連絡

略ぼ復舊す

(長春)石家莊に駐屯中なる奉軍汲金純軍第十五軍は近來同地より北京天津保定濟南各地の電線を復舊し又張家口との間には電話線を直通せしめ更に亦無線電信臺も既に修理を了り各地との連絡を圖りつゝある由にて石家莊以南の各電線網に對しては目下急ぎ修理中なる旨卅一日直隸電政監督處より吉林道尹公署へ內報があつた

兵工廠大多忙

(奉天)奉天兵工廠では一日から職工を增員し夜間作業し武器彈藥の製造を急いでゐるが奉晉戰の戰線擴大と共に彈藥の需要愈大となるがため十月廿四日から廿九日迄に北京軍事部に送られた彈藥數は左の通りである

銃彈十二車九六〇〇箱、砲彈八車八六〇〇箱、重砲彈八車二二〇〇箱、追擊砲彈三車二四〇〇箱、小銃彈八車六四〇〇箱但し一箱每に砲彈は六發重砲は一發追擊砲は四發小銃彈は一千發である

奉天省公署で重要會議開催

(奉天)劉省長は卅一日省長公署に廳長科長會議を開き稅務改革、實業振興策、金融整理、學校生徒の增員、縣治の改革と警甲の防務等の重要問題を審議した

楊宇霆氏歸奉

近く政務解決のため

(奉天)楊宇霆氏は兵工廠の事務及び奉天關係の政務解決のため近く張作霖氏の特命により趙欣伯氏と同道歸奉の筈

內田領事着任

(奉天)奉天總領事館に增派された領事內田五郎氏は前任地汕頭より三十日歸奉したので一日各方面を歷訪新任の挨拶を爲した

滿蒙に於ける鐵道問題

滿鐵調查課　竹內虎治

四、我鐵道利權

1. 南滿洲鐵道に關する利權

南滿洲鐵道は申す迄もなく長春大連間の幹支線及安奉線より成り延長六九五哩の廣軌鐵道である長春、大連間の幹支線は一九〇五年九月五日のポーツマス條約により露國から讓り渡されたものであつて同年十一月二十二日の日清滿洲善後條約並に同附屬協定により支那より其經營權に關する承認を受けたものであり又安奉線は戰爭中日本軍の手によつて急造された軌幅二呎六吋の軍用輕便鐵道であつて之れも亦同く、日清善後條約により支那から各國商工業の貨物運搬用に改め引續き日本に於て經營することを承認せられた鐵道である。之等鐵道及び附屬事業を經營する爲めに南滿洲鐵道株式會社を設立し明治四十年四月一日から業務を開始したのであるが爾來二十年、業績は年と共に順境を辿り日本の滿蒙に於ける發展の根幹をなすに至つた

本線の經營期間は露支兩國の原訂條約において完成開通の日より滿八十ケ年であつて右期間を經過したる時は鐵道はその一切の附屬物と共に無償にて支那政府に引渡すものとし又開通より三十六ケ年を經過する時は支那政府は一切の資本並に鐵道に關する一切の債務およびその利息を全部償還して鐵道を買戾す權利を有するのであり、又安奉線は改良工事完成の日(條約上においては滿三ケ年間即ち明治四十一年十二月十二日を以て工事完成期と實際之を以て計算の基礎としてゐるが改築工事に對する日支兩國の意見の相違によつた右期間より遲れ改築工事着手せるは明治四十二年八月にして完成大正元年十月である)より十五ケ年を以て期限とし右期間滿了する時は、他國の評價人による評價格を以て支那政府は買戾し得る權利を有するものである、之等條約に從へば安奉線は民國十二年、南滿本線は同二十八年に至れば夫々支那政府に於て自由に買收することを得るのであつた。

滿蒙に於ける日本の代表的利權であり滿蒙發展の根幹である滿鐵が其の一部は既に支那に買收され其の他の部分は此後十二年にして支那に引渡さなければならないとしたならば日本の滿蒙に蒙るものは何であらう、論者或は云はん例へ滿鐵の經營期間滿了するも支那政府に之を買收する能力なしと。私はかゝる論者に對して米國の從來殊に創業後數ケ年間滿鐵に對して採れる政策を見られよと云ひ度い。この問題に對しては後に於て詳しく說明することゝする、そは兎に角滿鐵經營期限の差迫れる事に關しては識者の夙に頭を惱まして居た所である。然る所大正四年五月二十五日日支兩政府の間に締結された南滿洲及東部蒙古に關する日支新條約卽ち例の二十一ケ條の條約によつて滿鐵の期間は關東州租借と共に延長して九十九ケ年とした。

之に依つて關東州は民國八十六年(西曆一九九七年)、滿鐵本線は民國九十一年(二〇〇二年)、安奉線は民國九十六年(二〇〇七年)を以て滿期となり滿鐵に關する利權は今後七十五年乃至八十年の長年月の間確乎として動かすべからざるものとなつたのである。

御婚儀用の頭飾品裝身具は品揃豊富の　浪速町　夏川小間物店　電五二二〇番

重量物運搬　引越荷及荷造　迅速、丁寧、確實　大連市大藏町第二ホーム前　海陸運輸　通關代業　昌圖公司　電話四三三〇番

九州八幡行　春日丸　大連市山縣通一二九　栃木商事株式會社　大連出張所　電話七四一八番

柳樹屯線　大小孤山線　第一龍丸十六噸　發財丸五十一噸　第二龍丸五十一噸　賃金片道六十錢往復一圓　賃銀片道六十角同一元　每日大連發六時午一時　大連市北大山通　川端汽船部　電話七〇二六番

重量物運搬　金庫据付　引越荷及荷造　海陸運送　大連市加賀町四二　㊂三藤運送店　電話四九五一番

島谷汽船大連出帆　●南鮮各港經由函館小樽行　大成丸 十二月五日　鮮海丸 十一月十一日　長成丸 十一月廿五日　●伏木新潟行 須磨丸 十一月七日　代理店　大連市山縣通一五三　大三商會　電話四七二一・六二三三

近海郵船大連出帆　●長崎神戶大阪橫濱行　竹島丸 十一月十五日　●神戶橫濱行　勝浦丸 十一月三日　淡路丸 十一月九日　竹島丸 十一月十五日　●天津牛莊行　竹島丸 十一月七日　相模丸 十一月十六日　高砂丸 十一月廿二日

內科　產科　婦人科　外科　花柳病　大連磐城町　田邊病院　電話八七九四・八七九五番

專賣特許第七二七三四號　煙突紙　製造元　大連　木村武太郎　滿鮮一手發賣元　三星洋行　大連市伊勢町二十四番地　電話代表五二六一番　ストーブの季節に成りました　專賣特許煤煙掃除紙を御勸め致します　◆使用簡便　◆効力偉大　◆價格低廉　御家庭に是非御備附けを願ます　特約御希望の御方は御相談申上ます

日本郵船大連出帆　●歐洲行　だかあ丸 十一月二日李浦行　敦賀丸 十一月二日漢堡行　●シヤトル行　伊豫丸 十一月九日門司神戶行　一、二三等船客引受中候

朝鮮郵船大連出帆　●威海衞、青島、仁川行　會寧丸 十一月五日　●朝鮮各港、長崎、鹿兒島行　羅南丸 十一月十一日　●仁川直行　會寧丸 十一月十一日

朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行　右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事之有候　水路圖誌(海圖)販賣所　朝鮮郵船株式會社大連代理店　近海郵船株式會社大連代理店　大連市山縣通　日本郵船株式會社大連出張所　電話三三三九 七八四六番

專屬客荷取扱店　監部通(吾妻橋)　丸二商會　電話四二六四 五八八八番

大連汽船出帆　●青島、上海行　榊丸 十一月六日午前十一時　大連丸 十一月九日午前十一時　天津丸 十一月十二日午前十時　●天津行　濟通丸 十一月四日午前十一時　天潮丸 十一月七日午後二時　濟川丸 十一月十日午後三時　●登州府、龍口行　龍平丸 十一月一日午後六時　●青島行　長平丸 十一月六日午前十時(船客は搭載せず)　●香港行　英順丸 十一月五日　老虎丸 十一月十三日　第二厚田丸 十一月十二日　●營口行　長順丸 十一月十一日　●安東行　一進丸 十一月五日

大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番　專屬荷客取扱店　回丸二商會　吾妻橋監部通　電話五八八八番

阿波共同汽船　●芝罘威海衞青島行　第十六共同丸 十一月六日後七時　●芝罘威海衞仁川行　第廿六共同丸 十一月六日後七時　●鎮南浦行　第廿一共同丸 十一月四日　鮮鐵とは貨物の連絡取扱致候　大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社　大連支店　電話六八九一・〇五〇一番

大阪商船大連出帆　◎門司神戶(大阪)行 午前十時出帆　はるぴん丸 十一月五日　亞米利加丸 十一月八日　ばいかる丸 十一月十二日　◎上海福州基隆高雄行　香港丸 十一月十五日　福建丸 十一月廿九日　長沙丸 十一月十九日　盛京丸 十一月九日　朝鮮經由長崎、[illegible]島行　大智丸 十一月廿二日　北米シヤトル、タコマ行　ばりい丸 十一月九日(上海神戶四日市橫濱經由)　◎紐育行 神戶四日市橫濱經由(船客御斷り)　へいぐ丸 十一月七日　◎歐洲行(上海香港新嘉坡經由船客御斷り)　あんです丸 十一月廿八日　大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三七番

專屬船客案內所　滿洲旅館協會　信濃町遼東ホテル內　電七五七四番

專屬荷客取扱店　大連市山縣通二二　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番　大山通切符發賣所 電話七〇三四番　沙河口切符發賣所 電話九五〇六番　二ホーム荷扱所 電話四八〇二番　左記支店にて船車聯絡貨物に對し引換證發行仕候

支店　奉天、營口、安東、沙河鎮、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯、洮南、泰來、通遼、長春、下九臺、松花江、伯都納、楡樹、双城堡、哈爾賓、傅家甸、安達、滿溝、昂昂溪、一面坡、龍井村、局子街、天津、青島、上海、浦汐、釜山、草梁、統營、大邱、仁川、京城、平壤、新義州、元山、草麻、咸興、清津、會寧、上三峰、潼關鎮、雄基、臺北、基隆、高雄、東京、神戶

日清汽船出帆　●青島、上海行(午前九時出帆)　華山丸 十一月十七日　唐山丸 十一月六日　代理店　大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三七番　專屬荷客取扱所　大連市山縣通二二　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番

田中商事汽船　●芝罘行　海壽丸 十一月三日　●芝罘、威海、仁川行　利通號 十一月八日　●門司宇品尾道行　第五御崎丸 十一月五日　●龍口欒家口行　乾元號 十一月五日　●青島行　大連市加賀町　田中商事株式會社　電話六二一七・三八五一番

政記輪船出帆　永利號 十一月四日芝罘行　有利號 十一月四日龍口行　順利號 十一月五日青島海州行　勝利號 十一月　乾利號 十一月　政記輪船股份有限公司　電話四一四一

地方通信

奉天

輸入組合協議

卅一日午後二時から奉天商議には各組合聯合の協議會を開き滿洲輸入組合問題につき具體的に審議する處あつたが結局何等の決定を見ず更に輸入業者の協議會を催す事になつて五時散會した

簡易保險好績

滿洲に簡易保險の取扱ひが開始されて以來十一月一日を以て滿五周年に相當するが、その全契約數は十五萬件に達しその中奉天郵便局取扱ひ契約數は一萬七千二百七十三件保險料一萬八千五百八十六圓保險金額三百三十七萬六千二百八十九圓九十錢である、奉天附屬地内外の人口を二萬と見て約一萬七千の契約數に達してゐるのは極めて好成績であると

明治節祝賀式

十一月三日の明治節には午前十時から奉天神社に於て祝賀式が擧行されるが、諒闇中のため一切の催しは中止となつた

秦少將披露宴

新任奉天特務機關長秦少將は來る五日午後六時半滿鐵倶樂部に於て日支官民約百五十名を招待し盛大なる披露宴を催すと

城内消息

丁鑑文商務會長は二十九日董事を召集し國貨提唱、各部職員の增加、未納會費催促に關する協議會を開いた▲三十日第三四方面軍團司令部は奉天被服廠に對して防寒軍服一萬枚を送附方申請した▲劉省長は張作霖氏の電命により國費輸送を兼ね各種情況報告及び各種政策事務打合せのため近く赴京すると傳へられてゐる▲フルトン基督教宣教師は五日午後二時から大西邊門外文會書院にて奉天各地支那人宣教師十名採用試驗を行ふと▲米國政府商務部の命により駐奉米國領事館では奉天省城において運轉中の自動車數を調査し更に交涉署に對し各地の調査方を依頼し來たので同署では去る卅一日鐵嶺、長春、開原、遼陽、四平街、鞍山、公主嶺、撫順、各知事に調査方を通達した▲某方面の消息によれば双城子關帝廟において多數の壯丁の罪人を募集中で既に六百名の應募者あり近く外蒙古に送致されると

町の出來事

十一月三日の明治節には午後一時から體育協會主催のマラソン競走、奉天驛構内の總呼及び鐵道倶樂部の倶樂部式、奉天高等小學校の唱歌會、午後六時から公會堂に於て講演會、午後七時から青年團で平井出氏を招き音樂家揃ひ總出の音樂大會、天德温泉跡で圍碁會等の催しがある▲六日午前十時から南滿醫學堂は創立十周年紀念祝賀式を擧行する由▲同日午前八時から開催される關東軍憲兵隊道大會の出場者は百餘名に達し支那憲兵隊から四組の選手出場と賞品寄贈あり稀に見る盛會が期待されてゐる▲近頃强盜事件頻發のため奉天署では十一月一日から夜間非常警戒に當ることになつた▲奉海線開通により特産物出廻り激增のため東省實業會社では西塔の倉庫内に商事部を特設した▲奉天取引所信託會社では一日午後四時關東廳に對する場内擴張補助金下付方促進の協議會を開催した▲一日午前一時半頃浪速通某菓子商松原(三)は柳町飲食店に於て飲酒した揚句一圓五十錢を支拂はず滿月の番頭小茶羅事三島たみ(三)を呼べと暴情を張つたので遂に奉天署の厄介となり七時頃説諭の上歸宅せしめた

瀋陽漫談

奉天城内の山西衣服云々は、調べてみると官憲か流布したものである▲其は今回、劉省長は張元帥の命により、奉天城内外居住の山西人を取締ることになつたが▲何等の理由なしでは、具合が惡いので、そこで、あんな説を流布したのである、山西人は多く錢莊を營んでゐるので、副省長の錢莊取締、奉票價格維持の手段にもなるので、一擧兩得だとある▲卅一日夜は、奉天大目館の一所、而も奉天館、演藝館の如き娛樂場ある飲食店また軒を並べてある平町は、一日▲其上、警察の官舍の直前に、馬賊闖入し、僅十分間に要領を得て悠々立ち去つたとは、實に人を喰つたやり方だ▲馬賊の横行は奉軍の出征で支那側の警備手薄れのためであるか、附屬地のみを狙ふ事は何か他に譯であるのか▲何しろ物騷千萬な話だ

人事

▲兵工廠會辦翁之麟氏 張元帥の召により三日北京へ
▲鎌田滿鐵公所長 三十一日北京より歸奉
▲高柳保太郎氏 三十一日夜金城館における奉天官民百餘名の盛大なる送別宴を受け同夜十時五十分大へ
▲有島生馬、正宗得三郎兩氏 一日午後八時奉天發北京へ
▲北京交通部顧問中山龍二夫妻 一日朝來奉ヤマトホテルへ
▲名和奉天中學校長 東京において開催されたる全國中等學校長會議に出席せる同氏は一兩日中歸奉の豫定
▲材木協議會奉天側委員 二日赴連の筈

哈爾賓

死亡患者は陰性と判明 培養試驗中

此の程哈爾賓鐵路病院行車中においてペストの疑ひある支那人が死亡したが、東鐵衛生事務所および傳家甸防疫處にて細菌の結果陰性と判明なほ培養試驗中である

前東鐵局長の愛孃自殺原因

前東支鐵道長官オストロウーモフ氏の愛孃で米國ウエスト、コース保險會社哈爾賓支配人ロマノフ夫人オリガ(三)は二十七日午前十時半頃拳銃にて胸と咽喉を打ち自殺を遂げたことは既報の如くであるが、其原因として側近者の語るところに依ると、ロマノフ氏は曾てスンガリ製粉の事務員でオリガ孃との結婚によつて今日の地位を得たもの、ある結婚頭初ははたの見る眼も羨しい程の間柄であつたのが、最近には折合ひ面白からずしばしば問題も持上つてゐたと、ロマノフ氏は現在哈爾賓十二號に居住し、當時別室に在り、銃聲に驚いて醫師を招き種々手當を加へたが、其効なく廿七日朝六時四十五分絶命したと

尚オストロウーモフ氏は目下南支より南洋方面を旅行中なので家人は旅行先に急電した、夫婦間に當年二才の男兒ありオリガ夫人は當地オフサコーフスカヤ女學校の出身である

呼海鐵道用材 從來通り取扱ふ

從來呼海鐵道當局は社用材料運搬につき東鐵の特別扱ひを受けてゐたが、十一月の更新期に際し更に一ケ年の延期を交渉したが從來の通り繼續と決した

東鐵賞與審議

東鐵では管理局提案にかゝる從業員年末手當につき三十一日理事會を開き審議した

長春

下車客に嚴重な望診 肺ペスト防疫

先月廿四日東支線乘客にて長春に下車した一支那人が急死するによりと當時白旗太來方面ペスト流行の際とて之れが檢病方に就き調査方の交渉中なりしも支那側よりは未だ何等の結果を通知し來らざりしが、這次吉長線囑託醫師藤博士の許に該支那人の病死は腺性ペストとの私報ありたるを以て長春警察署に於て一日より連京長春に下車客に對し嚴重なる望診を行ふ事となり、一方亦附屬地内寛城子方面の防疫に關する協議を行ひ直に防遏手段を講ずる事となつた

警官武道昇段

長春警察署勤務巡査成瀬義雄は柔道二段に同池田武範、菅原良、同森下儀次郎氏はいづれも初段に又佐藤操は劍道三段に同高橋時男は二段に杉野慶衛、津留崎政の諸氏は初段に

公學堂記念式 學藝品展覽會

長春公學堂に於て一日午前十時より同學堂講堂に於て創立十五周年の記念式を擧行した、來賓には永井領事、伊藤滿鐵地方事務所長、郵便局長、平野警務主任其他各部一同着席と共に敬禮小林堂長の開式の辭より學童の唱歌堂長の式辭あり來賓兒童の詞あり閉式後管理者來賓兒童の詞あり、一日より三日間は午前十時より午後四時迄内鮮滿其他初等各校兒童の圖畫書方作品の展覽會を開催し一般多數の來觀を希望すと

青訓教練査閲

長春青年訓練所にては一日午前十時三十分より第一小學校講堂に於て本年度査閲を行ふた、査閲官は獨立守備隊より小出少佐、關東軍司令部より關少佐、關東廳及び花井管理者臨席、滿鐵より生田視學、野戰重砲兵分隊長、上原小學校長等他數名臨席、各個教練分隊教練を行ひたる後更に中央通りに出て閲兵分列式を行ひ講評ありたるが、非常なる好績であつた、當日の出席壯丁は五十一名にていづれも元氣旺盛な活動振りを見せた

藝者の足抜き

原籍兵庫縣西宮市東町三ノ九六現住所長春吉野町南海樓抱へ藝妓小福こと秋野ツチ(三)は兼て馴染客の行商人青木善次が數日前より滿鐵沿線中卅一日午後零時頃髮結に行くと稱してその儘雲隱れをなしたので樓主は早速其筋へ搜査方を願出たが、一日午前五時浪速町天一旅館に兩名が潜伏せるを發見された

郷土ニュース

◇……空かける電車 兵庫縣下における空中索道電車のことを、空かける電車は、十一月中旬ごろに施行細則が出來上つて發布されることになるが、さうなると忽ち神戸の山々は蜘蛛の巣の樣になり阪神間は五分間で突破するといふ、おまけに危險はなし、建設費はケーブルカーの五分の一で濟むので當局は寧ろ奬勵するといふ意向だから完成の曉は神戸市街は勿論須磨、明石はては淡路、大阪まで一網のもとに集めモボ、モガの空中戀の私語てなシーンが飛び出すわけだ。

◇……電氣の自動車 神戸高等工業學校で始めて電氣自動車を製作し、その試乘をこの程、阪神國道で行つたが、ガソリン自動車のやうな爆音、臭瓦斯の發生とうの不快さがなく頗る愉快なドライブでありその上、ガソリン自動車によつて消費される年二千萬圓のガソリンも不要だとあるから燃料政策上からも結構至極のことである。

◇……大地震三十七回忌 濃尾大地震の三十七年目に相當する去月二十八日拂曉、時刻も恰度同じ午前五時十九分ごろ、岐阜市にグラ〳〵。

◇……私鉄急行電氣 幾多の問題を孕んだ下諏訪と松本間の鐵道敷設は、今回漸く松本急行電氣株式會社に免許の指令があつた。

◇……電氣仕掛の時計を機に列車の發着から時間勤務の交代まで「時」のために苦み抜かれる鐵道從業員のために、鐵道局がありもせぬ頭をひねくつて主要驛構内のどこからも直に見ることが出來る處、處に電氣時計の檣をたてゝ時間の正確を保ち、いち〳〵從業員が不正確な時計で神經をいためずに濟むやうにしたのは長野保線事務所通信區の信越、中央の兩線。

旅順

筒井判官上京

高等法院覆審部判官筒井雪郎氏は來る十一月十日より司法省で開催される民事首席判事會議に出席の爲一日午前七時三十分發列車で出發、尚故夫人の遺骨も携行した

醫藥學會例會

旅順醫藥學會にては五日(土曜日)午後一時より旅順醫院食堂に於て醫藥學會第二十六回例會を開催、一、昭和二年旅順に於ける赤痢發生概況と菌型調査に就いて西川…二、假面性先天梅毒に就いて、田中稚三、滿洲に於る肺ペスト防疫の回顧、大槻瀧次郎四、レントゲン學の近況、岩崎小四郎等に就き各種研究發表があると

師團長歡迎宴

宮地師團長は本年新任赴任の當時初度巡視の爲來連に當り日支官民數十名を招宴したことあり、これが返禮を兼て同官民有志から招待を申込んだが軍務多忙の故を以て…といふ

鐵嶺

農學校の附設運動 育英學校に

鐵嶺育英學校内に簡易農學校を附設したいとは水田耕作の漸次擴大さるゝに伴れて數年來同校先輩有志の間に提唱され曾て川崎滿鐵社長時代に、校長宇根氏から面談したことありそれが變遷して育英學校の新築ともなつたが、張校長は卒業子弟のため各種その必要を感じ先月中上京して田中首相の諒解を得た程にあつて中央畧路の大官連の賛助もあつたので極力滿鐵を動かし實現に努めたい希望を以て歸鐵後も書面の往復をなしつゝあつたが、機會を逸する恐れありと見て數日前出連し松岡副社長始め滿鐵方面へ陳願運動してゐると

大石橋

水田を視察

先月末蓋平縣地方事務所長は有田地方係長並に土木係等を伴ひ海城縣下岫巖、柳木城附近の水田を視察し一日午後歸所した

新築社宅竣成

本年度豫算に於て新築中なりし紅旗街滿鐵社宅二十三戸は久保田、市川、今井各組の分擔請負で競爭的に工を急いだため比較的早く竣工し檢査を了したが、何れも好成績であつた

二〇三句會

來る十三日午後三時より敷島町八島旅館前フエー松金に於て創立第二回例會を開催するが、宿題は「粹」「三角」「見もの」持寄句「鐵瓶」「女が風に惱まされる情景」「ぼんち」大連より名八、月雨、ほる、佐々市、淸氏等出席、會費七十錢當日持參の事、幹事町二川氏「二〇三」句會賴野榮丸宛申込んで貰ひたいと

赤十字主事辭職

日本赤十字社鐵嶺支部の後藤主事は今回一身上の都合にて辭職し近々歸國することゝなつた、鐵嶺有志人分會の役員は一日午後田中分會長宅に集り後藤氏多年の勤勞に報ゆる記念品の相談を遂げた、後任者は先づ鐵嶺滿鐵病院に勤務して市民にも知己の多い馬場醫院長に決し來る五日頃着任の筈であると

昌圖驛長赴任

鐵嶺驛主任助役から昌圖驛長に轉ずの田口賢氏は一日夕家族同伴赴任し驛頭には多數の官民士女見送つた

大島家の不幸

鐵嶺駐劄聯隊附大島中佐の幼孃弘子さんは二十七日夭折し二十九日に葬儀を營んだばかりであるに三女の秀子(六)さんはその頃から赤痢で入院中途に三十一日朝永眠した、一旬日を出ぬに四人の令孃の内二人まで亡つた中佐一家の悲痛に對し同僚知友市民何れも深く同情を寄せつゝある

郵便局招宴

鐵嶺郵便局にては簡易保險施行後滿五周年の記念日に當れる來る二日の夜日支官民數十名を萬盛樓に招待し晩餐宴を張る但し諒闇中であれば極めて質素を旨とする由

人事

▲西谷久太郎氏 新任鐵嶺支廳長の同氏は久永計手の東道にて三十一日各所歷訪挨拶した
▲大内鐵嶺警察署長 奉天遼陽兩署に要務を帶び出張中の大内氏は一日歸鐵した

四平街

鐵嶺戰跡見學

三日の明治節に四平街在郷軍人分會に於ては同分會の創立記念日に當るので會員全部で擧げて日露戰役の最終戰場たりし鐵嶺に遠足戰跡其他を見學することにし、三日午前六時三十分四平街發列車にて一同鐵嶺に赴き同地附近の龍首山其他の戰跡を弔し午後七時鐵嶺發乘車歸四の豫定であるが、往復の乘車賃は全部同分會にて負擔するのであるから定めし盛會なことであらう

出張所移轉披露

過般來新築成移轉した四平街滿鐵販賣課出張所では卅日正午より同所に於て新築移轉披露宴を催し四平街在任の有力者及その關係者を招いたが、當日は珍しき吹雪となり道路泥濘なるに同所は昭和橋下なるため一層往來困難なりしも約四十名の來賓と四平街有數の美技がつめかけて相當盛會であつた、開宴に先だち記念撮影をなし森之名所長の會の挨拶あり之に對し山添市民協會長は來賓を代表して謝辭を述べ最後に由利之吉氏の發聲にて同所の萬歲を三唱して散會した

鳳凰城

鷄冠山在鄉軍人會演習

鷄冠山在鄉軍人分會に於ては去る三十日秋季總會を兼ね發火演習を施行した、當日は在鄉軍人會連山…

鞍山

讀書デーの標語當選

一日から七日まで全滿一齊に催さる讀書宣傳デーに鞍山圖書館が募集した標語は百二十餘語に及び三十一日同圖書館樓上に於て之れが嚴選の結果左の如く入賞した

一等 庶務課 河合龍男
慾の中でも讀書慾
二等 庶務課 稻本勇
一日讀まねば一日遲れる
同 北八條 岩本生
讀めば得る
三等 北八條 岩本生
常識は讀書から
同 同
智慧袋は讀書で滿たせ
同 大正通 阪田生
心の光は讀書の窓より
同 北八條 岩本生
廣き智識は讀書より
同 北三條 三好鯛生
年の功より讀書の功
佳作
一日讀まずば千日遲る
親しめ圖書館手に取れ書籍
圖書館は生涯の學校
讀まざる人生は不作なり
圖書館は皆んなの書齋
圖書館は新智識の百貨店
圖書を愛する者に過人なし
讀み得る者は幸福なり
精神の若さは讀書に依る化粧

讀書漫談會

讀書宣傳の爲め三日圖書デーを催す鞍山圖書館では讀書標語の募集標語を添へた圖書の利用案内を配布の外、午後六時半より倶樂部において漫談會を開き各方面の士の文藝に關する小話並に鈴木泉三郎氏作生きてゐる小平次の戲曲朗讀を行ふ由

青訓教練査閲

本年七月一日開所した鞍山青年訓練所は指導員と所員との熱心に依り頗る順調に進展し相當の成績を擧げて居るが、同所員は四日午前六時半より同九時三十分まで小學校に於て關東軍司令部から派遣さるゝ査閲官の第一回教練査閲を受ける由

野菜の消毒高

鞍山衞生係に於いて取扱ひたる十月中の野菜消毒高は人員において二千二百十七人、果實二萬一千六百卅八貫、野菜十五萬八千七百五十六貫であるが、去る六月よりの累計は野菜九三六、三〇九貫果實三〇、一五六貫であると

菊花品評會

鞍山同好者は三四の兩日近江屋ホテルに於て菊花品評會を開催一般多數の來觀を歡迎すると

普蘭店

寸閑隨筆

金福鐵道開通に依りて打擊を蒙むつた普蘭店は其の後乘客、荷物も餘り增減なく結局影響はないらしい▲聞くに依ると普蘭店管内で石炭坑を發見し之が探掘を願出でたるものあり炭層は瓦房店よりの支脈らしい▲城子瞳郵便局は十一月一日より開始するらしい、同地の電燈は關東廳で經營して電流は普蘭店より供給すると

熊岳城

兩替店に又も馬賊 拳銃で脅迫 奉票六千元强奪

今秋以來杉本商店、萬順長、瀋遼試驗場長宅と或は强盜或は窃盜におびやかされてゐた矢先又々三十日は午後六時熊岳城日新街八番地兩替店義泰華宅へ三人連れの馬賊侵入せりとの通告に警察にて一時を移さず馳せ附けたが、既に逃走せる後にて逮捕に至らなかつた、犯人は夕刻客を裝ひ店内に入り來り手に手にピストルを差向け金品を强要し遂に奉票六千百十八元を强奪し北方へ姿を晦ましたし、警部一隊の一行は支那官憲と協力し極力搜索中

瓦房店

小林課長歸省

瓦房店普蘭店政支業小林總務課長は母堂危篤の報に接し急遽郷里茨木縣に歸省したるが、母堂は氏の途中に於て死去したる由

修養團例會

普蘭店修養團部にては一日午後七時より民政署樓上に於て例會を開催し天野署長の講演あつた

尾崎局長請宴

瓦房店郵便局長尾崎重樹氏は平素簡易保險及郵便貯金等に就て盡援せられたる同を招待し一日午後五時より天金に於て請宴を開かれた、出席者二十餘名局長の挨拶に次て宗署長の謝辭ありたり

齊々哈爾

簡易保險祝賀

當地郵便局にては保險局が滿洲に簡易保險を實施して以來極めて熱心なる局員の勸誘と之をよく理解して加入せる居住民の眞意とによりて非常なる成績を收め來たが、それより本年十一月三日明治の佳節を卜し來る十一月三日は五年に相當せるにより簡易保險實施五周年の祝賀會を催す由

小兒流感猖獗

今秋冷急に加はつて以來兒童間に一種の流行性感冒が猖獗し各戸共殆どおかされてゐる狀態で今回の病狀は始め惡寒と頭痛とを訴へ直に發熱四十度前後大抵胃腸を侵され嘔吐又は下痢を維め二三回の後後を及して感冒らしき症狀に入るのが普通に、中には氣管支炎又は肺炎が併發する向もある由で何うにしても手おくれせぬ樣家庭の用心が肝要である

師團軍醫部長來齊

第十四師團軍醫部長以下七名は三日午後三時四十五分列車にて來齊、農事試驗場其他參觀の上温泉ホテル一泊の豫定

吳督辦夫人 赴哈

吳督辦第二夫人は哈爾賓特別區行政長官張煥相氏に過般玉の樣な男子を擧げ二十九日に滿月(滿一ケ月)の内祝をなす爲め之に出席すべく劉全省警務處長夫人その他大官連中の夫人を帶同二十八日午後十一時半特別列車にて文武官人連多數の見送りの中に、哈爾賓に向つた、當夜の停車場は大官夫人連で待合室からプラットホームまで雜沓の有樣だつたが、金ピカのコツテリしたのやらモーダン式なのやら盛る人も盛らるゝ人も一樣に孔雀の尾を一度に擴げた樣なケバケバしい裝ひそれに軍樂隊附きと云ふ頗る景氣のよい出發だつた、因に夫人は一兩日滯在の上歸還の筈

寸餘の降雪

二十八日は朝からの雨で太陽黑點の關係でもあるまいが十月末に雨とはと云ひ合つて居たが夜に入つて暴風雨と化し三十日の晚より雪となり積る事寸餘、本物となつた但し氣候は例年より約一ケ月遅れて居る

常交涉員招宴

黑龍江交涉員兼龍江道尹常蔭廷氏は二十八日午後五時より連陞飯店に於て清水領事マルティノフ東支鐵路事、早川滿鐵公所長等を主賓とし汪財政廳長、鄭財政廳長、王教育廳長、王政務廳長、劉全省警務處長、省議會會長、黑洲金局長、趙呼倫道尹張廣信公司總辦等勅任官約二十餘名を陪賓とし招宴を催したるが、新輸入の美技酒間を斡旋し早川公所長が佐藤公所員帶同哈拉爾格以出掛け費用を百元近くもかかつて一羽當り六元の鴨を打つた話なども席上の好話題となり和氣藹々の裡に午後七時散會した

小川、林兩氏來齊

小川運輸課長、林滿鐵長春地方事務所長は東方時報社長小川氏と共に二十七日滿洲里方面より來齊二十八日各方面を視察後早川公所長の招宴を受二十九日午前六時發の自動車にて洮昂線泰來方面に向ひ一路洮南に向つて出發した

近廣部長離齊

鄭家屯分所に轉任した近廣部長は廿八日夜十一時發列車にて多數官民に見送られて離齊赴任の途についた

耳鼻咽喉科 大連市西廣場伊勢町南 中西醫院 電話八七三三番 ハナミミ

黎明の丘 120

東天紅
森田ひさし畫

手紙は滋子から小澤へ宛たもので、紛れもない滋子の自筆であつた。それは小澤からの破約の僞手紙に、本郷湯島新花町の松岡方へ宛るやうにとあつたので、それを信じて松岡の家へ送つたのであつた。

松岡といふのは、過ぐる月曜日に、練兵場の入口で、小澤を待ち受けて、滋子からの絕緣を宣告した男であるが、辯護士とは名ばかりで、職業として開業もなし得ず、他人の法律事務所に手傳つたり、三百のやうな仕事をして、不正に近い金儲けを行つてゐた。弗とした事から藤倉商事に關係が出來て、桑山と肝膽相照の仲となつたので桑山も彼の奸智を乘じく照ひ、凡ての秘密を打明けて彼に相談するやうにした。

滋子と結婚するに就いても桑山は彼女と小澤との離間策に一生懸命の智慧を絞つた末、結局この松岡に相談して、この極どい狂言を書くことにしたので、筋立ては矢張り松岡の智慧であつた。彼等は先づ、月曜日に逢ひたいと云ふ小澤の呼出狀を種に、小澤の名によつて破約の手紙を滋子に出した。そしてその返事は松岡の手許へ來るやうにして置いて、一方月曜日には、松岡自身滋子の代理として小澤に逢つた。そしてその言葉と符合するやうに、滋子の僞手紙を以て絕緣の宣告狀を小澤に送つた。其の返事は又宛名先から松岡の手に入るやうにし、置いたのであつた。かうした念入りな計畫によつて、雙方の手紙が桑山の手に入つたことは、何にしても彼等のために大成功といはねばならなかつた。

「正にこれ滋子孃の自筆だ、破約の手紙に對する返事らしいね」

さういつて桑山は、既に松岡が開封してゐた手紙を擴げて讀んだ、それには次のやうな文句が認められてあつた。

「お手紙拜見致しました、この前のお便りにより、月曜日にはお目にかゝれることゝ存じ、飛び立つ思ひでお待ちして居りましたのに何といふ悲しいことでございませう。あなたの御都合で御見合せとのこと、已むを得ない御事情とはお察し申しますけど、ほんとにお恨めしく存じます、私の方にも是非ともお目にかゝつて、申上げなければならないことが、山のやうに積つて居ります、とてもお手紙などでは、申上げられない混入つたお話なのでございますが、何とか御都合をおつけ下さいまして一度だけお目にかゝることは出來ますまいか、ほんとに御無理なお願ひですけれど、私の苦しい心をどうか御推察くださいませ。くれ〴〵も御願ひ致します 滋子より
小澤様み許に

讀み終つた桑山は、憎ましげな眼を上げて吐いた。「成程、君のいふ通り、隨分熱心な手紙だねえ、些か妬まざるを得ないよ」

「だから貴方も隨分罪だといふんですよ、こんなにまでなつてゐるのを」

「何だ、君は敵に同情してゐるのかね可愛想なのは寧ろ僕ぢやあないかこんな手紙を讀まされてさ」

「はゝゝそれもさうですな」

「兎に角、直に返事を出さなきやならないね、第一滋子の方へはこの手紙を讀んだ返事として、非常に心痛はするが、都合によつて絕緣したといふこと、又小澤に對しては同じく小澤のこの手紙の返事として、絕緣を諾してくれて有難い、愈々この手紙を限りとして二人は永遠の他人になるといふ意味ね、それで好いだらう」

「それで結構ですな、ぢやあ又僞筆を揮ひませう、だがこれが旨く行つたら桑山さん、今度は僕を喜ばしてくださるでせうな。今回の狂言は、僕としても可なり危ない橋を渡つてゐるのですぜ」

松岡は狡さうな眼を細くして笑つた。

最新刊
法學士家永三郎著 新經濟學(生產論) 實價七圓八十七錢送料三十六錢
東亞經濟調查局著 昭和三年時事年鑑 實價二圓六十二錢送料十四錢
報知著 滿洲讀本 實價一圓送料八錢
後藤朝太郎著 支那風俗の話 實價二圓九十四錢送料十錢
木村架空著 蕪村夢物語 實價二圓十錢送料八錢
理學博士佐藤一郎著 中等教育 化學の眞隨 實價四圓七十二錢送料十二錢
小口五郎著 露國の赤化運動實相 實價一圓五錢送料四錢
細田之助著 新案 三德書翰辭典 實價二圓九十四錢送料十二錢
昇曙夢著 奄美大島と大西鄉 實價二圓八十三錢送料十二錢
生田長江、赤松月船共著 新しき詩の作法 實價七十三錢送料六錢
陸軍中尉吉田平太郎 蒙古踏破記 實價一圓五十七錢送料十二錢
池部鈞他七名共著 漫畫の滿洲 實價二圓十錢送料十錢
若山牧水、三宅昭共著 新しき歌の作法 實價七十三錢送料六錢
保田著 分業論 實價一圓七十七錢送料十錢
法學博士牧野英一著 刑法研究 第三卷 實價四圓五十一錢送料十六錢
學校家事研究所編 新要目による高等小學家事科精義上卷 實價二圓十錢送料十錢
大連市浪速町 大阪屋號書店 電話…番 振替…大連五五番 本店東京…

最新刊
井野邊茂雄著 幕末史概說 實價六圓九錢送料四十五錢
關口泰著 普選と新興勢力 實價一圓二十三錢送料十二錢
菊池寛著 歷史物語全集 實價一圓卅七錢送料八錢
小田信夫著 受驗代數學精要 實價一圓五十八錢送料八錢
同 同 下 實價一圓五十八錢送料八錢
佐々木信綱著 和歌史の研究 實價四圓八十三錢送料二十錢
有富鄰夫著 高等小學讀本精義 實價三圓十五錢送料十錢
赤津誠內著 性病に惱める人々へ 實價一圓八十九錢送料八錢
飛田穗洲著 ベースボール攻擊篇 實價一圓五十八錢送料八錢
高畠素之著 資本論解說 實價一圓廿六錢送料八錢
宮田德藏著 信託法の新研究 實價一圓八十九錢送料十錢
伊地知純正著 僕の英文日記 實價一圓廿六錢送料六錢
河合免二著 イプセン集 實價八十九錢送料六錢
鹿毛久太郎著 外國地理要覽 實價三十七錢送料四錢
小林房太郎著 世界地理精義 實價十圓五十錢送料四十五錢
教授著 和文英譯 分解式教本 實價二圓五十二錢送料十四錢
澤村寅二郎著 イノック・アーデン 實價一圓廿六錢送料四錢
大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五五九八番 振替大連四八三番

明治節御制定記念

庵谷忱
井川亮
石本力藏
原田孝七
林與七
西尾一五郎
富安辰次郎
頓宮張一
和田秀夫
河野通雄
川村宗嗣
吉川康
横田一雄
高橋健
中山東一郎
中村政市

村岡敬四郎
宗像成一郎
上木仁三郎
上田利一
久保田伊平
彌永茂太郎
手塚安彦
寺澤晋叡
遠藤眞一
佐藤菊次郎
坂本虎之助
三谷末治郎
清水賢雄
平野正朝
弘岡半次郎
守田福松

森研吉
稲葉逸好
南満洲瓦斯株式會社　支店長　深川菊太郎
勸業公司
南満洲電氣株式會社　奉天支店
奉天製麻株式會社
満洲土地建物株式會社
満洲市場株式會社

奉天材木商組合
満洲土木建築業組合奉天支部
果物問屋　小田洋行
ミヤコホテル

奉天溫泉株式會社
松尾大正堂　松尾淸七
満蒙毛織株式會社
國際運輸株式會社　奉天支店
奉天取引所　信託株式會社
満洲取引所
日本赤十字社　奉天病院
寫眞機材料商　木村洋行
南満倉庫株式會社
合名會社　藤田洋行

奉天三業組合有志
金六
金城館
金龍亭
菊文
奉天檢番

吳服商組合
入江吳服店
中瀬吳服店
丸京吳服店
牧野吳服店

白倉式電熱治療器發賣元
丸三商會

奉天
森洋行

パン菓子商
原田商會

各種炭販賣組合
公益公司
義昌號
寶榮公司
三有公司
德隆公司
松昌公司
和昌公司
新昌洋行
福記煤局
東亞公司
富德公司

明治節御制定記念

相生由太郎
安住時太郎
飯塚祇吉
石本鏆太郎
石田禮助
糸賀庄造
今村貫一
今津十郎
井上輝夫
宇佐見寛爾
岡虎太郎
小日山直登
神鞭常孝
神成季吉
木部守一
兒玉秀雄

齋藤良衛
佐藤至誠
佐方文次郎
櫻井學
杉野耕三郎
高田友吉
武村清
竹中政一
田中千吉
田中喜介
田邊敏行
築島信司
塚本貞次郎
寺田虎次郎
富次素平
原田光次郎

原田耕一
濱田周洞
長谷川潔
藤田臣直
藤根壽吉
古澤丈作
福田顯四郎
堀諫
松岡洋右
松田義雄
村井啓太郎
村井啓次郎
山本条太郎
山口啓三
横田多喜助
渡邊禮

和田敬三
恩田熊壽郎
足立幸一 羽田調帶株式會社大連支店
山葉龜五郎
緒方治郎 遞信局
篠原忠男 遞信局
松村兄弟商會 松村繁雄 大連市西通り九〇 電話四九七一番
河盛恒治郎 大連市信濃町一〇七
笠原博
小平修二 大連市伊勢町二十三番地
大連市浪速町三丁目 柳屋洋品店 電話四三七五番
大連市浪速町 婦人小間物 和洋化粧品 今中洋行 電話五四〇九番

大連市吳町
大連商品信託株式會社
電話八一三一番

福昌華工株式會社
電話四五一〇番

大連市山縣通五十四番地
三菱商事株式會社大連支店
電話八一五一番

營業科目
油布、雨覆、日覆
天幕、洋服、多幸足袋
運動靴、室內裝飾、家具
其他各種諸材料並以上
業務に附隨する各種の營業
大連市橋立町
大連工業株式會社
電話八四二一・二三六八番
電報(登錄受信略號タイレン タイコ 發信略號(タコ)又は(コ))

本店 東京市日本橋駿河町七番地
大連市大山通
三越吳服店大連出張所
電話代表四一八一番
支店 大阪市東區高麗橋 京都市上京區室町二條上ル

森永製品滿洲販賣株式會社
大連市吉野町三丁目 電話五一六三番

明治節御制定記念

諸紙直輸入商
株式會社 萩原商店大連出張所
大連市監部通り五二 電話三九九七番

電氣機械 電氣工業
圓橋電氣商會
大連市三河町二 電話三六七九番

西洋御料理
カフエーサクラ
大連市浪速町三丁目 電話五八〇四番

米國ブランスヰック蓄音器直輸入商
田中商店
大連市伊勢町一〇六 電話七八四二番

カメリヤベルト代理店
金物 機械 船具
久保洋行
大連市伊勢町 電話四三五三番

毛絲商
佐井田洋行
大連市伊勢町 電話六二〇八番

チエヤー本舖
松内楠陽堂
大連市伊勢町 電話三四六六、四九八七番

寫眞機械及材料直輸入商
株式會社 樫村洋行
大連市伊勢町六十四番地 電話七三二五、長四七三八番 振替口座大連(七九番)

前澤商行
大連市伊勢町 電話長三六〇一 〇三七六番

和洋酒食料品
三星洋行
大連市吉野町 電話五一六一番

山本運動具店
大連市伊勢町 電話五九七九番

體育堂運動具店
大連市大山通三二 電話二七二三

和洋紙文具商
光明洋行
大連市大山通五一 電話七〇五九番

寫眞器及材料
高柳洋行
大連市岩代町(磐城町角) 電話六二二〇番

新潟縣物産紹介所
大連市磐城町十五番地 電話七四九四番

菓子製造
明治屋
沙河口大正通二七 電話九五二六番

寫眞は
石田寫眞館
沙河口大正通五〇 電話九三〇四番

西澤安二
沙河口仲町 電話九四五八番

運送業
鈴井組運送店
沙河口元町二四 電話九五三九番

岩戸屋茶店
沙河口大正通五三 電話九五〇一番

圖書、文具運動用具
小松勉強堂
沙河口仲町三六 電話九五二一番

味噌醬油釀造
朝日商會
大連市黄金町三〇 電話九三三一番

東京生そば
東庵
大連市沙河口仲町三六 電話九〇四七番

藥種商
大久保人命堂
沙河口元町三四 電話九五二九番

酒造販賣
西郷屋
沙河口黄金町六四 電話九四〇九番

精味 米噌
大連精糧株式會社
大連市三春町一 電話九〇七九、九五四六番

醬油釀造
滿洲醬油釀造合資會社
沙河口西町五五 電話九〇二三番

徽章メタル貴金工業
金華號
大連市山縣通 電話七九四六番

藤田柳霞堂
大連市磐城町 電話六八一九番

出光商會支店
大連市監部通九十六 電略「イ」又ハ「イテ」 電話(長)六一九一、六一九三、六四七一番

藥種貿易商
石川萬壽堂藥房
大連市信濃町一二三 電話四三四四番

宮崎式ペーチカ
宮崎組支店
大連市若狹町 宮崎吉太郎 電話五二四二番

ラヂオ商
内藤商會
大連市山縣通 電話四二五七番

海産物 食料品 直輸入 御問屋
北海道物産
大連市若狹町 電話四六七六番

村上寅吉
大連市吉野町 電話四九三七番

時計 貴金屬 製作 商
宮崎商店
大連市伊勢町 電話七四二八、三七〇九番

星製藥株式會社
大連代理店
大連市伊勢町 電話四三六七番

藤井洋服店
大連市信濃町 電話三六二五番

藤川篤助商店
大連市大山通一四 電話四七三九番

綿糸布商聯合會

會員一同(いろは順)
日本綿花株式會社大連支店 大連市山縣通
東洋綿花株式會社大連支店
小津武林起業株式會社大連出張所 大連市監部通
株式會社大信洋行 大連市山東通
株式會社大角田洋行 大連市大山通
丸永商店大連支店 大連市山縣通
永順洋行
鈴木商店

大連酒商組合(いろは順)

白鶴 發賣元 嘉納合名會社大連支店
澤龜 同 宅合名會社大連支店
白鹿 同 合資會社辰馬商會
大關 同 黑岩大連支店
滿洲鶴 同 滿洲清酒株式會社
忠勇 同 增屋
櫻正宗 同 扶桑號上中商店
白菊盛 同 合資會社肥塚大連支店
菊正宗 同 鐵谷商店
富士東洋一 同 株式會社柴谷洋行

泰記錢莊
大連市奥町一八 電話代表五一〇二番

和盛泰錢莊
大連市駿河町二 電話代表五一八一番

外科一般
唐澤醫院
大連市山縣通電車停留所近 院主 唐澤準吉 電話八二〇六番

伊藤呉服店
大連市浪速町三丁目 電話代表六一〇七番 振替大連二八五番

大連木材商同業組合

西洋莨、洋酒直輸入 MCC滿洲一手販賣
パイジス商會
大連市浪速町三丁目 電話三〇八四、四四六五番

在大連滿洲土木建築業組合員有志(次第不同)

市川工務所	市川金太郎	大連市若狹町 電話六四四四
伊賀原組	伊賀原岩吉	同神明町 電話五〇八七
池内建築部	池内新八郎	同但馬町 電話五二七四
今井組	今井行平	同霧島町 電話六八七
合資會社和泉組	星野光司	同惠比須町 電話六六七九
合資會社原組	原半次郎	同八幡町 電話六二三三
合資會社長谷川組	長谷川辰次郎	同神明町 電話四五二〇
林工務所	林七藏	同公園町 電話六六〇二
東洋コムプレッソル會社	右近熊吉	同若狹町 電話五七三〇
千輪工務所	千輪進	同公園町 電話五三三八
岡組	岡常次郎	同彌生町 電話三九九二
大倉土木株式會社	大連支店	同山縣通 電話四二三二
合資會社華勝公司	西川傳	同山縣通 電話八四五二
大連工材株式會社	福井米次郎	同入船町 電話四六六九
合資會社大同組	佐伯貫一 河村統治	同山縣通 電話三三七〇
株式會社多田工務所	多田耕一	同淡路町 電話四七八九
蔦井組	蔦井新助	同但馬町 電話四四二八
辻組	辻吉太郎	同能登町 電話六〇六七
草場工務所	草場又一	同北大山通 電話六二五〇
久保田組	久保田勇	同山縣通 電話八四七〇
矢野組	西津春治	同播磨町 電話四二三五
合資會社間瀬工務所	間瀬增吉	同惠比須町 電話三二七一
福昌公司	相生由太郎	同山縣通 電話七九七九
福井高梨組	福井猪和太	同公園町 電話三五四九
榊谷組	榊谷仙次郎	同能登町 電話六七九一
三田工務所	三田芳之助	同越後町 電話四八五〇
白川洋行	山内基信	同紀伊町 電話七〇三三
蛭田組	蛭田福太郎	同築町 電話六九八七
志岐組大連支店	高石情彦	同信濃町 電話七〇七二
吉川組大連支店	吉川康	同西公園町 電話六三九三
石井組大連支店	石井本一	同惠比須町 電話六七三四
高岡久留工務所	高岡又一郎	同紀伊町 電話四八〇七

滿洲土木建築業組合事務所 西通三五 電話四六二三番

公主嶺土曜會

(イロハ順)

滿洲銀行公主嶺支店
電話三六番 支配人宅七四番 行員社宅一一〇番 二一五番

公主嶺取引所 信託株式會社
電話一四九番 專務宅二二〇番 川二三九番

公主嶺電燈株式會社
電話四五番 支配人宅一五九番

正隆銀行公主嶺支店
電話三七番 九二番 六二番

(イロハ順)
大口靖太
王嘉祿
神田勝亥
海江田新之亟
丹宗安一
藤井省策
小松光治
三村高次郎

公主嶺精米株式會社
電話二四番

公主嶺特産物商組合

公主嶺藥業組合

石炭特賣人組合(イロハ順)
合利洋行 電話五九、二〇八番
新華公司 電話一二六番
松昌公司 電話七七番

明治節御制定記念

營口水道電氣株式會社

營口
東和公司
盛進商行

營口倉庫汽船株式會社

營口興業株式會社

營口土地建物株式會社

國際運輸株式會社營口支店

海陸運送貨物取扱
海上火災保險代理
秋山商會
營口新市街實業街
電話長一三四〇番

海陸運送貨物取扱
平安公司
安彥英三（營口新市街）

營口新市街
海陸運送貨物取扱
日清公司
伊藤金次郎（電話長八八五番）

木下鋭吉

松本員男

子安平司

大串盛多

石田繪助

小峰四郎

田瀨一太郎

大橋芳彥

古川米吉

有福和一

山本太三郎

旦睦良

寺尾德母

營口硝子製造株式會社

營口永世街
TE 東エ大藥房
電話長一四八番

營口和洋雜貨商
平本洋行
電話(長)二九番

營口新市街
乃美吳服店
電話四五番

天泰公司
井上愼吾
電話七七七番

諸金物商
山住洋行

今村洋行

利源精鹽公司
再製鹽代賣店
食料雜貨商
三井商店
電話一七番

特產商
原一水商店

同天堂大藥房
電話長四番

營口
旅館
營月

營口印刷株式會社

印刷業
尾崎洋行
電話二三四番

長春領事
永井清

長春商業會議所
會頭
島名福十郎

南滿洲電氣株式會社
長春支店長
大浦力

長春驛長
蓼治恭一

永原巖雄

遠藤志貴太郎

長春警察署長
警視
峰岸安太郎

長春地方事務所長
花井修治

長春郵便局長
岐部與平

滿鐵長春檢車區長
長春地方委員
川又政忠

長春地方委員
長春驛事務主任
齋藤順治

長春觀測所長
杉町實次

長春商業會議所
書記長
大垣鶴藏

長春驛構內主任
日野熊次郎

醫師
濱田豊樹
長春日本橋通三十七番地三十九番地

長春醫院
本間英史
吉村寧儀
田中貢
荒井決
萩本伊三雄

長春高等女學校長　大久保鹿次郎
長春普通學校長　田邊芳雄
長春尋常小學校長　田代作之
長春尋常高等小學校長　上原種豊
長春實業補習學校長　藤川卯作
長春公學堂長　小林治郎
長春商業學校長　森川勉

大和藥房
長春地方委員
山本八十四郎
長春吉野町二丁目　電話九七一番 七二番

長春日本橋通り
みしまや吳服店
電話五三五番 振替口座大連一八五番

和洋雜貨 書籍文具 運動具 玩具 文房具 化粧品 編物材料 理髪器具
長春吉野町
森野商店
電話一一 振替大連三一六番

長春工友會員一同

長春吉野町二丁目
羅紗洋服商
佐藤仁平洋服店
電話九七六番 振替口座大連三〇八四番

長春吉野町一丁目
長春窯業株式會社
電話二四三番

長春三笠町
服部商會
電話一二八三番

マキノ映畫
北滿配給
長春滿活社
代表者森省三 電話一〇八六番
直營 長春 演藝館 電話八六七

長春旅館組合

法廷に現はれた 悲むべき男女關係

法學士 木島菊男

激増した離婚訴訟

最近裁判所に現はれる離婚請求訴訟事件の數が非常に増加して來た。五六年前までは十中八九までは女子が男子を相手として離婚請求又は慰藉料請求の訴訟をしたもので、これが普通の如く見られて居た。即ち民法中の規定第八百十三條中にある配偶者より虐待又は重大なる侮辱、惡意を以て遺棄せられたる場合が通例の如くであつた。

男の方から訴へる

最近ではその反對に男子の方より離婚請求訴訟を爲すものが非常に増加して來た。これが原因は主として姦通である。又中には婚姻の豫約不履行などの訴訟も中々多い。之等は一に最近男女間の貞操觀念が著しく輕視される樣になつたからで、殊に中流以上の家庭に生れ相當の教養あり乍ら、我儘育ちから「歸らぬ青春を一人のみの男性に捧げるはあまり惜しい」と云ふやうな享樂主義的な考へで、娘と云はず妻と云はず刹那の快樂に耽る結果的事實として種々の問題を惹起するのである。然しこれは獨り女子のみを責める譯にはゆかぬ、横田博士も云はれた如く一面男子も大いに反省する必要があるので、一言にして掩へば、男女間の貞操觀念の弛緩と云へるのであります。

始末の惡い有閑婦人

貞操問題を起す婦人を大別しますと、一は有閑階級、一は職業婦人と分ける事が出來ます、前者は享樂のために、後者は生きんが爲めである。子供まで出來たが夫に愛を失ひ何とかして離婚したい口實を造るために、夫の外出中に不義の男を引き入れると云ふ樣な婦人もある。又職業婦人は近代的の華やかな生活とその收入が餘りに隔たりがあるからで、彼女等の勤め先への往復姿を見るとどこの令孃かと間違へる位、あるそれ等の美しい衣裳代や高價な化粧料は月三十圓や四十圓の僅かな收入ではとても滿たされる筈はない。女子の貞操輕視は彼女等の强烈な虛榮心と相俟つてその最後のものを賣らしめて恥なきに至るのでせう。男子は生活難のために、その良心を賣り、女子は生きんが爲めに貞操を賣る。あゝ生きんが爲めの悲哀、一概に彼等を責める譯にも行かない樣な氣もする。

婚姻不履行の場合

又婚姻不履行などの訴訟の如きは概して父母と娘が各その目的を異にして居る結果で、父母は財產を目的に娘を自分勝手な處へ嫁がせやうとするに對し、娘さんは戀愛至上主義を唱へて將來を約する戀人と添ひ遂げ度い即ち戀人が目的である。若しかう云ふ場合一時は、家の意の儘に結婚するとせば早晩必ずや破綻が來るに違ひない。個性の强い婦人であると、結婚の家から逃げて歸る、若しそれがいけない場合は離婚と云ふ最後手段に訴へる。かうした場合氣の弱い夫からは豫約不履行又は之に基く損害賠償の訴へと云ふのを提起するのである、この種の訴訟も最近非常に多くなつた、之は近來女子の貞操觀念の墮落と、個性に目醒めた結果に原因するものである。

男子にも貞操あり

何人も知れる如く我民法に於いては最近まで女子の貞操のみを規定してあつたが去る八月男子にも之を規定したる大審院判例即ち前橫田大審院長は「男子にも貞操の義務あり」と云ふ判例を作り我國に於て横暴な男子專制の社會に一大警鐘を與へたのであるが、かゝる判例を下さゞるを得ない事は、日本男子の貞操觀念の如何なるものであるかを物語るものであります

玩具と繪本の選び方（三）

四、七歳から十歳までの玩具

◇身心の狀態　前の時代に比して、知覺は漸く精確の度を加へ、記憶特に機械的記憶は最も强くなり、注意は漸く隨意的となつて、固定して來るし、思考もやゝ進步する。想像は稍低降するけれども學習力は漸次に發達して來て、科學的玩具を必要とするに至る。主我的傾向が著しくなつて、遊戲は競爭、狩獵、蒐集の如き色彩を强く帶び、動植物に興味を有して來る。權勢及び名譽の念が强くなつて、偉人を崇拜し、よく爭鬪するが、運動力は頗る發達して盛んに競技を行ふやうになる。故に玩具としては次の如き各種のものを混じて與へるがよい。

◇玩具の選び方　一般的注意の外に特に意を用ふべきは次の如くである（一）科學的玩具及び學習を目的とする玩具を多く與へること（二）堅牢、簡單質朴、有効の三者は、常に玩具の選擇に必要である。而して玩具は社會の實際の仕事へ移る段階となるものがよい。單なる娛樂品又は骨董品であつてはならぬ（三）投機心を挑發する玩具は禁ずべきである。但し智力を絞つた結果の現れる懸賞玩具は差支へない（四）幼稚園時代の玩具の如くに自然物的又は原始的ではなく、其の取材を化學的に取扱つたものがよく、技術も亦實際的でなくてはならぬ（五）材料は各方面に制限なく亘り得る（六）理化學玩具の動力はゼンマイ、ゴム空氣、磁氣がよい、油やアルコールを焚く蒸氣動力や電力を用ひることはまだ早過ぎる

（與ふべき玩具）

▽理化學應用玩具　ブリキ製の自動車、飛行機、ボート、軍艦、動物、その他ゼンマイ及びゴムを動力とする玩具、電話器、扇風器、彌次郎兵衛、磁石とんぼ、磁石三すくみ、磁石の龜、其他の磁石玩具、寫眞、水寫眞、浮いて來い、潜水夫

▽工夫し組立てる玩具　手工道具と工具及び兵等の材料、刺繡玩具製作用具、及び材料、彫刻裁縫及び編物用具と材料、用具と材料等

▽運動し熟練する玩具　跳び繩、輪返し、竹馬、射的、球入れ、輪投げ、羽子、獨樂、まり、空氣銃、弓矢、お手玉、たこ、紙風船、竹とんぼ、飛んで來い、劍玉、りうで、帆船、スケート

▽競爭し勝負する玩具　おはじき、竹返し、球ころがし、太陽取盤、魚釣玩具、單語繪合せ、いろは遊び、繪合せ、數字遊び、家族合せ、文字合せ、ABC遊び等

▽雜種玩具　印刷玩具、寫生器、計數器、のぞき眼鏡、金庫、博物標本玩具、カード、切手、貝、レツテル、鑛石類、蟲眼鏡、測量用具、動物飼育具、人形類、樂器玩具類、繪畫用具、武者人形、偉人の肖像及び彫刻、クリスマス用玩具等

世界一高い葡萄酒

【ドレスデン（獨逸）發聯合郵信】往時サクソニーの諸王が集められた種々の酒が此度ドレスデンの一商人の手で賣物に出た。是等の酒は皆二百年以上のもので中には一七〇〇年の日附あるブドウ酒もある此の價格は全部で少くとも二十萬ポンドと見られて居るが續々と世界各國の買ひ手から高値の申込みがあり、ドレスデンの商人はホクホクものである。骨董屋連は空瓶に對してすら一本三磅の指値をして貰はふとしてゐるが、いはくを附けて一儲けする積りだらう。

滿日文藝

創作　戲曲　人妻

普魯店にて　笠原武雄

（三幕の一）

場所……眞田の室…（下宿）

時……秋

人……眞田明夫

……西眞砂子

……富岡省三

机に向つて、筆をとつてゐる。窓の秋草は露の玉を宿してゐる、銀色の滴はポトリ、ポトリ落ち、秋虫は孤獨の眞田の心をやるせなくも、秋草の下に導く筆を止めては虫の聲に聞きとれてゐる

暫くして「ノートに寫した詩を讀む。

眞田「闇におのゝく」虫のこえ、やつれにし秋草よ。汝は誰を招き寄するぞ。」

淋しき今宵、戀しき今宵。さわらずゆれる、秋の草。」

あはれ汝は人妻よ。

戀慕ふ、そよ吹く夜風。」

淋しき今宵、戀しき今宵。」

讀んだ後、嘆息と或方角を見つめてゐる。非常に憧れてゐる態度である。

眞田「寂しい夜だ、（手をすり合ふ）冷えて來るな。

暫時舞臺は靜まる。表間から省三が來る、省三は見違へる程瘦せ衰へ、貧弱な男になつてゐる。虫の音が聞える

省三「またお願ひに來ました（躊躇に力がない）濟みませんな。

眞田　冗談ぢやない、僕の所へ來て呉れるだけでも嬉しい。（手をとつて上げる）

さあ……（座布團を出す）

省三「有難う、眞田君今夜は[illegible]んだ。

眞田「そう（輕く受ける）で何か問題が。」

省三「（泣き聲）いゝやなんでもない。」

眞田　なんでもないことはあるまい、獨りでくよくよしては、病氣にも惡いよ（熱心に）聞かし給へ「いえ」、僕も聞かないと

省三「そうか」、妹から口止めされたので……話さない積りでゐたのだ。」

眞田「なんだつてまた（不思議そうに）

省三「今まで、君から借用した金は、實は僕の入院料でなく、西が妹をせめてな……今夜も是非と云はれ、それに妹も外から借金で、苦められてゐるのだそうだ、それが今夜來てせめ[illegible]からせめられてゐるんだとか云つて、僕の所へ來たのだ。

眞田「君の所に今、ゐるのかい。

省三「いゝや、そこまで來ている

眞田「水臭いことをするね、ぢや君は入院はしてゐなかつたのか

省三「……（うなづく）」

眞田　眞砂子さんも、苦められてゐるのか、幸福ぢやないんだな

（省三の肩に手をやつて）ねえ省三君、西は惡い人間だつたが、それだけに深みに這入ると。君が遊んでいる間に、いゝやうに使はれたのだらふ。

省三「財產はいゝが、妹がたよお爺はきつと僕を恨んでゐる。

眞田「悲しいことを、云ふてゐる時ぢやない（庭に降りて裏口へ行く）ちよつと出て來る。

省三「どいどこへ（彼の姿を見送る）」

第二回吟社選募集川柳　得意（四）

天津白河吟社選

失意を昔語りにする得意　大連　馬骨

本壘打ニコリともせず一と廻り　同　黒ん坊

無雜作に笑つて得意に箔をつけ　金州　依然堂

褒められた事を何度も繰りかへし　京城　二葉里

滿面の得意を鼻へ引上げる　安東縣　苔草

褒められた子供も一度やつて見せ　遼陽　綿稚坊

難球をとつた選手の輕い足　大連　南天

花形はカメラに得意然と立ち　鞍山　草明

偶然といはれ得意は向き直り　松山　不知火

新聞をやう〳〵運ぶ子の笑顔　營口　鯉城

二三番勝つと天狗が騷がしい　長春　籍八

新作童話歷史物語　源九郎義經（2）

生江霞村

金賣吉次（二）

秀衡には三人の男の子があつて國衡、泰衡、忠衡と言ふのです。國衡を生んだお母さんは東の對といふ人で、源氏に縁のある人でした。けれども保元平治の亂で源氏は滅亡したので、心に野心を抱く秀衡は東の對を隱居のやうにし平家の流れを汲んでゐる西の對を妻にしました。そして產ませたのが泰衡と忠衡の二人でしたこの三人の子供と二人の母親がこの平泉の城を爭ひ合つたのが元で、さしもの藤原氏も滅亡し、義經も泰衡に攻められるやうになつたのです。

それはさておき、泰衡の妻に環の前と言ふ方がありました、そのお父さんは前民部少輔基成と言ふ方でした。この方は平清盛のために東北へ流されてゐた人でした。その當時、東北（みちのくと云ひます）は[illegible]の地といつて、惡いことをした人を追拂つたところでした。

基成には二人の娘がありまして姉さんは環といひ、妹を梓と呼びました。前民部少輔基成は未だ二人が小さい時、源氏の人々と語らひ、權中納言信賴などと一緒に平家を亡ぼさうとして、それが知れた爲め、二人を都に殘して陸奧へと追ひやられたのでした。

その中環は色々辛苦をして白拍子となつて京都の町で暮してゐる內東北の商人金賣吉次に救はれて父を尋ねに陸奧まで來たのでした。孝行の心の厚かつた環は[illegible]に泰衡の奧方となり、父を探し出して安樂な生活が出來るやうになりました。けれども安樂な生活が出來るにつけて、思ひ出だすのは小さい時別れた梓姬のことでした。父の基成等も朝に思ひ夕に悲しみてゐるさまは可愛そうな位でした。環の前はどうかして梓姬を連れて來て父を慰めたいと、夫泰衡や父秀衡へ對つて梓姬を連れ來るやうにと度々願ひ出るのでした秀衡は間者を先づ京都へ入れて樣子をさぐらせました（もつとも間者はたくさん京都へやつていつもやうすを探らせてはゐたのですが）陸奧は十月と言ふ聲を聞くともう赤く山を彩つてゐた、紅葉も老いて、獨り木枯の吹き荒ぶ冬も目前にせまつて來てゐるのでした。農家の庭には眞赤に染んだ柿が枝もたはむ程、鈴なりに實を結んでゐました。

京都の間者からの通知によれば、京都一條堀川に居る鬼一法眼と言ふ者には、たくさんの娘がゐるけれど、皆自分の子供ではなく人買から買つたり遊んでゐるきれいな女の子をさらつたりして、家の奧深く隱して、十年十五年と經つてからえらい武士やお公卿さまの若樣等にお嫁にやつて、自分が贅澤な暮しをしてゐると言ふひどい奴であります、けれども鬼一法眼は郷々の兵法家であつて、彼の家の奧深くにはその兵法の虎の卷が藏されてゐると言ふ事であります

これを聞いた秀衡始め一同は驚きました。

その鬼一法眼の邸の中に、梓姬がゐるとしたならば、到底助け出すことは出來さうもないのです。

何故かと言へば、法眼の邸のまはりは、深い大きな堀に圍まれてゐるばかりでなく、邸內には高いやぐらを造へて見張をしてゐますから、とても忍び込むことは出來ません、それのみでなく、夜になると吊橋になつてゐるのでギイーと上にあげてしまひますから、どんな忍びの上手な人でも、こゝばかりは入ることが出來ないのです。

◇沿線走りがき

（九）安奉線　月南

苓草錦魚の兩雅兄に見送られて急行に乘る別れがつらいのか新義州方面から銀糸のやうな秋雨サツと降る、急行だけに氣持ちよい程走る、新婚の想ひを乘せたやうな細雨は頻りに降つて來た、車窓は霧に覆はれて展望全く封鎖された折角安奉線の秋色を探るべく特にこの列車を選んだにも拘らず此の天候とは呆てさて構はないことではあると不平の裡に昨夜の勞れた頭を横にしてゐると「おい高橋君！」

と突然の聲、誰れかと見れば滿鐵人事課の齋藤君、おや君と乘合せたのかこれぢや雨降りも當然だ。それから大連談論風發、靜まり返つてゐた車中は急に賑やかになる。今まで連峰を包んだ霧も吾々の聲に驚いて霽れて來た、窓へ鼻すりよせて連山の秋色に見入つた、滿目正に斷岩に添ふて溪流の流るゝ處將に一瓢なかるべからずと遂の無謬齋藤君も堪りかねてビールのせんを拔く、錦繡を織りなせる山また山、水また水に迎へられつゝ、旅順中禁酒の筈であつた齋藤君は「おいもう一本拔こうか」繪具皿ぶちまいたやうな安奉線秋に抱かれて山を染め

新刊紹介

▲國姓爺合戰・鎗の權三重帷子（近松門左衛門　和田萬吉校訂）國性爺合戰は作者の詞と想とが圓熟の域に入つた時の作で取題の奇と行文の妙をきはめたもの後者はその當時の實際にあつた妻敵討を世話物として脚色したものといふ　東京神田神保町一六岩波書店定價廿錢

▲改造（十一月號）普選法第一回試驗、選擧の戰績批判故德富健次郎墓誌一日如夢の記弔辭（富猪一郎）追憶（前田河）懺悔憎として（賀川豐彥）臨終記（石川六郎）其他創作、論說—東京麴町內幸町一ノ三幸ビル一階改造社定價五十錢

▲性論（十一月號）東京麴町內幸町一ノ六性論社定價三十五錢

▲文化と經濟（十一月號）大連公園町七一滿鐵社員消費組合定價廿錢

▲科學普及（十一月號）東京府下淀橋町角筈五世界科學普及會定價廿錢

▲優生學（十一月號）兵庫縣武庫郡香爐園森具六六七日本優生學會定價三十錢

▲大日本農報（十一月號）大阪南區鰻谷仲之町大日本農報社定價三十錢

▲少年赤十字（十一月號）東京芝區芝公園五號地日本赤十字定價十錢

▲人生（十一月號）京城永樂町二ノ六九よろづ代社定價十五錢

▲露西亞事情農村の概況と土地問題（二五號）東京丸の內丸ビル第四三七區露西亞通信社定價五十錢

死を超ゆる運命（五十）

三上於菟吉　布施平八郎畫

無邪氣な戀（二）

和子は、これまで江馬の兩親も妙子の兩親も、暗々裡に勇と妙子を一緒にしようと考へて居るのを知つて居た。また勇の方では始めから氣が付かない樣であつたが、妙子は年は行かなくても流石に女でその事をうすうすは察して、勇を未來の夫とたのんで居た事を知つて居た。和子は妙子が嫌ひではなかつた、それどころか可愛がつたこの娘なら自分の弟嫁に――自分の妹にしても少しも差支ないと思つて居た。而しあの晩、勇の口から、とき子との關係を聞いた、今では何も知らないで居る、妙子がこれまで感じなかつた程いぢらしく、可哀想に思はれるのであつた。

「私だつて新聞のまゝには信じて居ないけど……」と、和子は言つた。

「まア、こちらへいらつしやい、暖爐の側で話ませう」

和子はそう優しくいたはつて、一緒に大廣間に泣き出しそうな妙子を銀色のストーブの前の赤い長椅子へ連れて來て、二人は並んで腰を下して、暫く言葉もなく燃え立つ瓦斯の焰を見入るのであつた。

「きつと、ときさんと云ふ方も泣いて居るでしようね……」と妙子は言つた。

和子はハツトした、妙子が勇とき子の問題を知つて居やうとは思はなかつた、どの新聞もこの事實だけは書いて居なかつた。天地間で其の事實を知つて居るものは當人どうしを除けば自分だけであると信じて居た。

「どうして、妙子さんは、そんな事を！」と、和子は叫んだ。

「夕方お父樣が江馬さんへお悔みに上つたら江馬のお母さまが何處からかとき子さんと言ふ方から、お兄さまに宛た手紙の束を探し出して大變に怒つて居らつしやつたのですつて。お父樣は江馬のお母さまに、その事はたれにも仰言つては不可ないと、固く止めてお置きになつたんですつて、さつき其の事をお母さまに話して居るのを私は陰でそつと聞いて了つたのです。お父樣は、そんな秘密が勇にあるとは少しも知らなかつた、實に呆れ返つた奴だなんて、お仰言つて居たわ。私も薄々は知つて居ましたが手紙の束がうんとあると聞いて驚きました」

和子は溜息を吐いた。何んと言つて好いか判らないのでたゞ其の場にぼんやりと默つて居た。

「けれど、私呆れた人だなんて思はないわ」と、妙子は言つた。彼女の聲には妙に熱誠の響きが含まれて居た。

和子はこの時ハツトした。さう言つたように感じはしたが、同時に思ひ諦められないと言ふ少女の戀心を考へると、胸が急に張り裂けるような氣がした。

「妙子さんは、勇を怨まない？」と彼女は言つた。

「何で私が怨みませう」と妙子は言つた。

「私と、お兄さまと一緒にしたらどうか云ふ話があつたのは知つて居ましたけれど、私たち當人同志はそんな事を一度だつて話した事はないのですもの」

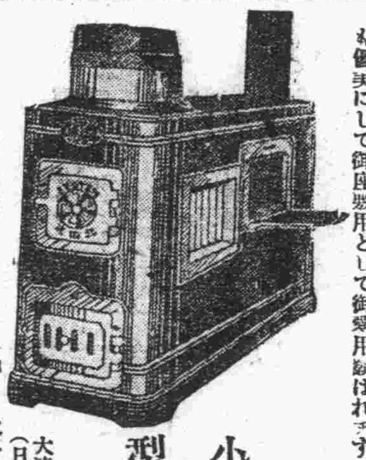
男女外務員招聘　志望者は本人來談あれ　面會時間自午前九時至午後四時　橫濱生命保險　大連支店　大連市西通六八　電話三八七五番

保養に靜養に――溫泉へ　熊岳城　溫泉ホテル　電話長二七番　汽車賃三割引……（往復十四日間通用五人以上團體）　自動車の便あり驛より三分間

便利燈　開店一週年記念の爲め景品進呈　雨、風、雪の夜も滅火しない光力强大使用家御推獎一般高評の其便利燈を當月中御求めの方へ燃料蠟三包（五十四時間分）御添へ致します　ドンナ自轉車にも手提にも家庭用にも　用途に依り種々あります　定價一圓五十錢より四圓迄（便利蠟）一包十三錢　東京便利燈滿洲販賣所　大連能登町　宏榮洋行　電話三三三番

支那　紫檀細工、茶棚、紫檀角机、角火鉢花臺、銅器火鉢、薄端砂鉢、其盤類一切其他支那書畫骨董、金屏風各種正札附確實販賣　大成館三階四階貨集會所に三階陳列販賣あり　大連伊勢町角　電話（六五五〇番　四七〇七番）　高橋峰次郎商店

新案特許第一九一九六號　北田式熱氣煖爐　小型は普通ペーチカと同樣取扱簡單にして十二疊一室位を十分に溫煖が出來御飯釜も掛り蒸燒等もあり凡ての用を便利に達し石炭は少量にて暖く眞に理想的實用的實用品であります。體裁も優美にして御座敷用として御愛用願はれます。



小型　特價十九圓　形狀　長一尺八寸　巾一尺一寸　高二尺　溫度七十度位　石炭量一ヶ月四分乃至五分
製造發賣元　北條商店　大連市信濃町七番地（日本橋より七軒目）電話三三五〇番
販賣所　西川又七商店　大連市敷島町四三　電話五〇五三番　振替大連一四六番

煖房　衞生設計工事請負　大連市エビス町九二　中嶋平治事務所　電話三〇八〇番　支店　撫順東二條通六

今冬の丁子屋　英京倫敦新製品
ミルド・ウオーステツド　冬服三揃　¥55.00
ウオステツド　流行シマ　冬服三揃　¥65.00
オーガスト・ドウメイ　ガニーヤ・コンパニイ　ジヨン・テイラー　ジヨン・ブルグ　製品
優秀品新柄豐富
（東京　大阪　津　新宮　京城　釜山　平壤　元山）
大連大山通　丁子屋洋服店　電七六二二

明治節御制定記念

旅順市乃木町三丁目　田村自轉車商會

記念品御商　旅順市乃木町三丁目　東京堂　電話六一番　振替口座大連一三六四番

旅順市乃木町三丁目　ゑびすや呉服店　カボツク應用浦團並に應用製作品特約店　電話一三〇番

旅順市青葉町　藥種賣藥醫療器其他　宮竹藥局　電話一〇七番

建築材料　諸金物商　各官衙御用達　旅順市名古屋町一　柴山商會　柴山榮三郎　電話三〇九番

牛肉商　旅順市乃木町三丁目　金太屋　別府六三郎　電話二七五番

食料品雜貨商　旅順市乃木町三丁目　大島商店　電話一三八番

電氣器具　ラヂオ部分品　自動車修繕　旅順市乃木町三丁目　津田商會　電話四六四番　振替三一二二番

藥種賣藥業　旅順市乃木町三丁目　田中濟生堂　電話三三六番

金物、電機商　旅順市乃木町一丁目　村上信二商店　電話一〇二番　大連市山縣通一〇六　村信大連支店　電話長六四九一番

名產ソーメンオコシ　旅順市乃木町三丁目　旅順製菓山岸洋行　山岸信寄　電話四五四番　振替大連三九九番

明治節御制定記念

(順次不同)

四洮鐵路局
會計處長 由利元吉
車務處長 宇佐美喬爾
工務處長 小栗盛三郎

取引所信託會社專務取締役 茶谷榮次郎

竹村呉服店主 竹村石次郎

地方委員 濱田有一

地方事務所長 川上融

大和洋行主 桂馨三

朝鮮銀行支店支配人 横瀨守雄

警察署長警視 竹友德太郎

地方委員 竹村勝清

山口洋行主 山口成淳

取引所長 鮫島七郎

滿鐵醫院長 佐藤良治

四平街驛長 白石寅治

電燈會社專務取締役 平林市郎

四平街火曜會
取引所信託株式會社
朝鮮銀行四平街支店
國際運輸株式會社四平街支店
四平街電燈株式會社
正隆銀行四平街支店

四平街
日華特産物人商聯合會
取引所取引人組合

四平街有名料理店
白水
鱗本店
松屋
福住
四平館

石炭
信和洋行
松昌公司

清酒菊正宗 旅順一手販賣
金水商會
旅順乃木町三丁目 電話一〇六番

京阪流行
下村履物店
旅順市青葉町 電話三二五番

電機金物商
圓橋商會
旅順市乃木町二丁目十九番地 電話一四〇番 振替口座大連一四〇番 電略〇〇又は〇ハシ

鋼鐵販賣 船舶及引揚業
華信洋行
旅順市三笠町三番地 電話一〇四番
日用雜貨 文房具 運動器具
華信洋行支店
旅順市大□町二丁目 電話一〇四番

和洋雜貨
滋賀洋行
旅順市乃木町三丁目 電話三七六番

各國自轉車修理
富永自轉車店
旅順市乃木町 電話四〇一番

陸海軍御用達 諸官衙
大西商會
旅順市乃木町二ノ一九 電話二五三番

仲野齒科醫院
旅順市名古屋町 仲野嘉與作 電話一二九番

材木商
西野商行
旅順市乃木町三丁目 電話六八番

近江屋呉服店
旅順市乃木町 呉服太物商 電話七九番
旅順市松村町 近江屋呉服店出張所 商品廉賣所 電話三六九番

深川齒科醫院
旅順 齒科醫師 深川一郎 電話四七六番

大阪商船株式會社 國際運輸株式會社 代理店
旅順運送合資會社
電話五五番

塚澤齒科醫院
旅順市敦賀町 院長 塚澤正雄 電話三四二番

旅順寫眞館
旅順市乃木町 電話四七二番

各寫眞機並に寫眞材料一式
樋口寫眞機店
旅順市青葉町 電話四一七番

陸海軍御用達 魚市場
鮮魚 ㊀井町商店
蒲鉾製造 電話三三二番

野間式ストーブ製造元
野間鐵工所
旅順市乃木町 電話一九七番

和洋諸雜貨
外山洋行
旅順市青葉町 電話二四一番

大連勧業博覽會銀牌受領 サクラ印サイダー シトロン製造元
旅順 櫻泉社 那須梅吉

喜野商會旅順支店
旅順市乃木町三丁目 電話長二七七番 電信略號(キリ)
鐵工部 旅順市西町三十九 電話五〇九番

諸官衙御用達 山北式寢臺 西洋家具 室內裝飾品商
合資會社 山北商會
旅順敦賀町六十一番地 電話三一三番

和洋料理 松金
旅順市敦賀町

諸官衙用達
久野儀一郎
旅順市敦賀町九番地 電話一四九番

昭和園食堂
旅順市昭和園內 電話一七五番

陸軍御用達 生麺麭 和洋菓子司
木村屋
旅順市乃木町三丁目 電話一二六番

櫻井時計店
旅順市乃木町三 電話一九五番

營業種目 陶磁器、硝子器、漆器類 荒物類、世帶道具一式販賣
緒方商店
旅順市乃木町三丁目 電話四二番 振替大連一三七〇番
支店 松村町二十一番地

關東長官 伯爵 兒玉秀雄

關東廳內務局長 廣瀨直幹

關東廳警務局長 久保豐四郎

矢原商會
旅順市巖島町拾四番地 電話八一番

滿鐵撫順炭 千代田生命保險相互會社代理店 三ツ矢飲料水特約店
石炭商 矢幡商會
電話三一番 三〇六番

旅順洋服商組合

(いろは順)

岩崎洋服店 乃木町 電話三六四番
伊勢洋服店 乃木町 電話五三〇番
井本洋服店 乃木町 電話一五七番
吉野洋服店 青葉町 電話一八六番
高田洋服店 新市街大泊町 電話二二七番
高島屋洋服店 乃木町 電話三九八番
中山洋服店 乃木町 電話三二九番
島村洋服店 敦賀町 電話一七九番

株式會社 旅順檢番
旅順敦賀町 電話七一番 一八七番
瓢亭 乃木町 電話四九九番
彌生 乃木町 電話三七番
壽 敦賀町 電話一六番
青葉 青葉町 電話二二一番
君乃家 青葉町 電話二六番
新花月 敦賀町 電話二四二番

石炭商 滿昌洋行
旅順市八島町二十六番地 電話一四七番 一六六番

牛乳販賣耕牧舍販賣所
電話一四七番

海運業
宅島商會
旅順市巖島町 電話一〇三番

ヤマヨ醬油釀造元
吉村商會
旅順市乃木町一丁目 電話一三二番

和洋雜貨 小間物
松島商店
旅順市八島町內

御旅館 寶來
旅順市乃木町 電話長五六番

御旅館 防長
旅順市青葉町 電話二八二番

御旅館 旅順ホテル
旅順市青葉町 電話長三六七番

旅順青葉町街燈維持會

(いろは順)

池田洋行 電話七四番
原田時計店
新見時計店 電話四八〇番
徳商行 電話一〇九番
大阪屋號書店 電話三五一番
吉野羅紗店 電話一八六番
谷疊店 電話五八四番
高治洋行 蓄音器部 電話八七番
山口商會 電話二四九番
中野日界堂
松崎商店 電話三八番
文英堂書店 電話二〇七番
瑞章堂印店 電話三六番

麺類製造
是恒商店
大連市常盤橋 電話八七七二番

水道 衛生工事 煖房 請負
高石商會
大連市監部通一〇九 電話長三五〇二番

藥種貿易商
大正堂商店
大連市吉野町一〇五 電話六五六七 七八五五番

履物商
小宮商店
大連市浪速町一四八 電話一七一六番

歐米百貨直輸入商
高新洋行
大連市伊勢町廿一番地 電話八二五九番

藥種商
日新堂藥局
大連市信濃町一三九 電話六二三八番

野田看板店
大連市伊勢町 野田蘇南 電話四五六四番

三好野本店
大連市磐城町 電話六五一二番

青果菓子食料品商
丸屋
大連市西通場岩代町角 三立製菓株式會社滿洲總代理店

大タクの電話番號

常盤橋營業所	3868 5774
埠頭出張所	8525
老虎灘出張所	4515
聖德街出張所	9324

總領事館 川越茂

東洋醫院 齋藤源治郎

朝鮮總督府 工藤政次

滿洲銀行支店 大倉太七郎

森林經營附屬企業 各種原木各種製材 鐵道用枕木 坑木電柱等
共榮起業株式會社
滿洲吉林 電話二十六番 七八番

官商合辦 華森公司
吉林省城 電話三〇〇番

吉林 吉川組出張所
吉林車站前 電話一二〇番

吉林 榊谷組出張所
吉林商埠地

燐寸、製油 材木業 精米業
吉林燐寸株式會社
吉林昌邑屯 電話二五八番

輸入、砂糖、金物、雜貨輸出、米、豆 麥、雜穀、代辨、保險、生命火災等
裕泰號
吉林河南街 電話二六三番

東亞煙草會社員
鈴木茂利治
吉林新開門街

杭木 枕木 原木 賣買
大吉木材合名會社
吉林東大灘 出張所 大連市添路町一八

厚木 製材 造木 枕木
富士木材公司
吉林新開門 河岸事務所 電話二〇五番 二六五番

運送業 丸重洋行
吉林驛前

高等旅館 名古屋旅館
吉林省城商埠地 電話二〇〇番

吉林料理店組合

菊かほる

總數四千餘點に上る 東洋美術書畫展 三日から大連圖書館で
絢爛眼を奪ふ美術の精を蒐む

大連圖書館主催の東洋美術書畫展覽會は本社後援の下に讀書デーの催しとして三日より三日間毎日午前九時より午後五時迄開會することゝなつたが、會場大連圖書館は閲覽室と階上の大部分をとり建築、彫刻、工藝品、金、銅器、玉、陶磁器、印譜、書、硯譜、繪畫の十一部に分類せる總數四千餘點の珍籍古書は絢爛眼を奪ふ東洋美術の精華を網羅してゐる、就中建築部に在りては一七五七年の出版に係る英人チャンバーの「支那建築の設計」を始め獨人ベールシユマン米人モース英人スミス日本關野伊藤兩博士支那陶湘氏等の名著が目をひき、彫刻部に於てはウイツト、ライプチツヒ、グリンウエデル、サルモニ等獨逸大家の諸著、米人ワーナーの「日本推古彫刻」日本常盤大定の「支那佛教史蹟」朝鮮總督府の「樂浪郡時代の遺蹟」石崎光瑤の「印度密院精華」佛人シヤバンスの「北方支那考古的研究」等一段の光彩を放ち、銅器の部に在つては住友家銅器の圖譜たる「泉屋清賞」の如き大部のものがあり、陶磁器の部に於てはホブソンの「陶磁器目錄」高橋義雄氏の「大正名器鑑」等出色し、繪畫の部に在つては獨逸のキンメリ氏が特に見に來たといふ世界的に知られた同館藏書中の珍書芥子園畫傳の原版を始め獨逸プロイセン英國スタイン佛國ペリオ日本大谷光瑞の四氏が競爭的に相拮抗して探險發表せる中央アジアの佛畫、獨人クルトの浮世繪に關する研究發表、橋口五葉の「やまと錦繪」次で玉都のロウフアー玉研究圖譜、都の「清朝七大家印譜」等々獨り特殊研究家の垂涎措く能はざるもののみならず一般人の一度は見ておく價値十分なものばかりである

利子女王殿下の御葬儀

(東京二日發電) 故伏見宮貞愛親王妃利子女王殿下の御葬儀は二日執行はせられた

白音太來方面の肺ペストは下火
但し防疫は益々必要 岩田滿鐵々道衛生主任談

滿鐵衛生課岩田鐵道衛生主任は防疫打合せのため一日鄭家屯より歸任したが白音太來附近を中心として流行を見つゝある肺ペストの近況について語る

一時 猖獗を極めた白音太來附近の肺ペストも最近漸く下火になつたようであるが、同方面は何にしろ部落としても二三戶とか七八戶といつた僅かな戶數の部落でそれがまた一部落から一部落への距離が五支里或は十支里とトテツもない邊陬な地であるから檢疫上からも調査上からも完全を期するといふことは至難なことである、こんな**事情**で果して何處にどれだけの流行を見つゝあるか確實には判らないが、下火になつたことだけは事實のようである、しかし農耕に從事しつゝあつた出稼苦力の契約切れと同時に毎日百名內外の苦力が山東へ歸鄕の途についたことゝ打通線の工事苦力が寒威と共にアンペラ小屋から白音太來市內へ入込むとが最も**危險**を生ずることであるから之からの防疫は特に嚴重を極める必要を生じたわけである

明治神宮競技第六日
好天氣に惠まれて 各競技觀衆で賑ふ
續々新記錄を作る 興味集る女子競技

(東京二日發電) 神宮競技大會も餘す處一日となつた、二日は好天氣に惠まれて各競技場共開始以來の人出に選手の意氣も益々昂つて居る、トラツクでは選ばれた青年團選手が最後の爭鬪を行ふ日とて孰れも榮冠を掬得せんとはち切れる氣と潑剌たる元氣を示してゐる今日新たに加へられた女子競技では寺尾姉妹と人見孃がどれだけの記錄を作るか興味の焦點となり一般競技も新記錄を期待されてゐる此の朝トラツクでは早やくも青年團百メートル第二豫選で千葉縣の高尾君十一秒二、青年團千五百米決勝で栃木の中田君四分十四秒八と新記錄を作つた

△青年團百メートル第二豫選B組 一着高尾(千葉)十一秒二(青年新記錄)
△一般百メートル第一豫選 六着青木(朝鮮)
△青年團千五百メートル決勝 一着中田榮一(栃木)三分十四秒八(青年新記錄)
△一般八百メートル 四着遠藤(朝鮮)
△砲丸投決勝 一等森(北陸)十一メートル五五三、二等樋口(朝鮮)十一メートル五一三、三等齋藤(關東)十一メートル五一一 四等堀內(東海)十一メートル三七

青年團の得點

(東京二日發電) 正午までの得點による地方青年團の順位は左の如し
△十點栃木縣△八點北海道△七點鳥取縣△七點京都府△五點兵庫縣△五點廣島縣△四點石川縣△三點長崎縣△三點大分縣△三點茨城縣

(東京二日發電)
△一般走高跳決勝 一等加茂政男(關東)一米八〇 二等土屋(東海)一米七六 二等平田(關東)一米七六 二等千田(近畿)一米七六
△青年團八百米リレー第二豫選B組 一着(北海道)一分三二秒二(青年團新記錄)
△女子五十米豫選 A組一着寺尾正(關東)七秒二 二着安達(關東) 三着山本(朝鮮)
△青年團百米決勝 一着高尾俊定(千葉)十一秒三(青年新記錄)
△女子五十米豫選 一着人見絹枝(近畿)六秒六(新記錄)二着寺尾文(關東)
△青年團一萬メートル決勝 一着大坪岩吉(佐賀)三十二分三十二秒六(神宮新記錄)
△柔道一般決勝 一等會爾(東京)五點、四等吉田(關東州)二點
△劍道第二回戰勝者に瀨戶(奉天)

奉天瀨戶敗る

(東京二日發電) 劍道試合にて第四回戰迄いつた瀨戶(奉天)は第五回戰にて齋藤(山形)に敗れた
△柔道壯年組決勝 山田(關東州)二點 優勝 宮武(東京)二點
△女子走巾飛び 一等中野雪枝(愛媛)一メートル三九、二等永田キヨ(關東)一メートル三九(以上日本女子新記錄)
△青年相撲優勝權 一等(八點)愛知縣、二等東京府 三等熊本縣
△個人優勝 相撲 一等中島彥吉(愛知)二等中島末吉
△青年團八百リレー決勝 一着(北海道)一分三十三秒(青年新記錄)
△弓道 一等明大、二等東京高師

青年團競技採點表

北海道三十六點(優勝旗獲得)長野十二點、長崎十二點、栃木十一點、新潟十點、千葉九點、廣島八點、山形八點、鳥取七點、京都七點、大阪七點、佐賀七點、埼玉六點、靜岡六點、兵庫五點、石川四點、愛知四點、岐阜四點、群馬三點、大分三點、熊本三點、茨城三點、和歌山三點、鹿兒島二點、福岡二點、宮崎一點 北海道チームは第二回大會にも優勝し今回で二回目である

日支協力して 防遏に努む
肺ペストの猖獗期を前にして 關東廳が方針を樹立

(旅順) 內蒙古方面の肺ペストはまだ終熄の模樣がないが、右に就いて關東廳衛生課黑井技師は語る
交通不便な處で適確な事は判明せぬが、目下散發的に患者の發生を見るやうである。之が豫防に就いては四洮線が出來て非常に複雜になつたが、當局は四平街を**第一線**とし、嚴重防疫網を張り、一步も南滿の地帶へは入れまいと警戒してゐる、併し本病は歲多になればなるほど猛威を振ふ惡疫であるから、最も油斷のならぬ來月末より來年一月末迄の間は、支那側と協力し全力を擧げて防遏する方針を樹て目下計畫中である

市社會館の 菊花展
繚亂眼を奪ふ

大連市並に大連園藝會主催の菊花展覽會は二日より三日間電氣遊園下大連市社會館にて開催、出品總數三百十七點、其內多輪咲百七點、一輪咲百四十九點、切花三十五點、懸崖小菊十六點、其他參考品七十點の多きに達した、第一會場たる階上講堂大廣間は熱心なる大連園藝家栽培による**見事な**出品にて燦爛眼を奪ひ妍を競ふの盛觀を呈してゐる、一日審査員の審査の結果左の入選を見た
▲多輪咲 特等(白世界)造園苗圃 一等(大晃殿)青柳農、二等(白世界)久垣事次郎、二等(發心の志)彥坂、二等(曉山の雪)伊藤仲次郎、三等(朝日の瀧)造園苗圃、三等(平和)土木課出張所、三等(松竹梅)古垣、三等(流麗)櫻井謙吉、三等(華嚴之瀧)造園苗圃、三等(羽衣の舞)關米治
▲一輪咲 優等(景清)王信成、一等(紅葉龍)友貞源次、二等(天錦之?)關米治、一等(朝晴雪)友貞源次、三等(平和)友貞源次、三等(旭照)造園苗圃、三等(羽衣の舞)關米治、三等(朝晴の雪)櫻井謙吉、三等(臥龍の瀧)近藤 三等(相合の契)齋京、三等(瑞雪)濟水政太郞
▲小菊 一等中央公園、二等同上 三等松田助太郞▲切花 一等(羽衣の舞)藤山しん、一等(平和)造園苗圃、三等(覇王の夢)池田末吉、三等(金鳳の舞)森田
入賞者賞品は二日午後六時半より社會館に於て**授與式**を擧行し、杉野會長挨拶、審査委員長講評、審査員の講評ありたる後杉野會長より入賞者に對し賞狀を授與し頗る盛況裡に閉會した

勇敢なる水兵 忠魂碑を建設

明治二十七年九月十七日黃海戰の日淸役の際大孤山沖に於て悲壯なる戰死を遂げた軍歌「煙も見えず雲も無く」の主人公故三浦虎次郞氏の追悼法會の際、同氏出身村佐賀縣東與賀村長山口八郞、佐賀日日新聞社長中尾都昌氏等發起となつて同村に「勇敢なる水兵」の忠魂碑建立の件が企てられ全國的に弘く寄附金を募集してゐる、寄附金は佐賀市松原町明石繁通二五勇敢なる水兵忠魂碑建設事務所宛申込まれ度し

滿蒙政策の 先驅者加藤清正
間島龍井村に居を定めて 石本惠吉男が研究

(東京特電二日發) 滿蒙開發の提唱者として知られて居る石本惠吉男は「滿蒙政策と加藤清正」の研究調査のために二日夜東京驛發鮮滿に向け出發した、行程は釜山から鐵道で滿洲を廻り間島の龍井村に一時的の居を定め半永久的に研究を遣り淸正が朝鮮役の時に遠く北進して攻め入つて大勢を挽したと云ふオランカイ卽ち今の間島に同族の如き跡を存するを見て何も遺して置いたさうもなくば遺跡を何と云ふ同男は青山の自邸にて來訪の記者に語る
淸正が武勇一點張の人の如く傳へらるゝがオランガイに進軍したる事は滿蒙に着目したからで國外に雄出して滿蒙開拓は當時に於て意味する事實は所謂「肥後數十萬石よりも滿蒙の地を賜りたい」と云つた言葉に依つても首肯される、そして現在の滿蒙政策は朝鮮を開拓しては何事も出來ぬ此の意味で淸正の先見を大に研究し平易に著述して誰の頭にも這入り易くしたいと思ふ

大村大連間の 「海軍演習飛行」 愈よ八日決行

大村海軍飛行隊所屬の海軍攻擊機三機は、來る八日午前七時大村飛行場を出發して一氣に朝鮮に向ひ途中平壤に着陸、九日未明平壤を發して周水子に來り、同午後一時周水子發歸航の豫定であるが、今回は單なる演習飛行に過ぎないと

誘拐された 支那むすめ四名
危いところを助かる 榊丸が大連着と共に發覺して

二日午後一時卅分上海より入港の榊丸に臨檢の際、水上署員は船客の內に娘四名を伴へる擧動不審の支那婦人二名あるを聞き込んだので一同を水上署に連行取調べたところ彼等は一家族にして今回奉天に洋服店を開業せるもの下に赴く途中であると稱し**容易に**實を吐かなかつたが、そのうち老婆の携帶品中より上海の姓王なるものより大連市內某支那旅館宛の紹介狀及華靑年會長傅立魚氏宛、同じく在上海の汪小春なるものより市內某支那旅館宛の一札が現はれたので、同署では取敢ず傅立魚氏に訊したところ王は知つてゐるが斯樣な一行の來連する旨は豫知しおらずと答へたので更に六名を別室において個々に取調べたる所夕刻に至り年長の少女趙彩鳳の口より船中已に誘拐されつゝあるを知つて**密かに**船內の某に救ひを求めたこと、又他の三名の少女の中一名は六百圓にて賣られ、その外の二名は全く誘拐手段にかゝつたものであること等判明するに至つたが、この事件には曾て大連にあつた某漢字紙記者が關聯し居る形跡があるので水上署では尙引續き取調べ中である

工大雄辯大會延期

(旅順) 工科大學辯論部主催の雄辯大會は三日第一中學校で開催豫定のところ都合により延期された、尙期日は未定である

大連靑年會、佛教靑年會、基督教靑年會、修養團大連支部の共催、天理教、皇道會、皇道普及會後援大連市役所、靑年團後援の下に三日午後六時より彌生町市立高女講堂に於て開催されるが、講演者及び演題は左の如くである
「開會之辭」小野賀政市氏「題(?)定」脇屋文助氏「明治天皇の聖德」大石金剛齋翁「明治天皇としての明治聖帝」山島海風氏「明治節に就て」立川卓堂翁、外數名

貨物自動車
電番 3358 5263
イナヅマタクシー
箱型 大型 あります

明治天皇御聖德 記念講演會

明治天皇御聖德記念大講演會は

慈善寄附

醫藥家原襄江氏は故相生久夫氏追善音樂會の收益金參百十圓を慈惠病院、大慈園及び宏濟善堂へ、又美濃町五三新喜樂森下榮七は金一百圓を大慈園及び育兒婦人ホームへ夫々市役所の手を經て寄附した

春畫賣りの男

曩に大連市神明町警察官宿舍へ春畫を賣捌かんとして逮捕された沙河口大正通四五木下字一(三一)と稱する男は大連タイムス社の木下卯一氏の名を騙つたものであること判明、從つて木下氏とは何等關係なく取調べの結果本名は臼井順一なるものであることが判かつた

頼まれたモヒを 賣り飛ばす
仲間の分前から發覺 傅家庄馬鐵の經營者

大連市外傅家庄旅館兼馬鐵を營業してゐる沙河口京町三三居住の小笠原熊六(四〇)は目下沙河口京町三三居住の開一次(?)を手先に使つて本年四月ごろ但馬町二番地松永勝次の**密輸**したモヒ三十個(一袋七百瓦入)價格一萬五千圓を西公園五十二番地宮下十助より保管方を依賴されたを奇貨として之を但馬町十三番地藥劑師高井彌十郞(?)に四個五百十圓にて賣却したのをはじめ信濃町石川萬次郞に二個其他各所に賣捌いた事が發覺し一兩日前大連署に**檢擧**された、發覺の動機は前記手先に使つてゐた小笠原は其分前を一文も支給しない事から憤慨して小開の宅へ强談判をしたところ、あべこべに毆打されこれを警察へ訴へ出たので裏面の惡事がさらけ出された譯である、尙小は內地において强竊盜、橫領、詐欺、印鑑僞造等凡ゆる罪名を有する前科二犯のものであると
たが、取調べの結果運轉手は大連管內柳樹屯現任所市內千代田通り滿鐵車務課員汪福洪(二二)にて全く過失であること判明負傷者は滿鐵より相當の金を贈ること、して解決した

少年の家出 營口から大連へ

水上署員は二日午後一時半頃埠頭入口を徘徊する少年があるので署に連行取調べると、原籍愛媛縣新居郡舟木村字長野、春山貞吉(假名)(一三)にて實姉の嫁せる營口市柳街中田某の養子となり營口尋高科一年に通つてゐる者であるが、常々教師に口答へするとて養父に叱られ無分別にも一日夜衣類數枚を携へ已が貯金五圓餘で切符を購ひ大連に飛び出したことが判かり水上署では直に親元に照會すると共に說諭を加へ保護してゐる

同業者殺し 懲役十年に

旅順柳町十二番地雜貨商鞠雲亭(?)は、同地滿殿臣、王雲階、周作信の四名共同出資のもとに雜貨商を經營し、途中營業不振のため鞠は脫退して獨立したが、自分の計が一向繁昌しないので嫉妬心を起し「彼等店を橫取つた」と憤慨し、去る九月八日出刃庖丁で滿殿臣を斬り殺した殺人事件の公判は、二日午前十時から、安住裁判長、長島、小山兩判官陪席、三谷檢察官立會の下に開廷されたが

苦力を轢く 貨物自動車

二日午後三時頃頭橋內檢査係橫中央通路で、車務課貨物自動車三百三十八號は荷小車にて貨物運搬中の山東省生れ現住所市內寺內通十刑家興(?)と衝突し小車を破壞し、る上左腕に打撲傷・左肱上部に治療十日間を要する傷を負はし

明治節祭

沙河口神社では三日午前八時より明治節祭を執行一般の參拜を希望すると

久間氏寄附

市內奧町二十二番地理髮業大洲軒主人久間直行氏は十餘年間斯業に從事し來つたが、今回廢業するに付記念の爲め大連市基本財産中へ金百圓を寄附したと

本日のラヂオ

昭和二年十一月三日(木曜日)
自午後零時三十分 ニユース
自午後三時三十分 ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、(明治節の歌)大連音樂學校生徒
三、講演(明治大帝の御聖德)皇道會大石金剛齋
四、箏曲(明治松竹梅)尺八足立秀風、箏富森大稔枝、同澤田綱十五、筑前琵琶(蘭王の神)汀位山旭部旭艶
六、長唄(勸進帳)唄高城富久壽、同岡銀郞、三味線仙波滿佐子、同中村愛子、外囃子
七、料理獻立
八、天氣豫報

第四十回營業報告
自昭和二年四月一日 至昭和二年九月三十日
貸借對照表

借方	
拂込未濟資本金	六二五、〇〇〇・〇〇
營業權勘定	一四〇、三三五・〇三
所有建物	一八一、八〇四・〇五
所有船舶及漁具	二七〇、四〇三・九四
製氷機及冷藏庫	一五四、一四二・〇〇
營業用什器	三三、四五八・二一
有價證券	二、六〇〇・〇〇
仲買勘定	六、八六六・〇九
商品買勘定	一四五・二九
賣買勘定	三、七四二・三三
掛貯金	一六五、四三一・六二
貸附金	一三五・六八
振替貯金	三、七六三・一〇
假出金	九、四九九・二三
未收勘定	三三、六四一・四七
製氷勘定	七、六六〇・〇〇
受取手形	六三、五四八・五五
銀行預金	[illegible]
合計	一、二九一、〇八六・一五

貸方	
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
荷主勘定	三、四一三・九五
銀行勘定	一〇、五七〇・七三
假受金	四三、三八〇・〇〇
未拂配當金	二、二三五・〇九
支拂手形	二〇、〇〇〇・〇〇
借入金	五、七四〇・〇〇
法定積立金	六七、八二二・六〇
缺損塡補準備金	三、九八一・六六
家屋什器機械船舶償却積立金	二、〇〇〇・〇〇
漁具償却金	[illegible]
前期繰越金	一、三二四・〇五
當期利益金	[illegible]
合計	一、二九一、〇八六・一五

右之通リニ候也
昭和二年九月三十日
一、監査役任期滿了ニ付改選ノ結果森川當三郞、三井權三郞勤モ再選サル
滿洲水產株式會社

第五回決算報告
自昭和二年四月一日 至同二年九月卅日
貸借對照表

借方(資產之部)	
地	八五〇、八八五・〇七
業品	二九、〇七九・一〇
品	三七、五四七・八三
藏品	三五、七五七・八八
送品	六、一八三・七七
託品	七七一・七三
金	四一、〇八八・五三
行貸	七三・九一
貯金	五、二七六・〇三
替貸借	四九、四八三・八三
券借	一〇六、六七二・九九
取手形	一〇、三五〇・七三
收金	三、一一六・八三
拂金	二〇、三五九・〇三
濟金	[illegible]
前期繰越損金	[illegible]
計	一、二六六、七一六・二五

貸方(負債之部)	
株金	一、二〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	四、〇〇〇・〇〇
特別積立金	二五、五〇〇・〇〇
保證金	九、〇二三・四四
使用人退職手當基金	四、五〇〇・〇〇
社員身元保證金	一五、八六六・三四
滿鐵勘定	八、二九八・〇五
假受金	九、八二五・〇七
未拂金	六、六六五・六八
當期利益金	三、〇四七・九七
計	一、二六六、七一六・二五

右之通候也
昭和二年十一月三日
大連窯業株式會社

汽車 汽船 切符市內發賣所
每日午前七時より午後十時迄
伊勢町五一熊井洋行內
ジャパン ツーリストビユウロー 大連案內所
電話五五五四番

よくわかる 算術講習錄
◎見本進呈◎東京・昭和十條◎驛前・算術講習會◎

一、資本金 貳百萬圓(拂込濟)
大連市西通
株式會社 大連商業銀行
電話 三五五〇三・三四〇二・八〇二・七番
一、般銀行業務確實に御取扱可申候

自動車學生募集
實習(自動車運轉手)養成
十一月一日開始
一、教授法ノ親切
一、施設完備
一、學費低廉
一、晝間部 速成科…二箇月 受驗科…一箇月 實習專門科…一箇月
一、夜間部 速成科…三箇月 受驗科…一箇月 日曜部 實習科…一箇月
◇規則書要郵券二錢◇
大連市見玉町十四番地(大每館裏)
日支自動車研究所

本日 明治節に付 午後休業仕候
東京風菓子謹製
宅の店
大連大山通
電話代表 五一九九
清酒 澤亀
日本各地名産珍物 世界各國酒類食料品

蒲鉾
上等かまぼこ・みりん・ロ干魚
(商手切品)
西村商店
西通電話四一一一番 信濃町電話四〇九〇番 市場廿三號

電話 六三四八 滿日社會計部

電話 六五五八番
花環造花 籠花生花類
大連市伊勢町西廣場角
雨蓮社
支店旅順乃木町三丁目 瓦房店營市街 沿線より御注文は特に御便宜相計可申候

生花 花環 葬儀取扱
大連市三河町近藤病院前
白蓮社
電話三五二九番
御返禮の品取揃へ御指圖の處に配達可仕候

生花 花環 葬儀取扱
大連西通大連商業銀行跡
八弘社
電話七六四四番
器具材料全部新調

電話 四九一〇番
生花 花環 葬儀取扱
大連市若狹町三丁目
明圓社

洋生菓子
スキートポテト
ドウナツツ、
アングルースケーキ
バタケーキ
浪速町 花乃屋本店
代表電話四九五九番

花籠 花環
ばら屋花環店
大連市西廣場近江町電話三九一〇番

讀書週間の近江町圖書館

健夫儀 病氣中の處昨一日午後七時二十五分死去仕候間此段御通知申上候也
追而葬儀は明三日午後三時西廣場日本基督敎會に於て執行可仕候
昭和二年十一月二日
父 小原彌作
親族代表 朝井一郞
友人 友木 饒
友人總代 淺田新之助

明治節御制定記念

大連市監部通卅九號
海運業
政記輪船公司
社長 張本政
支配人 范先和
電話代表四一四一番

西洋樂器樂譜
西洋家具裝飾
水道衛生器具
大連市信濃町
株式會社 山葉洋行支店
電話代表四一四八番
振替口座大連八二番
販賣店 市内浪速町三丁目 電話四三一〇番
出張所 奉天浪速通十六番地 電話長六九八番

大連市磐城町二丁目
博多屋本店
博多屋衣服部 電話四四五三番
大連市吉野町
博多屋第二支店 電話四六七四番

南滿洲鐵道株式會社
大阪商船株式會社
大連汽船株式會社 御用達
和洋食料品
諸罐詰果實
蔬菜海産物商
乾物漬物類
大連市磐城町百十一番地
外海洋行
電話四二〇九 六九〇二番
振替口座大連五二二番
大連市信濃町市場 外海洋行販賣店

大日本麥酒株式會社代理店
稻正宗滿洲一手販賣店
千山東黒鉛ペイント滿洲一手販賣店
八千代生命保險株式會社滿洲總代理店
帝國火災保險株式會社代理店
朝日海上保險株式會社代理店
精米及雜穀貿易商
大連市愛宕町七〇
大連盛進商行
電話五四七七番
振替大連一四五〇番

水道
衛生 設計工事請負
煖房
大連市西公園町五十五番地(電話長六七五九番)
株式會社 須賀商會支店
本支店所在地(東京、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡、京城、住吉)
小阪博道
代理店(米國スロシバルヴ會社 同ペーヂボイラー會社 日本鋼管株式會社 東洋陶器株式會社)

大連市信濃町
遼東ホテル
電話長四四一七三一番

各種蒸汽罐放熱器
煖房衛生裝置
設計工事請負
一般藥品醫療理科器械
直輸入貿易商
大連市監部通
合資會社 島松商店
電話六一四一番

毛布、鞄、毛糸、帽子類專門
大連市浪速町三丁目
一ノ瀬商會
電話七四三四〇〇五番

大連市浪速町
和洋世帶道具 土管販賣
岩倉洋行
電話八四四六〇八七五番

和洋家具 世帶道具商
大連市浪速町一一〇番地
船塚商店
電話七四五三四七三九番

第一タクシー
大型は實用向として
小型は一人乘として
電話七六四九〇六五四番

一般輸出入貿易商
東京建鐵株式會社
東京鋼鐵家具製作所
滿洲北支那總代理店
合資會社 湯淺洋行
望月至誠
大連市山縣通り三三
電話代表番號長一八九一七三番

大連市浪速町伊勢町角
鈴木呉服店
電話代表五二九八番
振替大連四〇八番
安奉線本溪湖永利町
鈴木呉服店支店
電話二七番
振替大連一二八八番

大連市浪速町三丁目
丸三呉服店
電話八六二五〇五四番

大連市浪速町二丁目
奥田時計店
電話六七三一番
浪速町三丁目
同 支店
電話三八九七番

大連質商組合一同
電話六〇二四番

小野田セメント特約店
日本火山灰會社代理店
大連市西通一丁目
小島定吉商店
電話五三八七〇〇一番

活版、石版印刷、和洋紙
板紙販賣、印刷材料
小林又七支店
大連市大山通 電話代表長六六一六三番

大連市吉野町
昭和號羅紗店
電話三九七三番

品目＝各種硝子板、厚鏡 硝子切、パテ
旭硝子會社製品滿洲發賣元
日米板硝子會社製品特約店
松島商店
大連市山縣通一四九 電話代表五一八六番

船具金物
諸油塗料
機械屬品
工業用具商
大連市監部通
岸洋行
電話長四三七〇番 六四二六番
振替口座大連七番

大連市春日町三
稻妻タクシー
電話三三五八番

滿洲特産物輸出商
瓜谷長造商店
大連市山縣通
電話四四二六・六九三六番

大連市山縣通
藥品貿易商 株式會社 乾卯大連支店
電話五三六〇九一〇七番

和洋菓子製造商
木村屋本店
大連市信濃町
電話七〇八七番

各國漆器、陶器、金物
荒物、木地、箪笥、鏡臺類
其他世帶道具一式
(井) 井元商行
大連市浪速町二丁目(電話四一二一番)

大連市常盤橋詰
みなと屋菓子店
電話六〇八五番

家具裝飾品商
合資會社 成三商行
大連市愛宕町七四番地
電話六四二〇七番
工場四〇六七
振替〇七〇五

大連市信濃町
處方調劑
衛生試驗
日本橋藥局
電話八三六二番

大連市常盤橋
婦人小間物商
まるひ屋
電話八五〇八番

大連市西通若狹町一八
がんしろ飴本舗
小松堂
電話八九一五番

大連市磐城町八一
日本足袋株式會社滿洲代理店
泰盛洋行
電話八七一七番

大連浪速町
時計寶石貴金屬商
近江洋行
電話八四四二番

大連市信濃町
近江屋呉服店
電話五八四〇番

大連市西通
門屋洋服店
電話五八六三番

大連市大山通
泰平洋行
電話六四三〇番

處方調劑
有名賣藥
化粧品
醫療器械
大連市若狹町一六二番地
ワカサ藥局
藥劑師 黒川□郎
電話六六二五番

精肉すきやき
御料理一式
大連市浪速町大阪屋號横入
おきな
電話八二四八番

大連市伊勢町五二(浪速町通)
三宅時計店
電話五四〇四番

大連市浪速町
大阪屋號書店
電話四六〇八番

和洋諸紙諸帳簿
文房具各種
吉田洋行紙店
大連市浪速町二丁目
電話五一四八番

三河町(西廣場)
高等演藝館
電話五〇二五番

浪速町
浪速館
電話四六五四番

大連市岩代町
三島屋洋服店
電話六五四九番

大連市若狹町
大連劇場
柴崎時藏
電話三九三八番

大連市吉野町
鐵材金物商
畑中佐太郎商店
電話七二七二番

大連市浪速町
つたや
電話五二四三番

各種化粧品
小間物雜貨
メリヤス類
つちや足袋
卸商 小泉專治商店
大連市信濃町市場正門前
電話七二〇三番
振替大連一四〇〇番

大連市若狹町
株式會社 島津製作所大連出張所
電話四三九二九八七九番

大連市常盤橋中央ビルディング
大連海上火災保險株式會社
電話五四一二番

大連市常盤橋二三
大連製氷株式會社
電話六五四三四八一八七三〇三番

戸畑鑄物株式會社大連出張所
平野瀧次郎
大連市紀伊町三十三番地
電話六四三八番

大連市監部通
東亞煙草株式會社
大連販賣所
電話長四二七三番

大連市信濃町
滿洲水産株式會社
電話七四〇五五三七三番

直輸入貿易商
加藤洋行大連支店
建築材料部
大連市紀伊町
電話代表六一一五番

銘酒 白鹿
ユニオンビール
合資會社 辰馬商會
電話五八三四 六八八二番
大連市紀伊町二十二番地

日支合辦
商辦 本溪湖煤鐵有限公司